

5 教員調査結果の分析

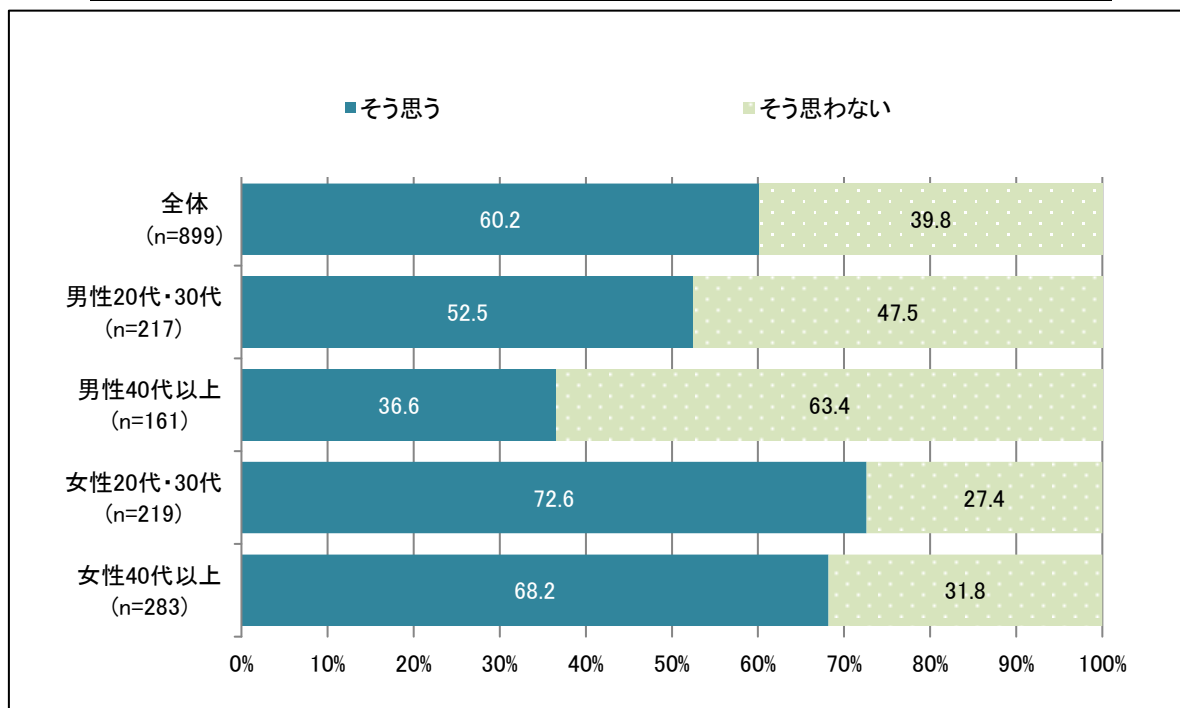
① 自身に関する意識の年代・役職差

< 仮説・検討事項(18)>

教員の年代・役職によって、「将来管理職になるのは無理だと思う」の設問に対する回答に違いがあるか

(2) 将来管理職になるのは無理だと思う (S A)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	541	358
		100.0	60.2	39.8
性別・年代	男性 20代・30代	217	114	103
		100.0	52.5	47.5
	男性 40代以上	161	59	102
		100.0	36.6	63.4
	女性 20代・30代	219	159	60
		100.0	72.6	27.4
	女性 40代以上	283	193	90
		100.0	68.2	31.8



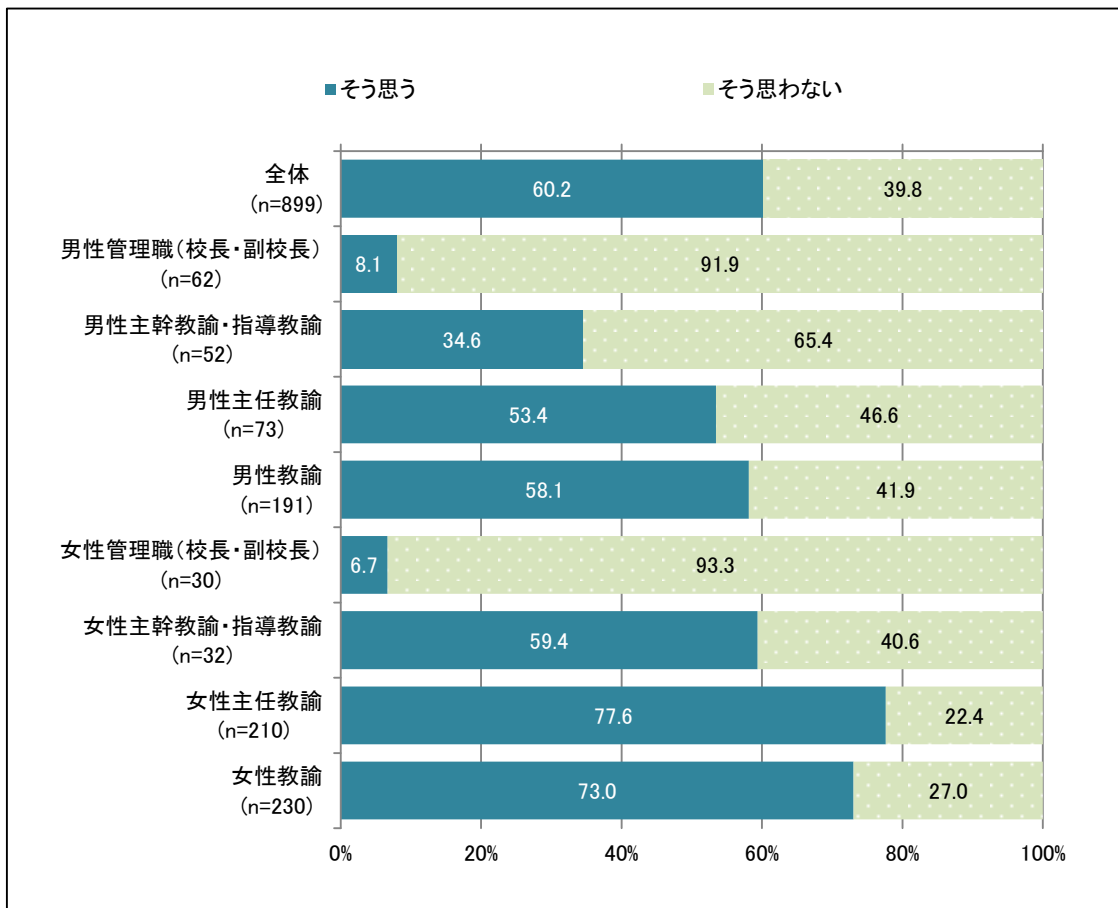
(図表IV-5-1)

○「将来管理職になるのは無理だと思う」について、全体では《そう思う》(60.2%)で6割となっている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(52.5%)が5割超え、「40代以上」(36.6%)は4割近くとなっており、女性では「20代・30代」(72.6%)が7割超え、「40代以上」(68.2%)は7割近くとなっている。《そう思う》の回答割合では男性で大きな差が見られた。

(2) 将来管理職になるのは無理だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	541	358
		100.0	60.2	39.8
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	5	57
		100.0	8.1	91.9
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	18	34
		100.0	34.6	65.4
	男性 主任教諭	73	39	34
		100.0	53.4	46.6
	男性 教諭	191	111	80
		100.0	58.1	41.9
女性 管理職(校長・副校長)	30	2	28	
	100.0	6.7	93.3	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	19	13	
	100.0	59.4	40.6	
女性 主任教諭	210	163	47	
	100.0	77.6	22.4	
女性 教諭	230	168	62	
	100.0	73.0	27.0	



(図表IV-5-2)

○「将来管理職になるのは無理だと思う」について、全体では《そう思う》(60.2%)で6割となっている。

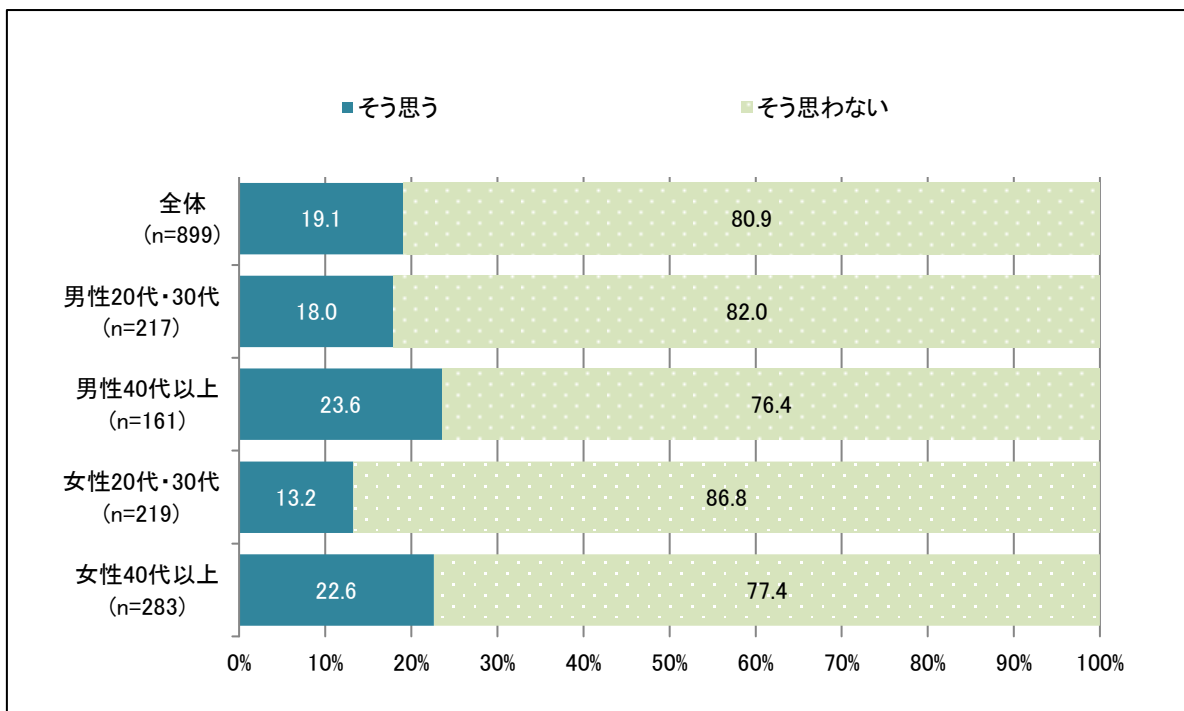
性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(8.1%)が1割未満、「主幹教諭・指導教諭」(34.6%)が3割台半ば、「主任教諭」(53.4%)が5割超え、「教諭」(58.1%)が6割近くとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(6.7%)が1割未満、「主幹教諭・指導教諭」(59.4%)がほぼ6割、「主任教諭」(77.6%)が8割近く、「教諭」(73.0%)が7割を超えている。

< 仮説・検討事項(19)>

教員の年代・役職によって、「プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う」の設問に対する回答に違いがあるか

(3) プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	172	727
		100.0	19.1	80.9
性別・年代	男性 20代・30代	217	39	178
		100.0	18.0	82.0
	男性 40代以上	161	38	123
		100.0	23.6	76.4
	女性 20代・30代	219	29	190
		100.0	13.2	86.8
	女性 40代以上	283	64	219
		100.0	22.6	77.4



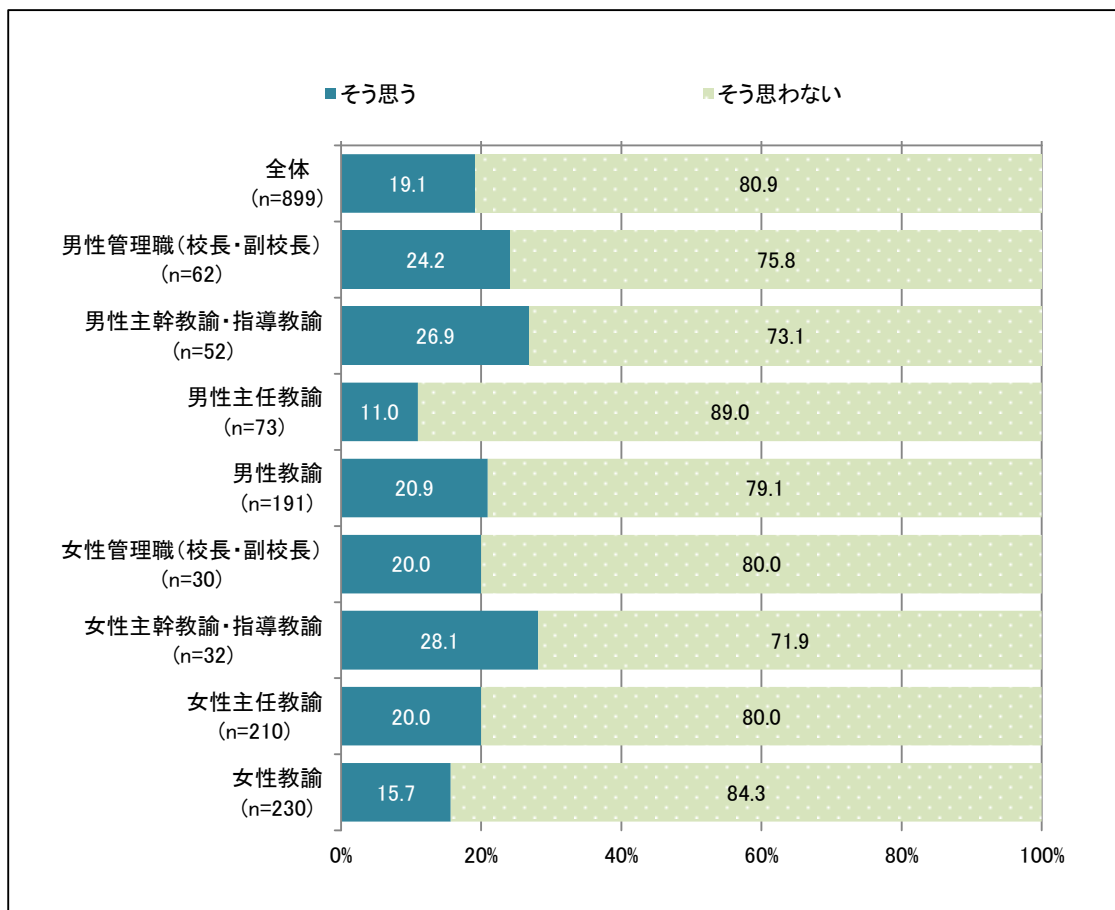
(図表IV-5-3)

○「プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(19.1%)でほぼ2割となっている。

性別・年代別で見ると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(18.0%)が2割近く、「40代以上」(23.6%)は2割超えとなっており、女性では「20代・30代」(13.2%)が1割超え、「40代以上」(22.6%)が2割超えとなっている。

(3) プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	172	727
		100.0	19.1	80.9
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	15	47
		100.0	24.2	75.8
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	14	38
		100.0	26.9	73.1
	男性 主任教諭	73	8	65
		100.0	11.0	89.0
	男性 教諭	191	40	151
		100.0	20.9	79.1
女性	女性 管理職(校長・副校長)	30	6	24
		100.0	20.0	80.0
	女性 主幹教諭・指導教諭	32	9	23
		100.0	28.1	71.9
女性 主任教諭	210	42	168	
	100.0	20.0	80.0	
女性 教諭	230	36	194	
	100.0	15.7	84.3	



(図表IV-5-4)

○「プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(19.1%)でほぼ2割となっている。

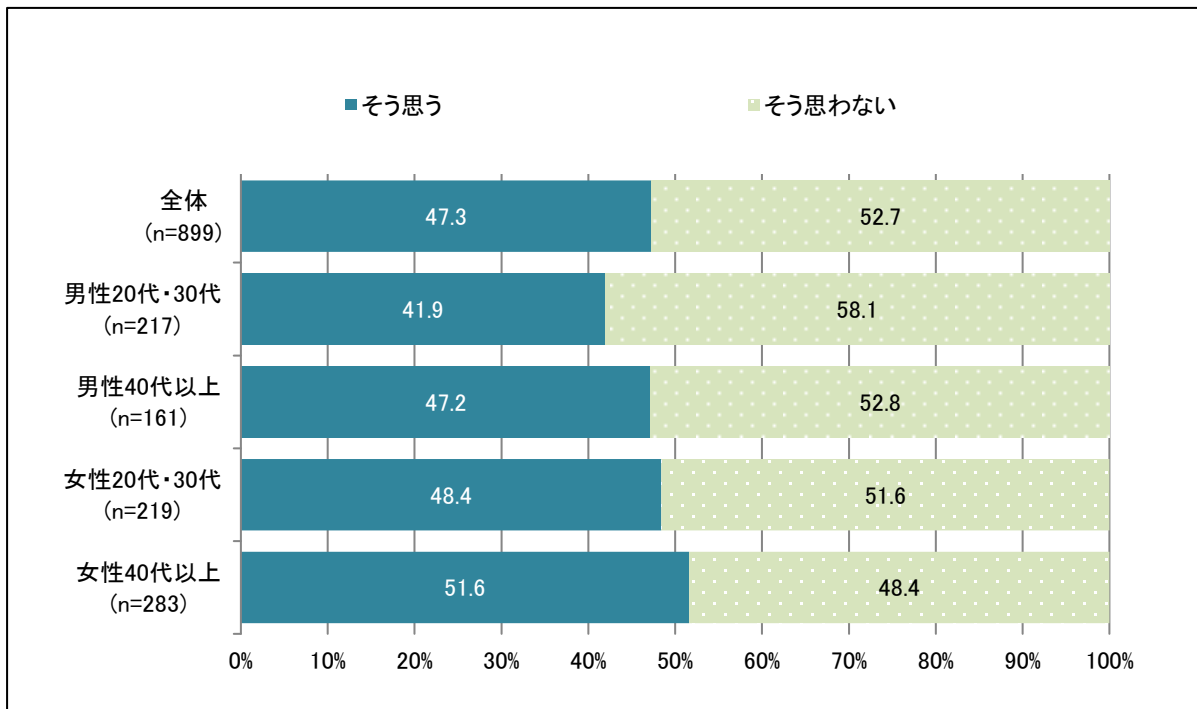
性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(24.2%)が2割台半ば、「主幹教諭・指導教諭」(26.9%)が3割近く、「主任教諭」(11.0%)が1割超え、「教諭」(20.9%)がほぼ2割となっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(20.0%)が2割、「主幹教諭・指導教諭」(28.1%)が3割近く、「主任教諭」(20.0%)が2割、「教諭」(15.7%)が1割台半ばとなっている。

< 仮説・検討事項(20)>

教員の年代・役職によって、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答に違いがあるか

(4) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	425	474
		100.0	47.3	52.7
性別・年代	男性 20代・30代	217	91	126
		100.0	41.9	58.1
	男性 40代以上	161	76	85
		100.0	47.2	52.8
	女性 20代・30代	219	106	113
		100.0	48.4	51.6
	女性 40代以上	283	146	137
		100.0	51.6	48.4



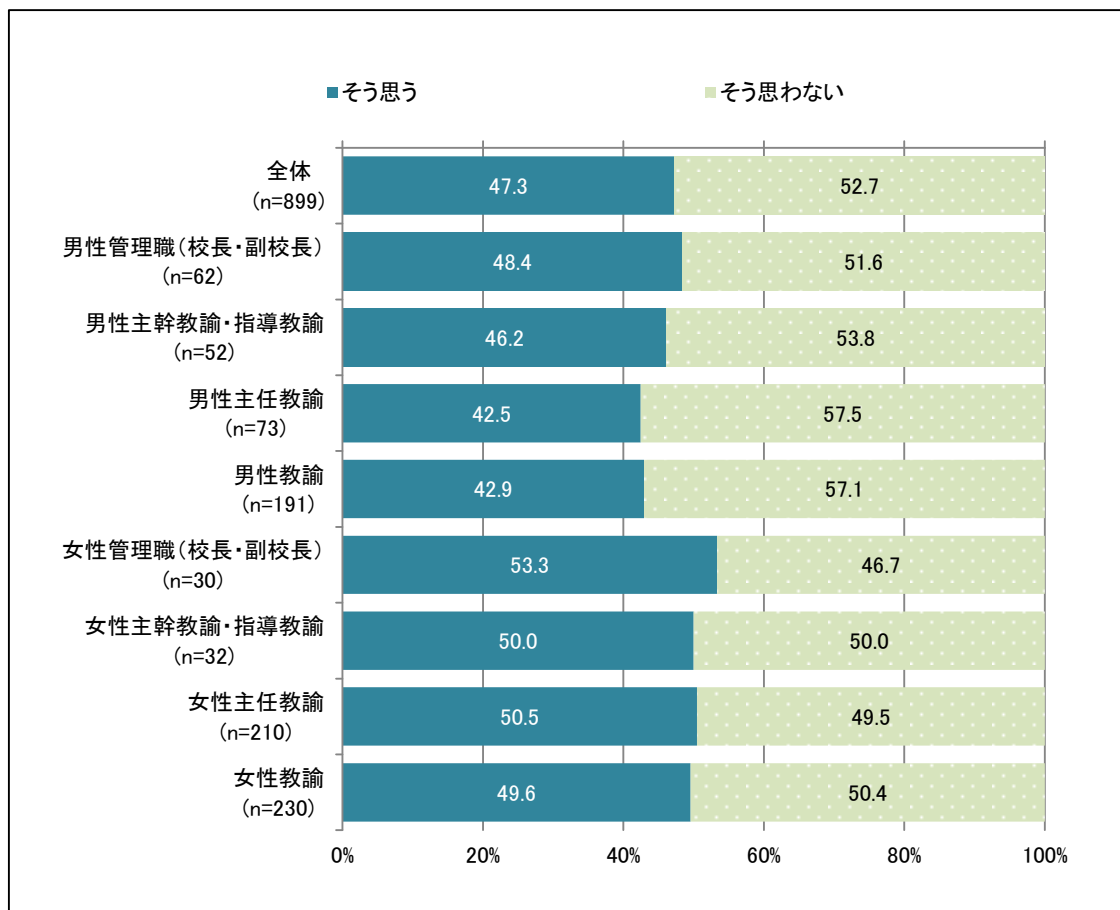
(図表IV-5-5)

○『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』について、全体では《そう思う》(47.3%)で5割近くとなっている。

性別・年代別で見ると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(41.9%)が4割を超え、「40代以上」(47.2%)が5割近くとなっており、女性では「20代・30代」(48.4%)が5割近く、「40代以上」(51.6%)が5割を超えている。

(4) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	425	474
		100.0	47.3	52.7
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	30	32
		100.0	48.4	51.6
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	24	28
		100.0	46.2	53.8
	男性 主任教諭	73	31	42
		100.0	42.5	57.5
	男性 教諭	191	82	109
		100.0	42.9	57.1
女性 管理職(校長・副校長)	30	16	14	
	100.0	53.3	46.7	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	16	16	
	100.0	50.0	50.0	
女性 主任教諭	210	106	104	
	100.0	50.5	49.5	
女性 教諭	230	114	116	
	100.0	49.6	50.4	



(図表IV-5-6)

○『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』について、全体では《そう思う》(47.3%)で5割近くとなっている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(48.4%)が5割近く、「主幹教諭・指導教諭」(46.2%)が4割台半ば、「主任教諭」(42.5%)と「教諭」(42.9%)がともに4割超えとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(53.3%)が5割超え、「主幹教諭・指導教諭」(50.0%)が5割、「主任教諭」(50.5%)がほぼ5割、「教諭」(49.6%)が5割となっている。

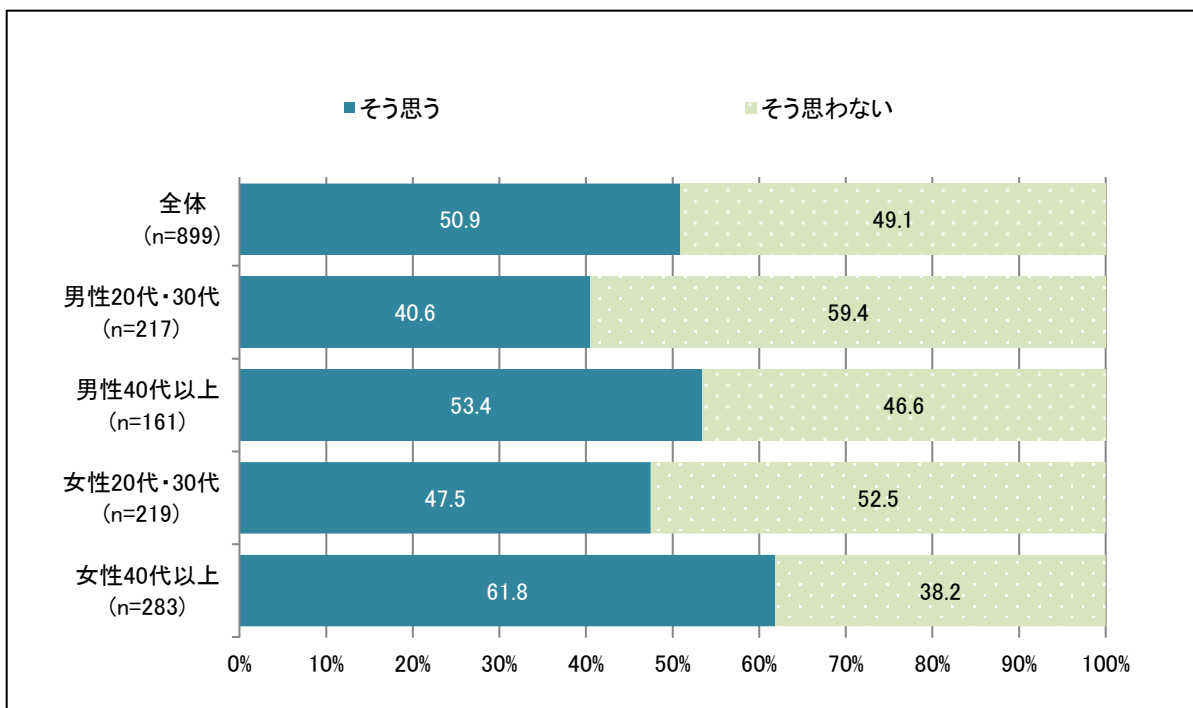
② 仕事に関する意識の年代・役職差及び性別に関する意識と言動等への影響

< 仮説・検討事項(21)>

教員の年代・役職によって、育児休業と介護休業の取得に対する意識の差があるか

(5) 育児休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	458	441
		100.0	50.9	49.1
性別・年代	男性 20代・30代	217	88	129
		100.0	40.6	59.4
	男性 40代以上	161	86	75
		100.0	53.4	46.6
	女性 20代・30代	219	104	115
		100.0	47.5	52.5
	女性 40代以上	283	175	108
		100.0	61.8	38.2



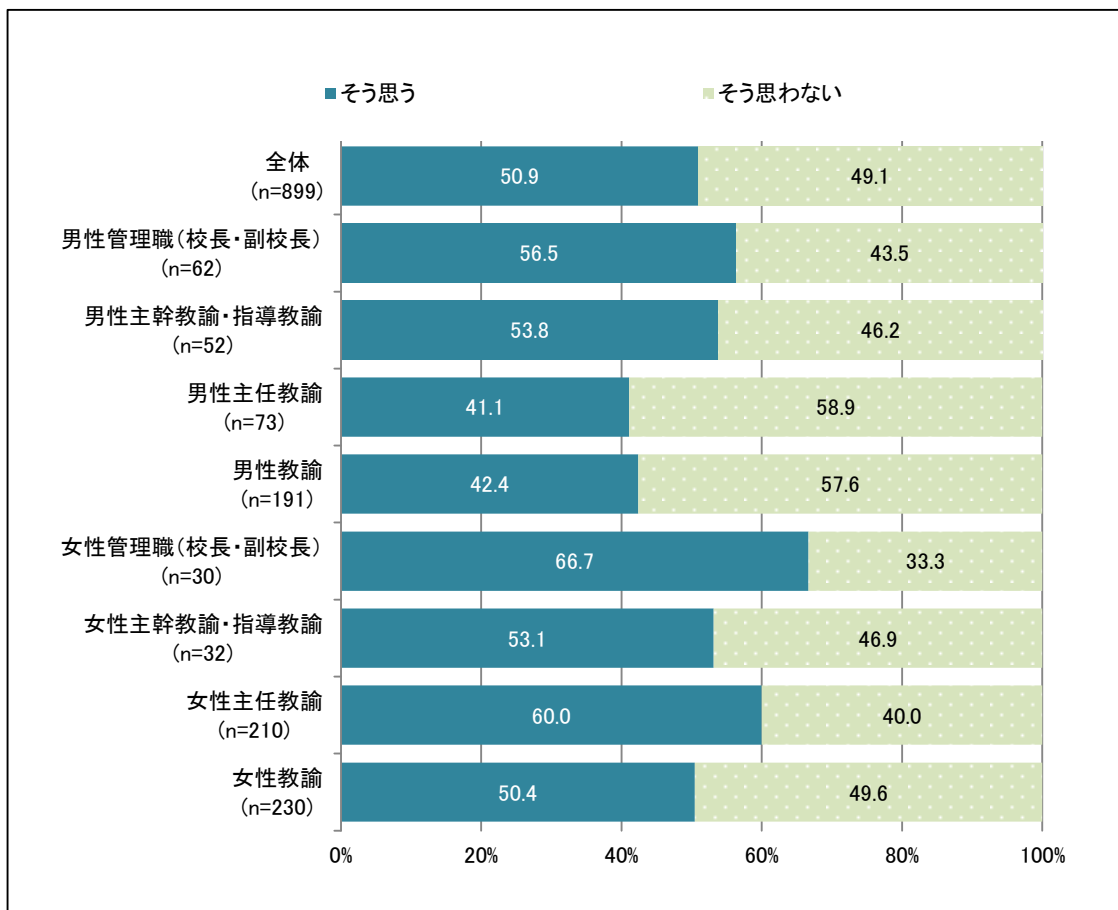
(図表IV-5-7)

○「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(50.9%)でほぼ5割となっている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(40.6%)がほぼ4割、「40代以上」(53.4%)が5割を超えており、女性では「20代・30代」(47.5%)が5割近く、「40代以上」(61.8%)が6割を超えている。男女ともに、年齢があがるにつれ、《そう思う》の回答割合が高くなる傾向が見られた。

(5) 育児休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	458	441
		100.0	50.9	49.1
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	35	27
		100.0	56.5	43.5
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	28	24
		100.0	53.8	46.2
	男性 主任教諭	73	30	43
		100.0	41.1	58.9
	男性 教諭	191	81	110
		100.0	42.4	57.6
女性 管理職(校長・副校長)	30	20	10	
	100.0	66.7	33.3	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	17	15	
	100.0	53.1	46.9	
女性 主任教諭	210	126	84	
	100.0	60.0	40.0	
女性 教諭	230	116	114	
	100.0	50.4	49.6	



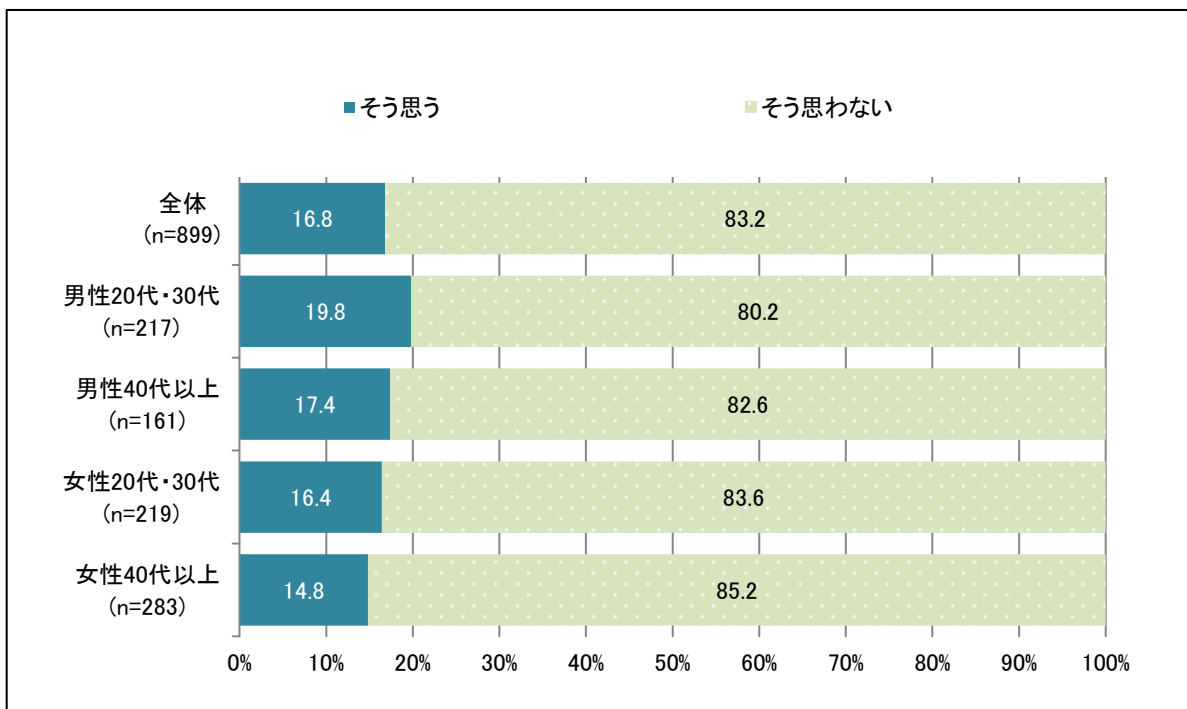
(図表IV-5-8)

○「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(50.9%)でほぼ5割となっている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(56.5%)が6割近く、「主幹教諭・指導教諭」(53.8%)が5割超え、「主任教諭」(41.1%)と「教諭」(42.4%)がともに4割超えとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(66.7%)が7割近く、「主幹教諭・指導教諭」(53.1%)が5割超え、「主任教諭」(60.0%)が6割、「教諭」(50.4%)が5割となっている。

(8) 介護休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	151	748
		100.0	16.8	83.2
性別・年代	男性 20代・30代	217	43	174
		100.0	19.8	80.2
	男性 40代以上	161	28	133
		100.0	17.4	82.6
	女性 20代・30代	219	36	183
		100.0	16.4	83.6
	女性 40代以上	283	42	241
		100.0	14.8	85.2



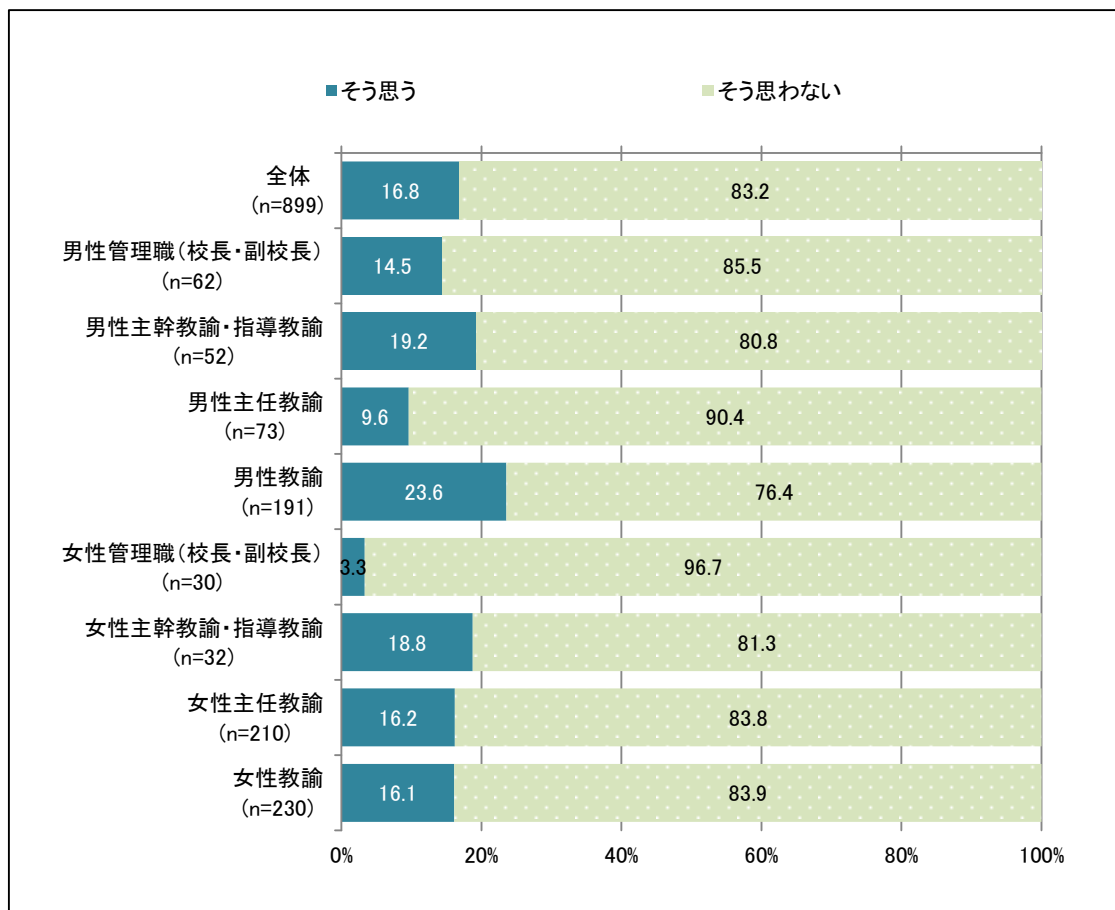
(図表IV-5-9)

○「介護休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(16.8%)で2割近くとなっている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(19.8%)が2割、「40代以上」(17.4%)が2割近くとなっており、女性では「20代・30代」(16.4%)と「40代以上」(14.8%)がともに1割台半ばとなっている。

(8) 介護休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	151	748
		100.0	16.8	83.2
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	9	53
		100.0	14.5	85.5
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	10	42
		100.0	19.2	80.8
	男性 主任教諭	73	7	66
		100.0	9.6	90.4
	男性 教諭	191	45	146
		100.0	23.6	76.4
女性 管理職(校長・副校長)	30	1	29	
	100.0	3.3	96.7	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	6	26	
	100.0	18.8	81.3	
女性 主任教諭	210	34	176	
	100.0	16.2	83.8	
女性 教諭	230	37	193	
	100.0	16.1	83.9	



(図表IV-5-10)

○「介護休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(16.8%)で2割近くとなっている。

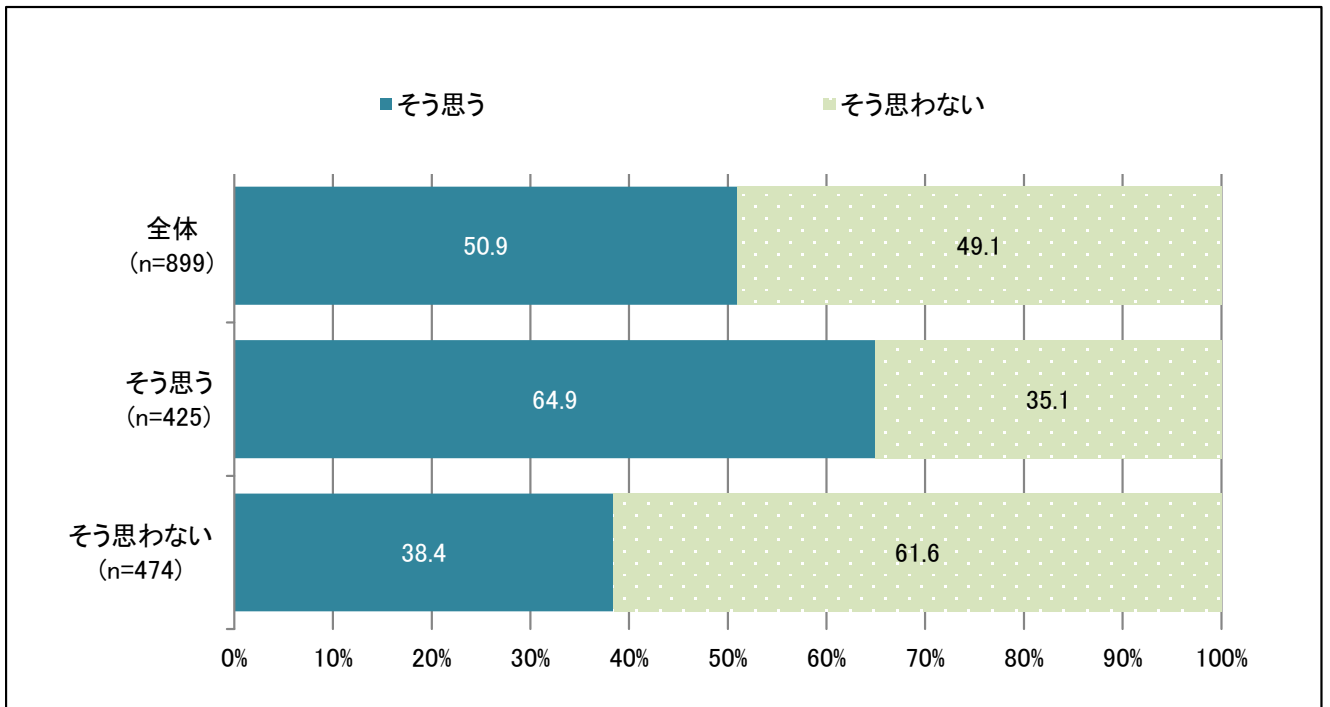
性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(14.5%)が1割台半ば、「主幹教諭・指導教諭」(19.2%)がほぼ2割、「主任教諭」(9.6%)が1割未満、「教諭」(23.6%)が2割超えとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(3.3%)がわずか、「主幹教諭・指導教諭」(18.8%)が2割近く、「主任教諭」(16.2%)と「教諭」(16.1%)がともに1割台半ばとなっている。

< 仮説・検討事項(22)>

教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」ことに影響を与えているか

(5) 育児休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	458 50.9	441 49.1
(4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある	そう思う	425 100.0	276 64.9	149 35.1
	そう思わない	474 100.0	182 38.4	292 61.6



(図表IV-5-11)

○「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(50.9%)でほぼ5割となっている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(64.9%)が6割台半ば、《そう思わない》(38.4%)が4割近くとなっている。「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

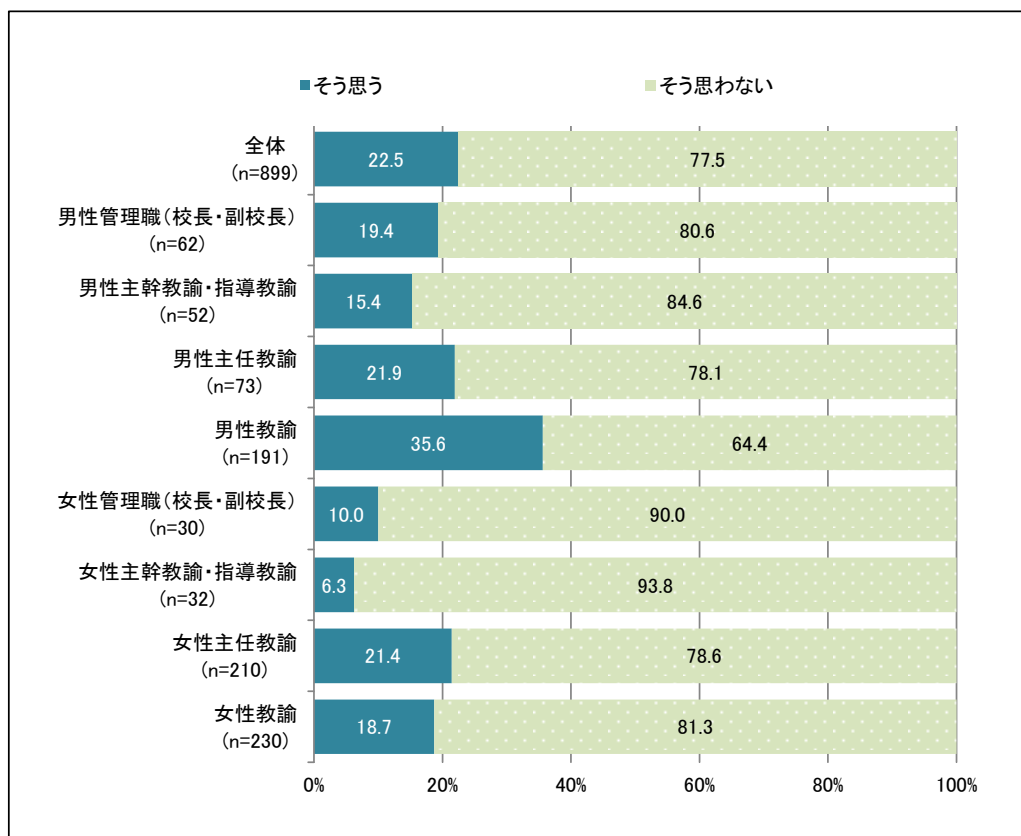
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.35であり、やや相関が見られた。

< 仮説・検討事項(23)>

教員の役職によって、「性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う」の回答に違いはあるか

(11) 性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	202	697
		100.0	22.5	77.5
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	12	50
		100.0	19.4	80.6
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	8	44
		100.0	15.4	84.6
	男性 主任教諭	73	16	57
		100.0	21.9	78.1
	男性 教諭	191	68	123
		100.0	35.6	64.4
	女性 管理職(校長・副校長)	30	3	27
	100.0	10.0	90.0	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	2	30	
	100.0	6.3	93.8	
女性 主任教諭	210	45	165	
	100.0	21.4	78.6	
女性 教諭	230	43	187	
	100.0	18.7	81.3	



(図表IV-5-12)

○「性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(22.5%)で2割超えとなっている。

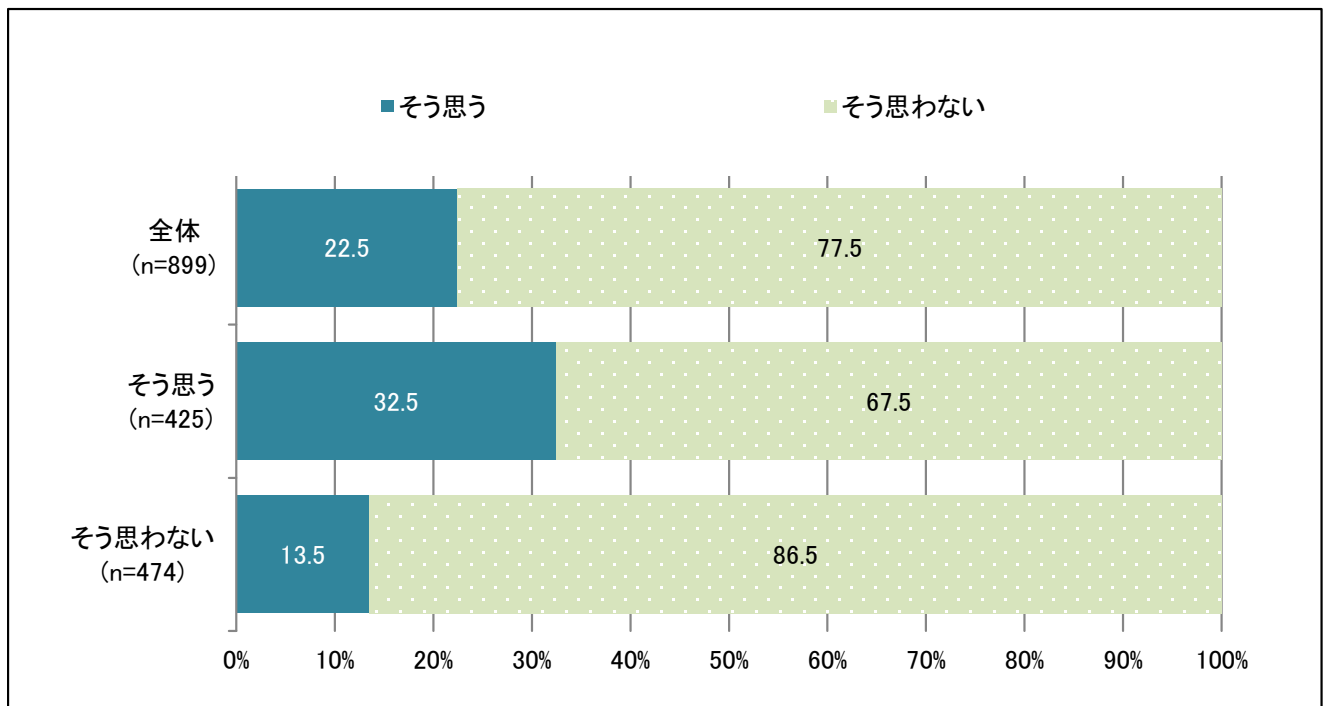
性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(19.4%)がほぼ2割、「主幹教諭・指導教諭」(15.4%)が1割台半ば、「主任教諭」(21.9%)が2割超え、「教諭」(35.6%)が3割台半ばとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(10.0%)が1割、「主幹教諭・指導教諭」(6.3%)が1割未満、「主任教諭」(21.4%)が2割超え、「教諭」(18.7%)が2割近くとなっている。

< 仮説・検討事項(24)>

教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答に影響しているか

(11) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	202 22.5	697 77.5
(4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある	そう思う	425 100.0	138 32.5	287 67.5
	そう思わない	474 100.0	64 13.5	410 86.5



(図表IV-5-13)

○「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(22.5%)で2割を超えている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(32.5%)が3割超え、《そう思わない》(13.5%)が1割を超えている。

「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$)が見られた。

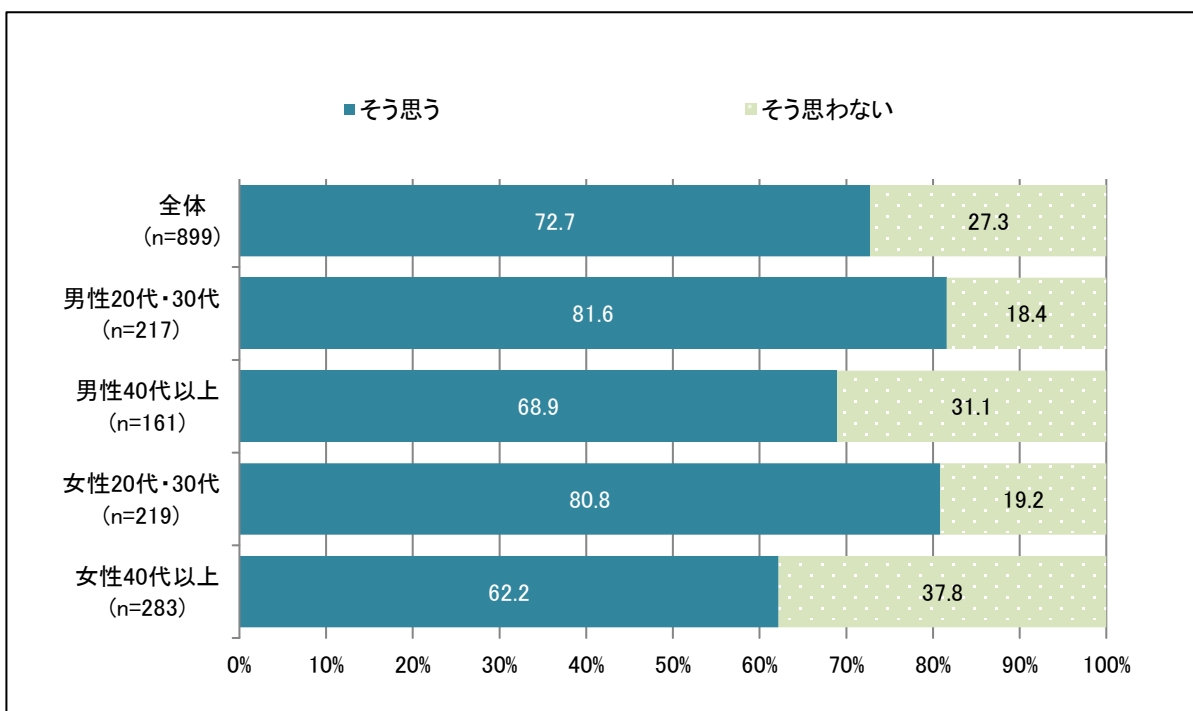
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.37であり、やや相関が見られた。

< 仮説・検討事項(25)>

「子育て中の男性/女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」の回答について、男性教員と女性教員により違いが生じる要因に年代・役職による差があるか

(6) 子育て中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	654	245
		100.0	72.7	27.3
性別・年代	男性 20代・30代	217	177	40
		100.0	81.6	18.4
	男性 40代以上	161	111	50
		100.0	68.9	31.1
	女性 20代・30代	219	177	42
		100.0	80.8	19.2
	女性 40代以上	283	176	107
		100.0	62.2	37.8



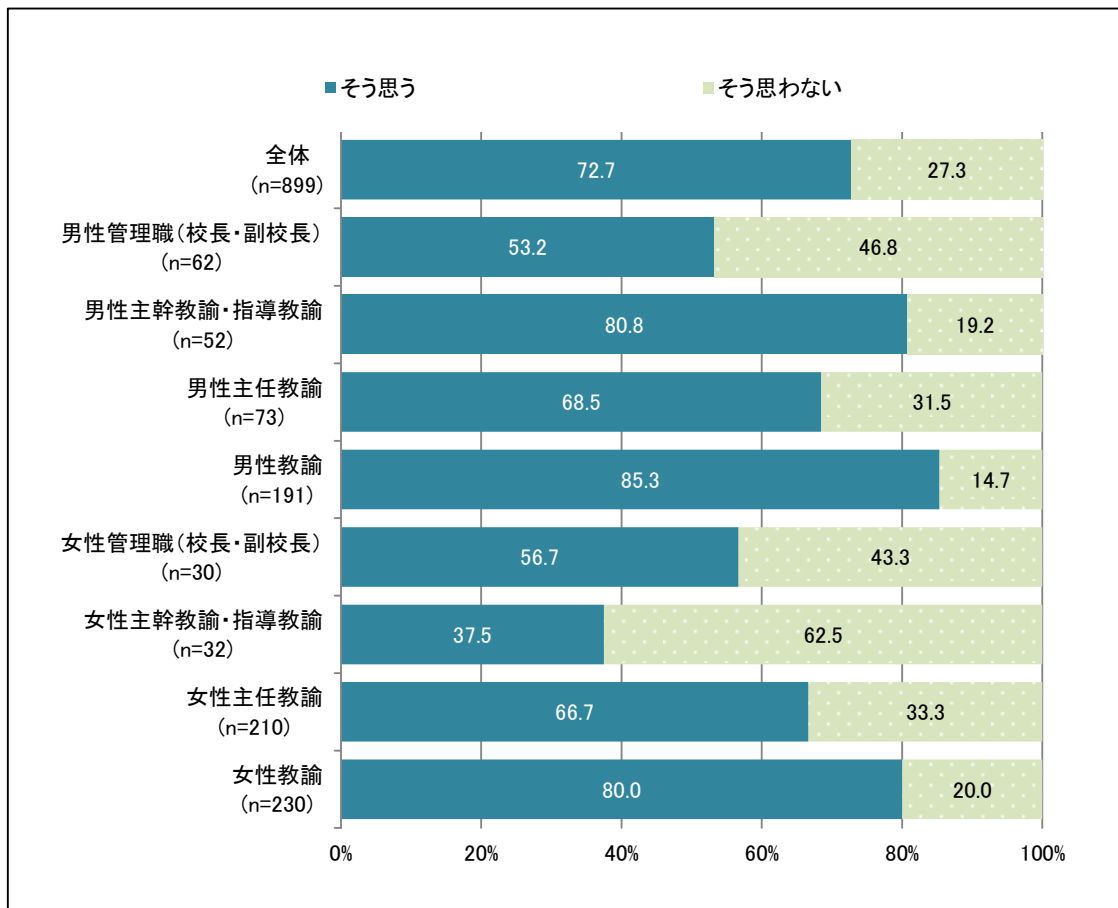
(図表IV-5-14)

○「子育て中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(72.7%)で7割を超えている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(81.6%)が8割超え、「40代以上」(68.9%)が7割近くとなっており、女性では「20代・30代」(80.8%)がほぼ8割、「40代以上」(62.2%)が6割を超えている。男女ともに、年代があがるにつれ、《そう思う》の回答割合が低くなる傾向が見られた。

(6) 子育て中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (S A)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	654	245
		100.0	72.7	27.3
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	33	29
		100.0	53.2	46.8
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	42	10
		100.0	80.8	19.2
	男性 主任教諭	73	50	23
		100.0	68.5	31.5
	男性 教諭	191	163	28
		100.0	85.3	14.7
女性 管理職(校長・副校長)	30	17	13	
	100.0	56.7	43.3	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	12	20	
	100.0	37.5	62.5	
女性 主任教諭	210	140	70	
	100.0	66.7	33.3	
女性 教諭	230	184	46	
	100.0	80.0	20.0	



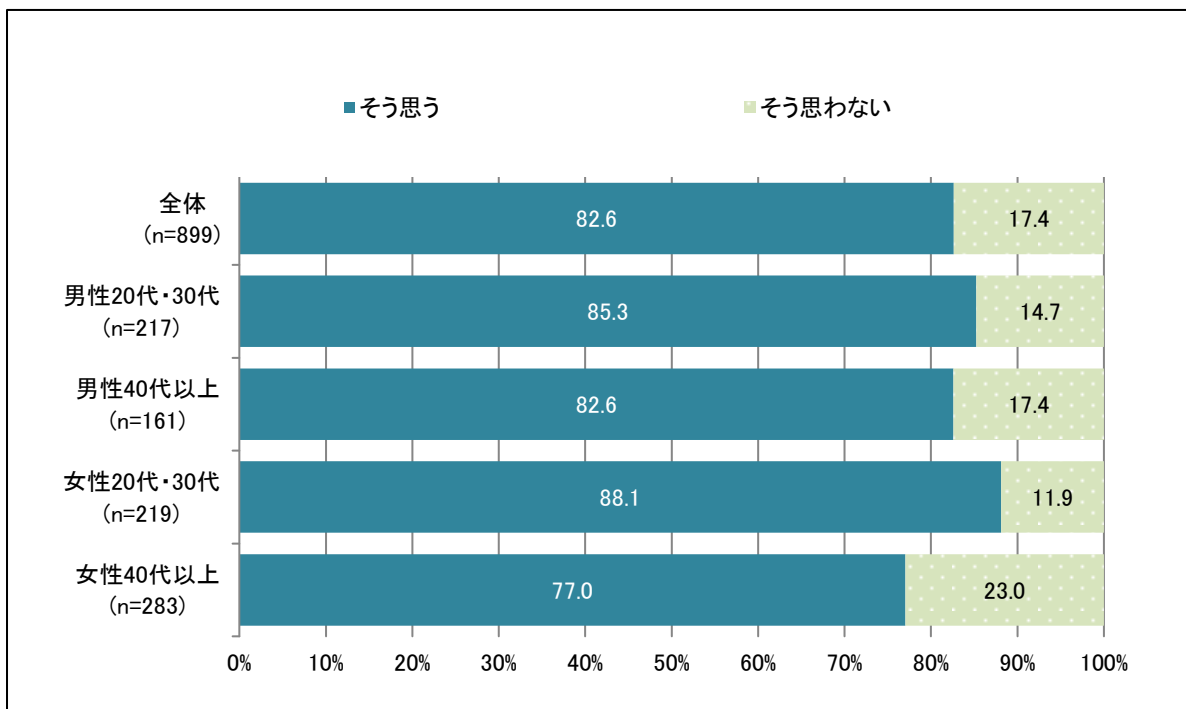
(図表IV-5-15)

○「子育て中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(72.7%)で7割を超えている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(53.2%)が5割超え、「主幹教諭・指導教諭」(80.8%)がほぼ8割、「主任教諭」(68.5%)が7割近く、「教諭」(85.3%)が8割台半ばとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(56.7%)が6割近く、「主幹教諭・指導教諭」(37.5%)が4割近く、「主任教諭」(66.7%)が7割近く、「教諭」(80.0%)が8割となっている。

(7) 子育て中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (S A)

		計	そう思う	そう思わない
全 体		899	743	156
		100.0	82.6	17.4
性別・年代	男性 20代・30代	217	185	32
		100.0	85.3	14.7
	男性 40代以上	161	133	28
		100.0	82.6	17.4
	女性 20代・30代	219	193	26
		100.0	88.1	11.9
	女性 40代以上	283	218	65
		100.0	77.0	23.0



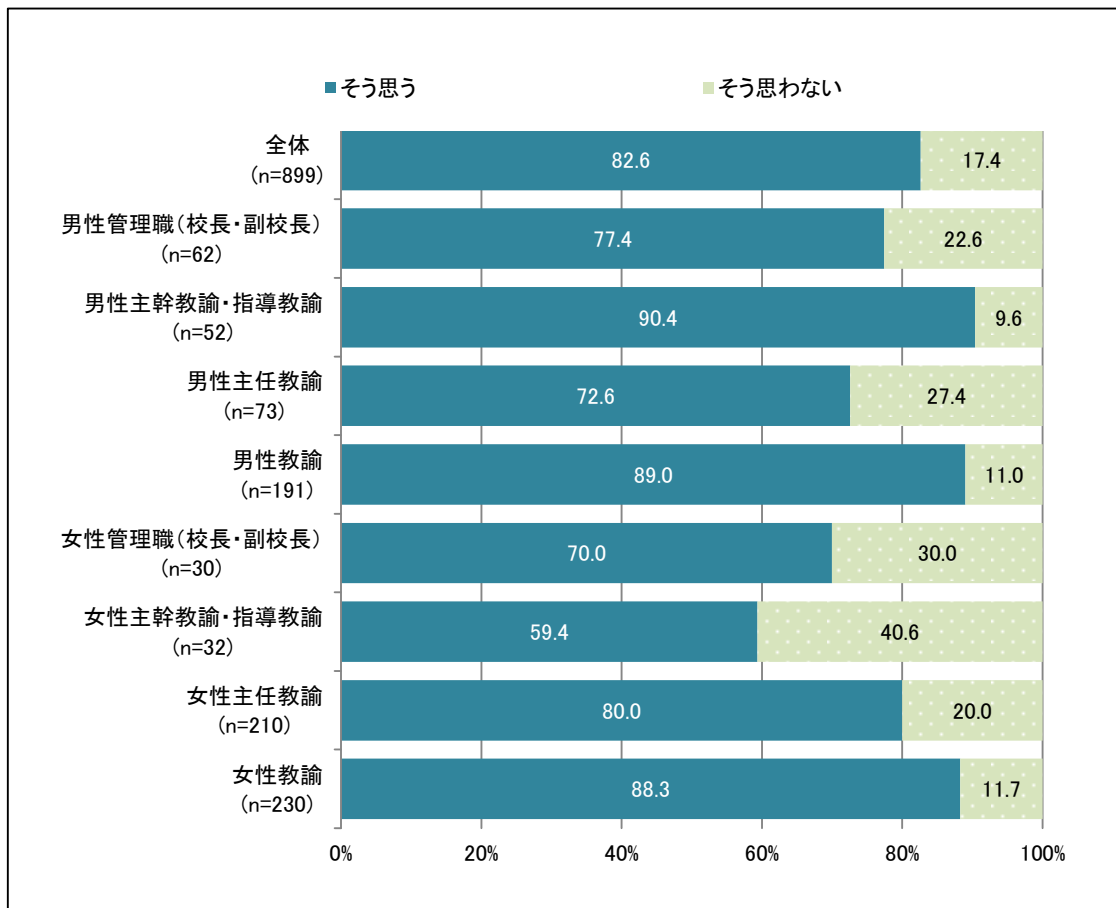
(図表IV-5-16)

○「子育て中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(82.6%)で8割を超えている。

性別・年代別で見ると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(85.3%)が8割台半ば、「40代以上」(82.6%)が8割超えとなっており、女性では「20代・30代」(88.1%)が9割近く、「40代以上」(77.0%)が8割近くとなっている。女性では、年代により《そう思う》の回答割合に大きな差が見られた。

(7) 子育て中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (S A)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	743	156
		100.0	82.6	17.4
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	48	14
		100.0	77.4	22.6
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	47	5
		100.0	90.4	9.6
	男性 主任教諭	73	53	20
		100.0	72.6	27.4
	男性 教諭	191	170	21
		100.0	89.0	11.0
女性 管理職(校長・副校長)	30	21	9	
	100.0	70.0	30.0	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	19	13	
	100.0	59.4	40.6	
女性 主任教諭	210	168	42	
	100.0	80.0	20.0	
女性 教諭	230	203	27	
	100.0	88.3	11.7	



(図表IV-5-17)

○「子育て中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」について、全体では「そう思う」(82.6%)で8割を超えている。

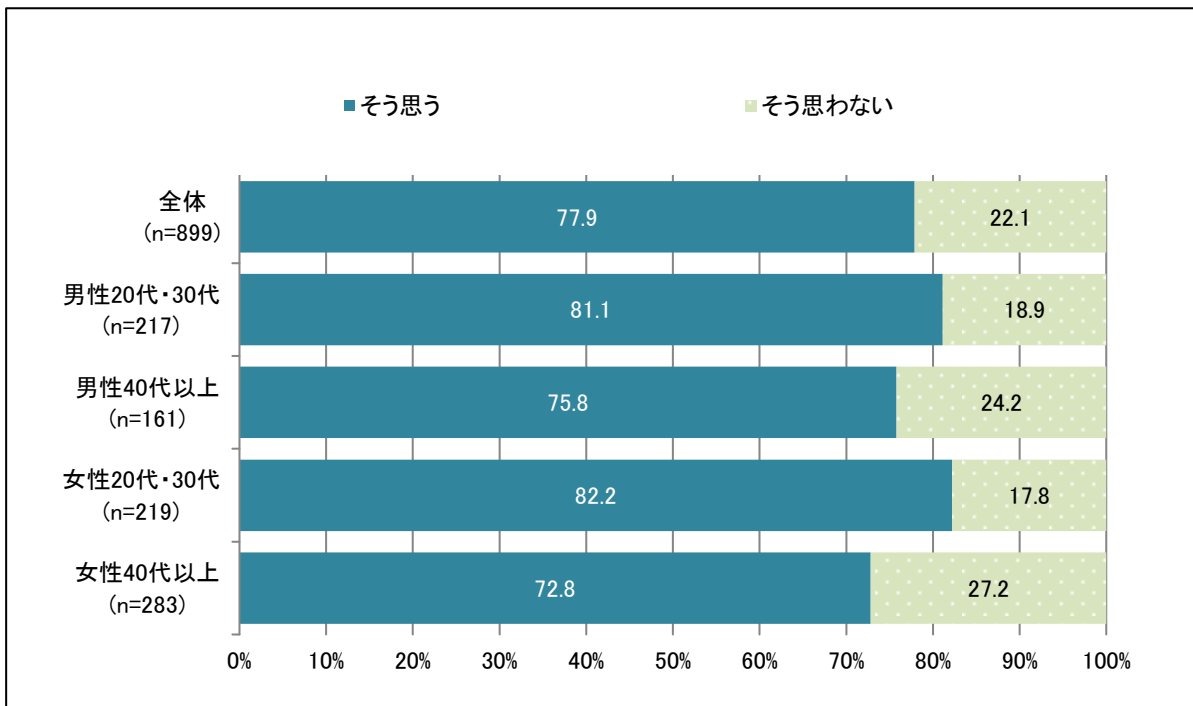
性別・役職別でみると、「そう思う」について、男性では「管理職(校長・副校長)」(77.4%)が8割近く、「主幹教諭・指導教諭」(90.4%)が9割、「主任教諭」(72.6%)が7割超え、「教諭」(89.0%)がほぼ9割となっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(70.0%)が7割、「主幹教諭・指導教諭」(59.4%)がほぼ6割、「主任教諭」(80.0%)が8割、「教諭」(88.3%)が9割近くとなっている。

< 仮説・検討事項(26)>

「介護中の男性/女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」の回答について、男性教員と女性教員により違いが生じる要因に年代・役職による差があるか

(9) 介護中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	700	199
		100.0	77.9	22.1
性別・年代	男性 20代・30代	217	176	41
		100.0	81.1	18.9
	男性 40代以上	161	122	39
		100.0	75.8	24.2
	女性 20代・30代	219	180	39
		100.0	82.2	17.8
	女性 40代以上	283	206	77
		100.0	72.8	27.2



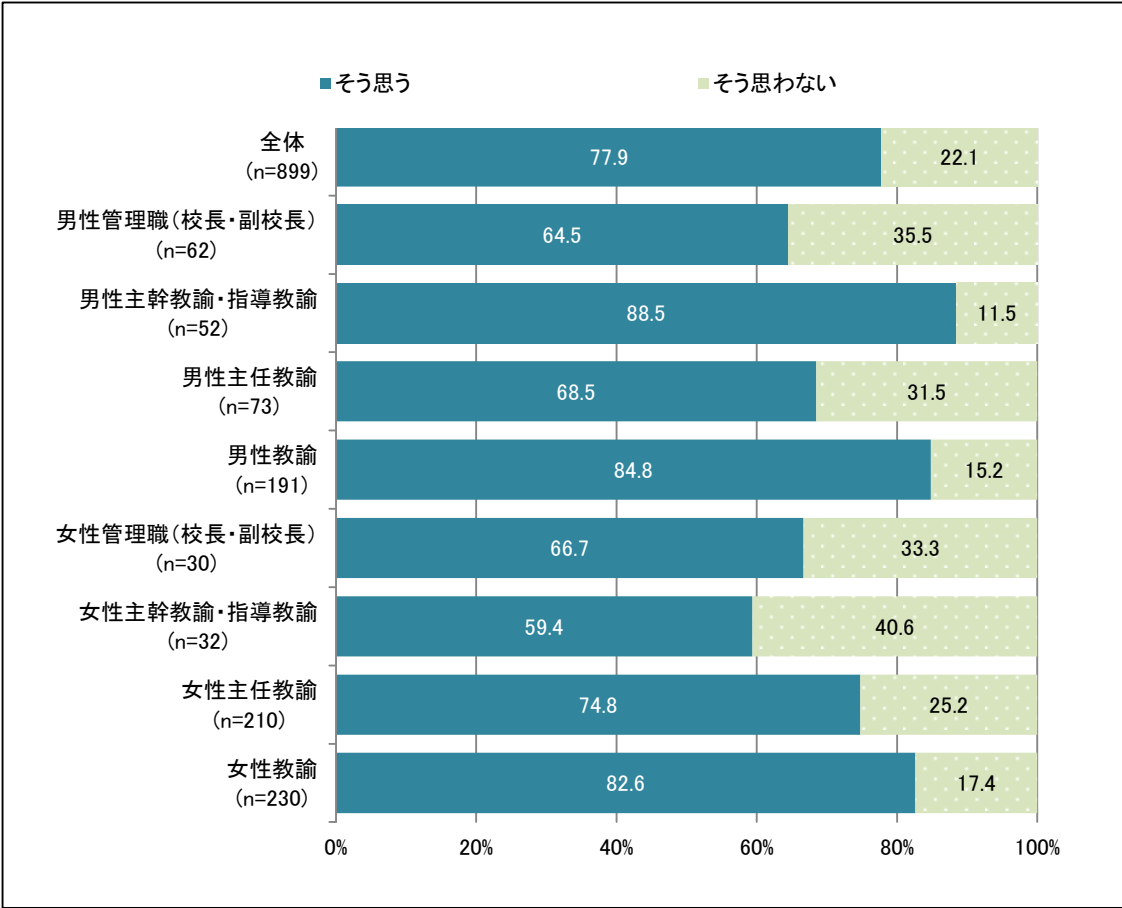
(図表IV-5-18)

○「介護中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(77.9%)で8割近くとなっている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(81.1%)が8割超え、「40代以上」(75.8%)が7割台半ばとなっており、女性では「20代・30代」(82.2%)が8割超え、「40代以上」(72.8%)が7割を超えている。

(9) 介護中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (S A)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	700	199
		100.0	77.9	22.1
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	40	22
		100.0	64.5	35.5
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	46	6
		100.0	88.5	11.5
	男性 主任教諭	73	50	23
		100.0	68.5	31.5
	男性 教諭	191	162	29
		100.0	84.8	15.2
女性 管理職(校長・副校長)	30	20	10	
	100.0	66.7	33.3	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	19	13	
	100.0	59.4	40.6	
女性 主任教諭	210	157	53	
	100.0	74.8	25.2	
女性 教諭	230	190	40	
	100.0	82.6	17.4	



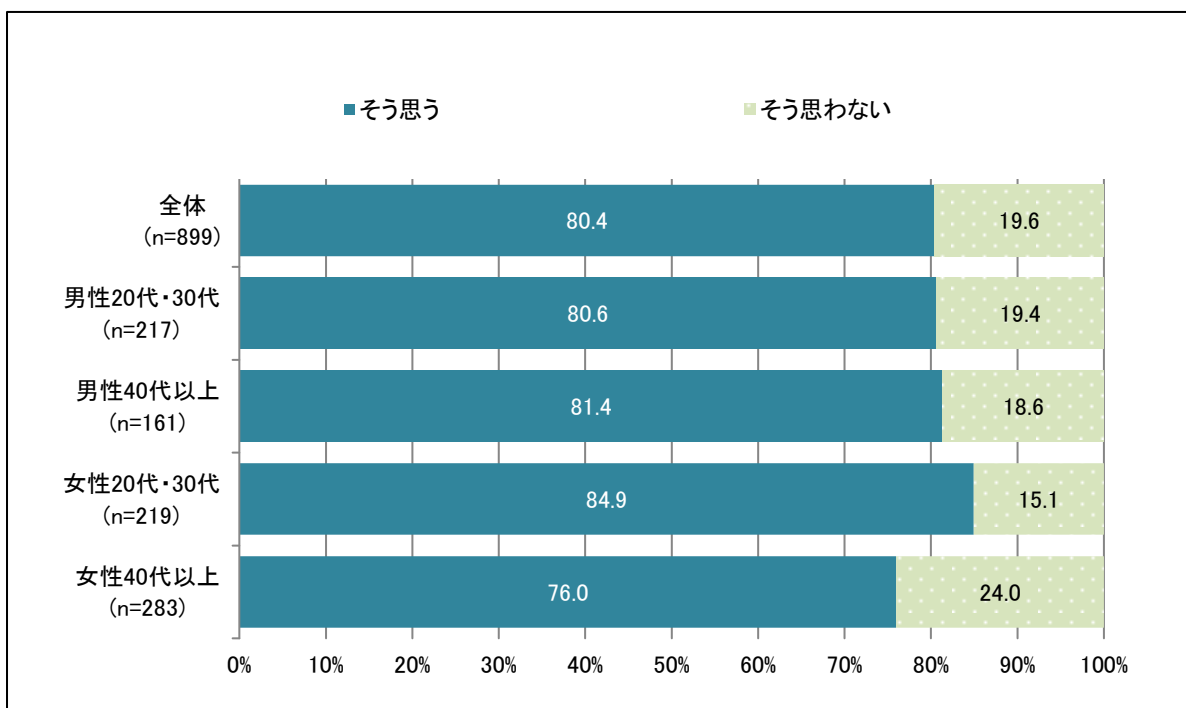
(図表IV-5-19)

○「介護中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(77.9%)で8割近くとなっている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(64.5%)が6割台半ば、「主幹教諭・指導教諭」(88.5%)が9割近く、「主任教諭」(68.5%)が7割近く、「教諭」(84.8%)が8割台半ばとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(66.7%)が7割近く、「主幹教諭・指導教諭」(59.4%)がほぼ6割、「主任教諭」(74.8%)が7割台半ば、「教諭」(82.6%)が8割を超えている。

(10) 介護中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	723	176
		100.0	80.4	19.6
性別・年代	男性 20代・30代	217	175	42
		100.0	80.6	19.4
	男性 40代以上	161	131	30
		100.0	81.4	18.6
	女性 20代・30代	219	186	33
		100.0	84.9	15.1
	女性 40代以上	283	215	68
		100.0	76.0	24.0



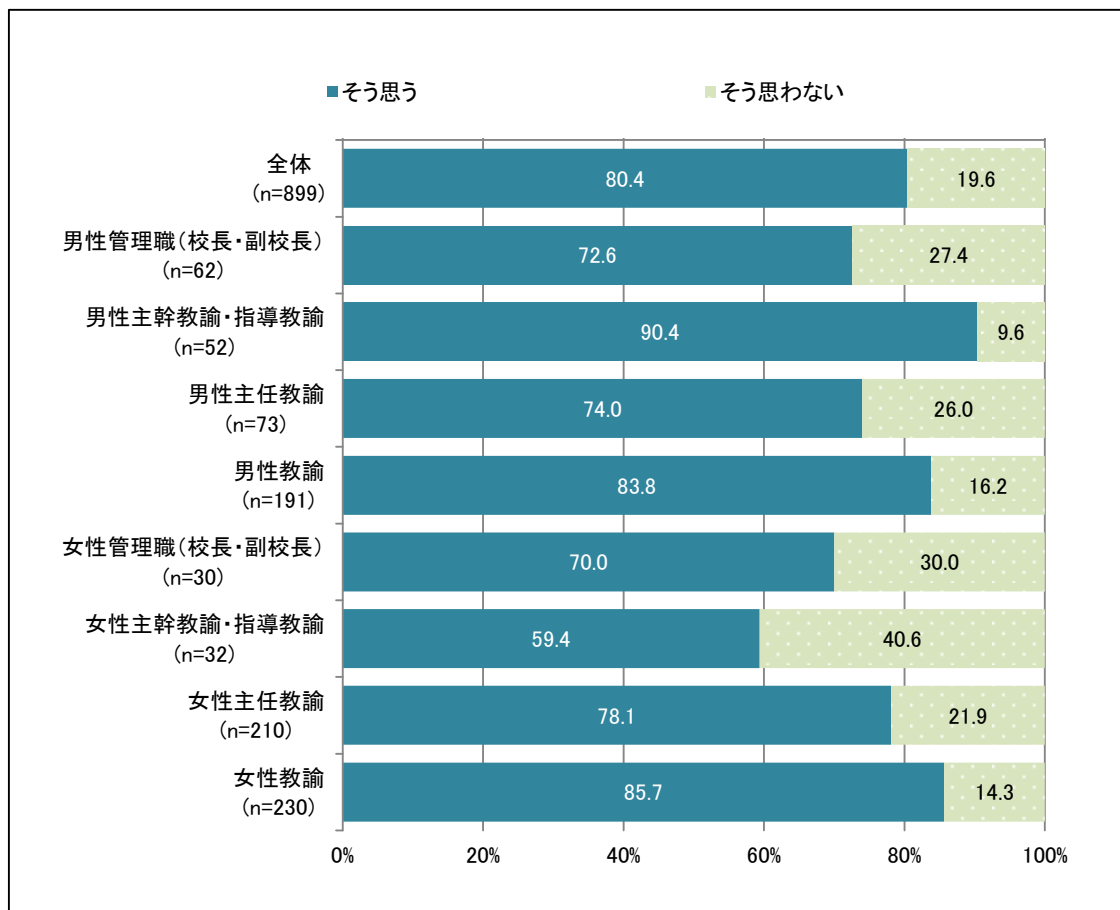
(図表IV-5-20)

○「介護中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(80.4%)で8割となっている。

性別・年代別で見ると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(80.6%)がほぼ8割、「40代以上」(81.4%)が8割超えとなっており、女性では「20代・30代」(84.9%)が8割台半ば、「40代以上」(76.0%)が7割台半ばとなっている。

(10) 介護中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	723	176
		100.0	80.4	19.6
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	45	17
		100.0	72.6	27.4
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	47	5
		100.0	90.4	9.6
	男性 主任教諭	73	54	19
		100.0	74.0	26.0
	男性 教諭	191	160	31
		100.0	83.8	16.2
女性 管理職(校長・副校長)	30	21	9	
	100.0	70.0	30.0	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	19	13	
	100.0	59.4	40.6	
女性 主任教諭	210	164	46	
	100.0	78.1	21.9	
女性 教諭	230	197	33	
	100.0	85.7	14.3	



(図表IV-5-21)

○「介護中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」について、全体では「そう思う」(80.4%)で8割となっている。

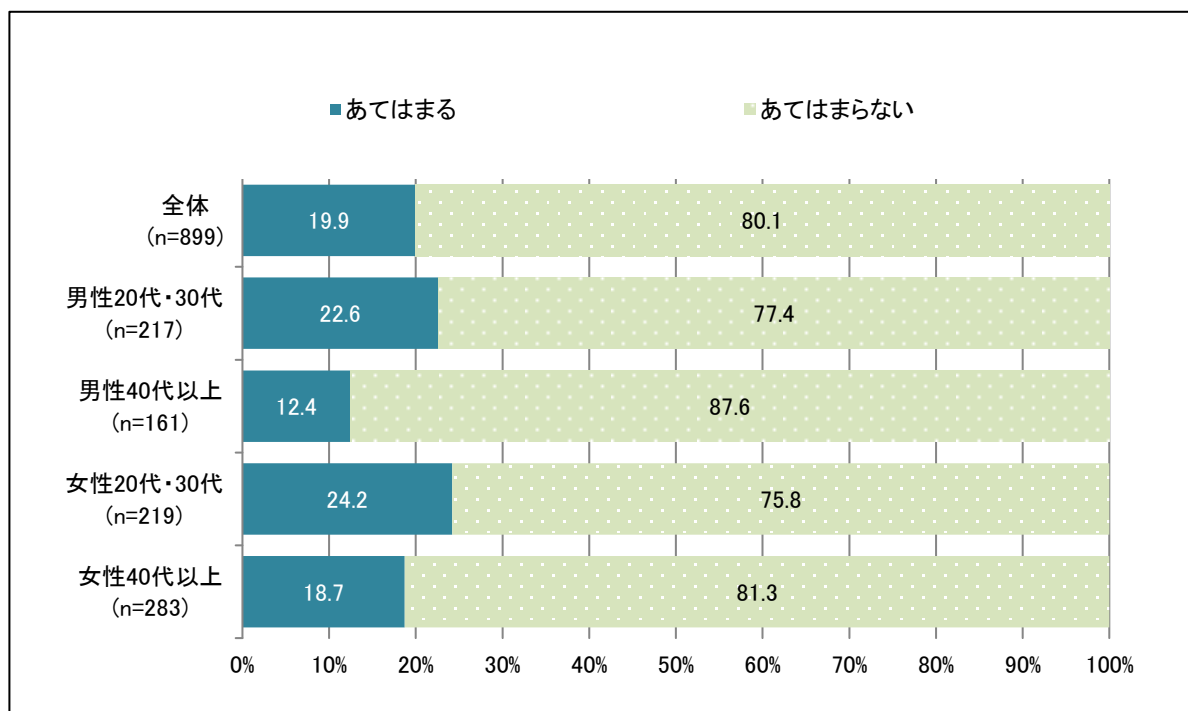
性別・役職別でみると、「そう思う」について、男性では「管理職(校長・副校長)」(72.6%)が7割超え、「主幹教諭・指導教諭」(90.4%)が9割、「主任教諭」(74.0%)が7割台半ば、「教諭」(83.8%)が8割超えとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(70.0%)が7割、「主幹教諭・指導教諭」(59.4%)がほぼ6割、「主任教諭」(78.1%)が8割近く、「教諭」(85.7%)が8割台半ばとなっている。

< 仮説・検討事項(27)>

教員の年代・役職によって、「重要な仕事は男性教員に任されていることが多い」の回答に違いがあるか

(13) 重要な仕事は男性教員に任されていることが多い (SA)

		計	あてはまる	あてはまらない
全体		899	179	720
		100.0	19.9	80.1
性別・年代	男性 20代・30代	217	49	168
		100.0	22.6	77.4
	男性 40代以上	161	20	141
		100.0	12.4	87.6
	女性 20代・30代	219	53	166
		100.0	24.2	75.8
	女性 40代以上	283	53	230
		100.0	18.7	81.3



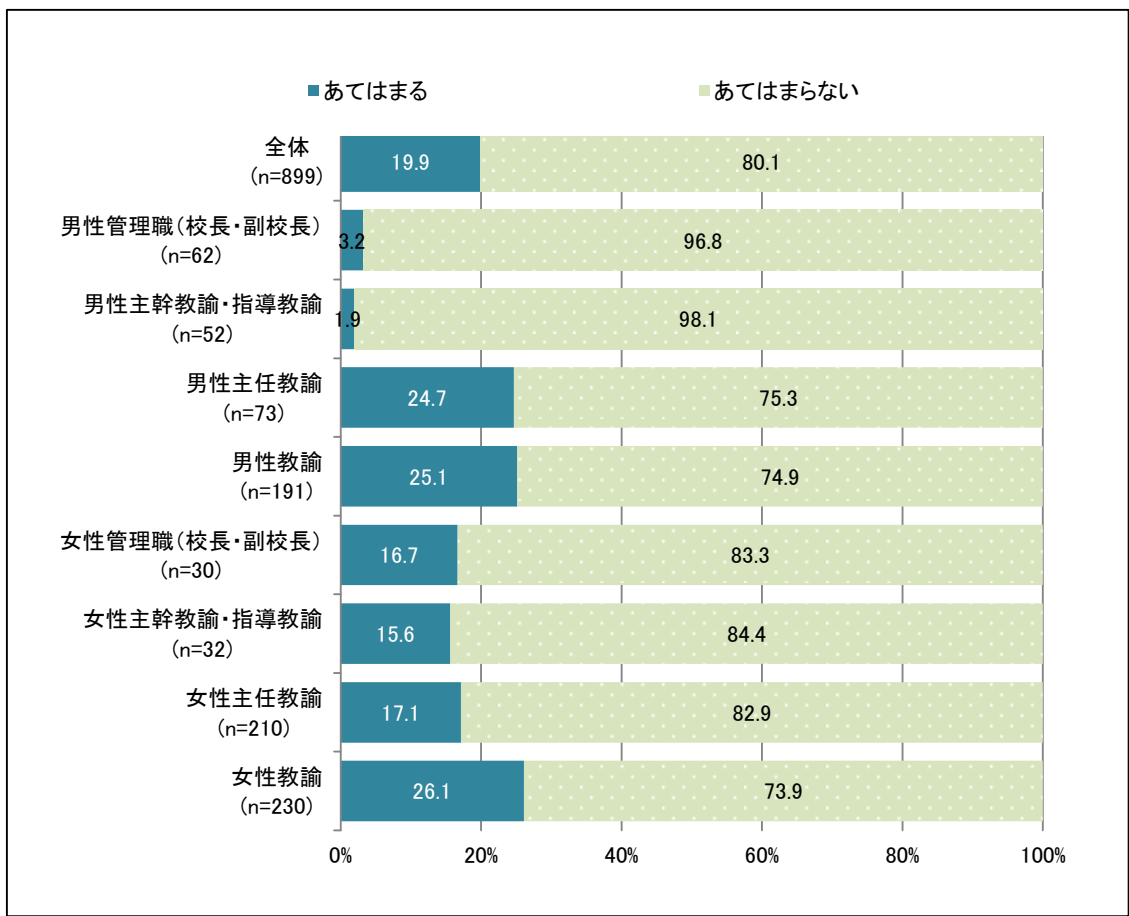
(図表IV-5-2)

○「重要な仕事は男性教員に任されていることが多い」について、全体では《あてはまる》(19.9%)で2割となっている。

性別・年代別でみると、《あてはまる》について、男性では「20代・30代」(22.6%)が2割超え、「40代以上」(12.4%)が1割超えとなっており、女性では「20代・30代」(24.2%)が2割台半ば、「40代以上」(18.7%)が2割近くとなっている。男性では、年代により《あてはまる》の回答割合に大きな差が見られた。

(13) 重要な仕事は男性教員に任されていることが多い (SA)

		計	あてはまる	あてはまらない
全体		899	179	720
		100.0	19.9	80.1
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	2	60
		100.0	3.2	96.8
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	1	51
		100.0	1.9	98.1
	男性 主任教諭	73	18	55
		100.0	24.7	75.3
	男性 教諭	191	48	143
		100.0	25.1	74.9
女性 管理職(校長・副校長)	30	5	25	
	100.0	16.7	83.3	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	5	27	
	100.0	15.6	84.4	
女性 主任教諭	210	36	174	
	100.0	17.1	82.9	
女性 教諭	230	60	170	
	100.0	26.1	73.9	



(図表IV-5-23)

○「重要な仕事は男性教員に任されていることが多い」について、全体では《あてはまる》(19.9%)で2割となっている。

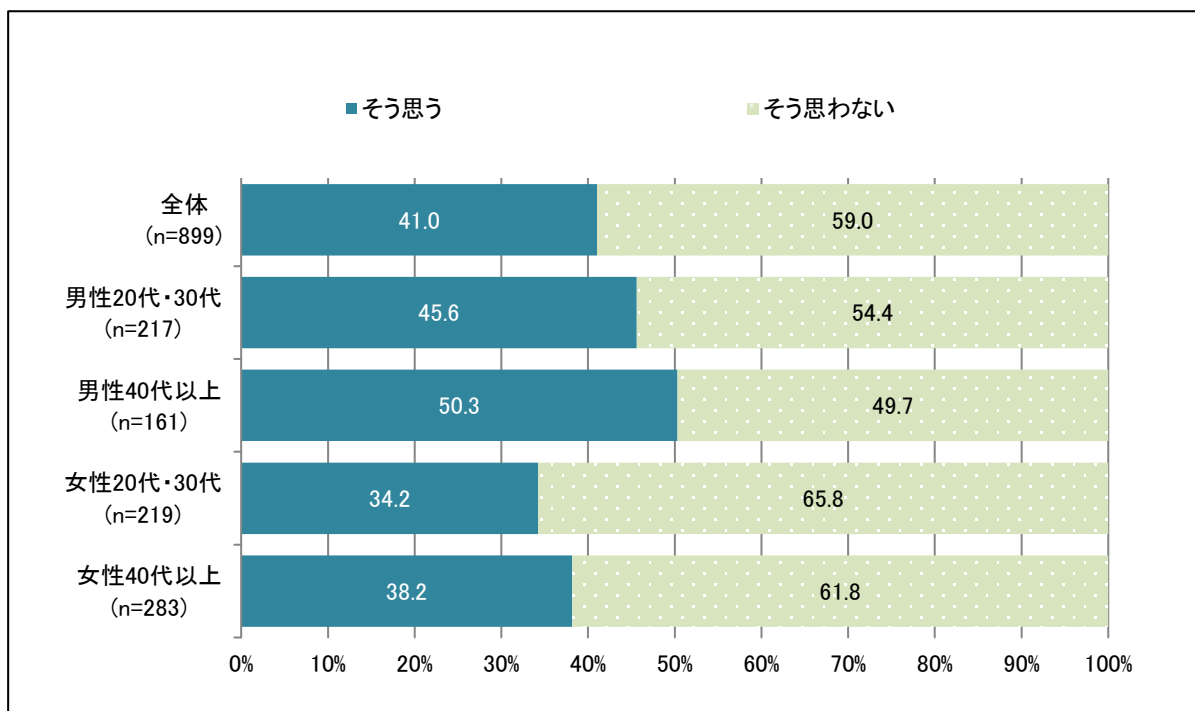
性別・役職別でみると、《あてはまる》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(3.2%)と「主幹教諭・指導教諭」(1.9%)がともにわずか、「主任教諭」(24.7%)と「教諭」(25.1%)がともに2割台半ばとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(16.7%)が2割近く、「主幹教諭・指導教諭」(15.6%)が1割台半ば、「主任教諭」(17.1%)が2割近く、「教諭」(26.1%)が2割台半ばとなっている。

< 仮説・検討事項(28)>

教員の年代・役職によって、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答に違いがあるか

(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	369	530
		100.0	41.0	59.0
性別・年代	男性 20代・30代	217	99	118
		100.0	45.6	54.4
	男性 40代以上	161	81	80
		100.0	50.3	49.7
女性 20代・30代	219	75	144	
	100.0	34.2	65.8	
女性 40代以上	283	108	175	
	100.0	38.2	61.8	



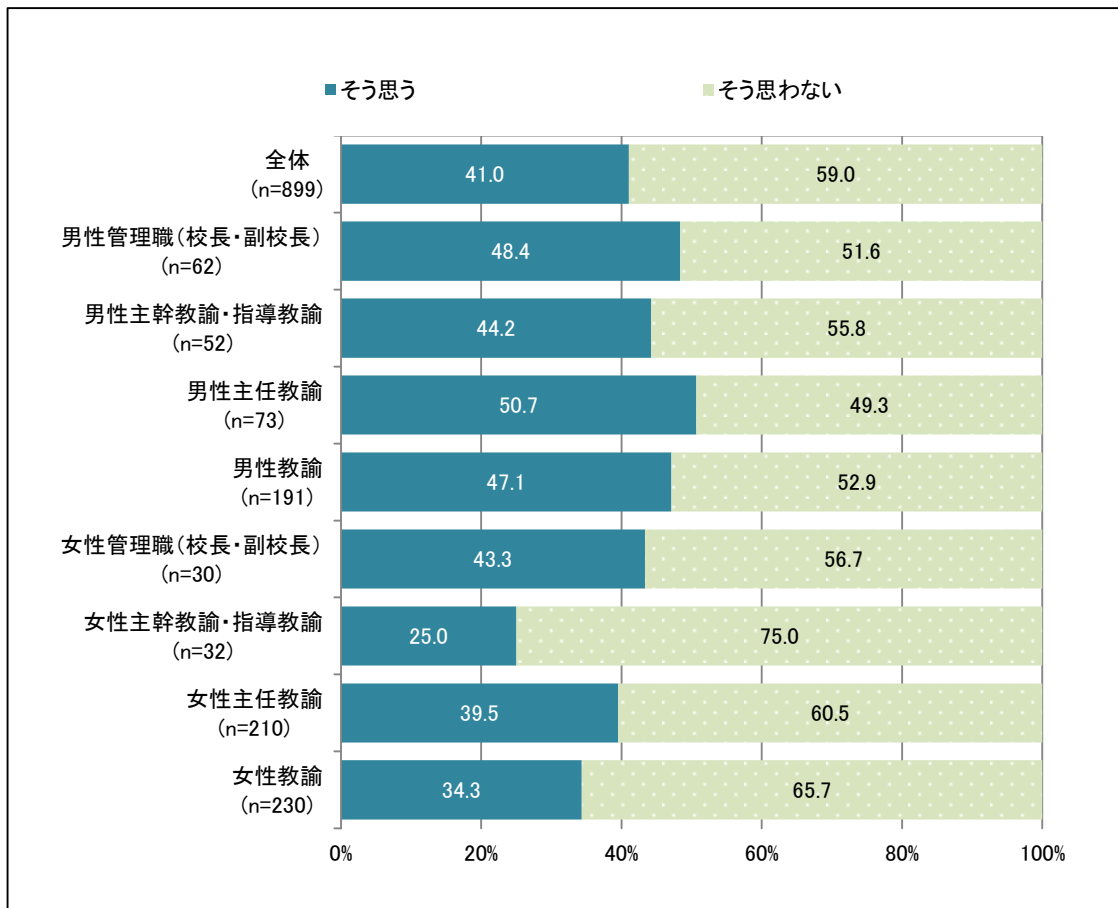
(図表IV-5-24)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(41.0%)で4割を超えている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(45.6%)が4割台半ば、「40代以上」(50.3%)が5割となっており、女性では「20代・30代」(34.2%)が3割台半ば、「40代以上」(38.2%)が4割近くとなっている。

(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	369	530
		100.0	41.0	59.0
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	30	32
		100.0	48.4	51.6
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	23	29
		100.0	44.2	55.8
	男性 主任教諭	73	37	36
		100.0	50.7	49.3
	男性 教諭	191	90	101
		100.0	47.1	52.9
女性 管理職(校長・副校長)	30	13	17	
	100.0	43.3	56.7	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	8	24	
	100.0	25.0	75.0	
女性 主任教諭	210	83	127	
	100.0	39.5	60.5	
女性 教諭	230	79	151	
	100.0	34.3	65.7	



(図表IV-5-25)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(41.0%)で4割を超えている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(48.4%)が5割近く、「主幹教諭・指導教諭」(44.2%)が4割台半ば、「主任教諭」(50.7%)がほぼ5割、「教諭」(47.1%)が5割近くとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(43.3%)が4割超え、「主幹教諭・指導教諭」(25.0%)が2割台半ば、「主任教諭」(39.5%)が4割、「教諭」(34.3%)が3割台半ばとなっている。

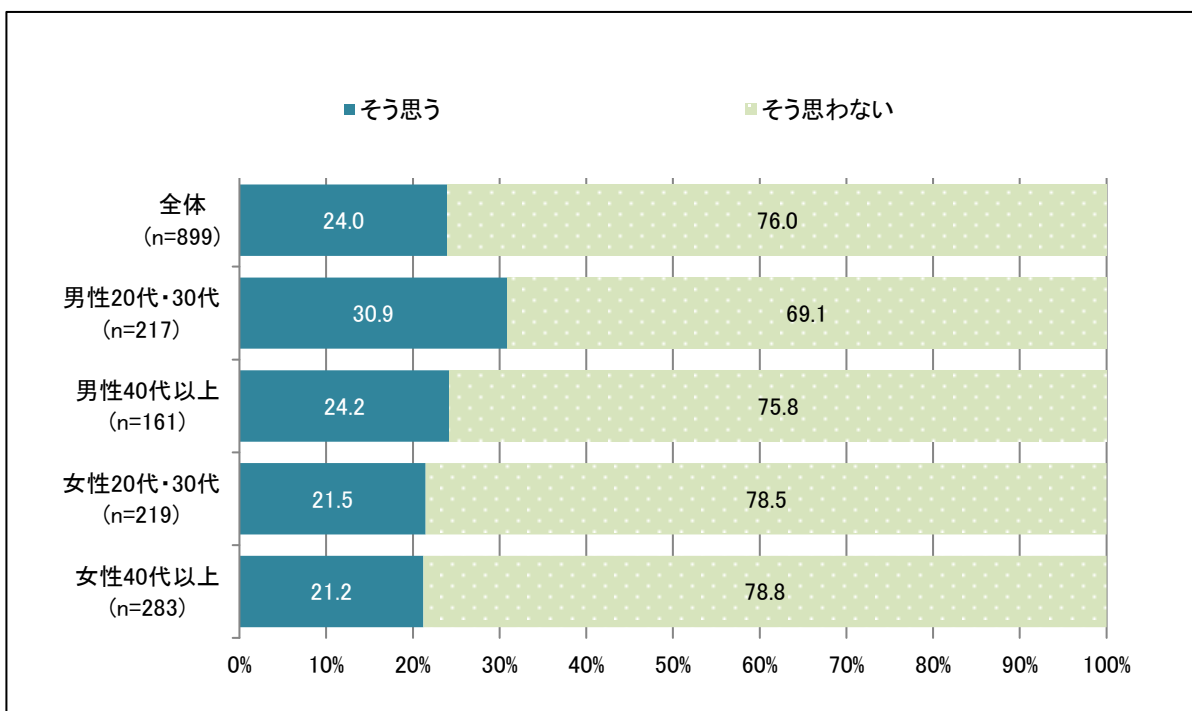
③ 児童の教科の得意・不得意に関する意識の年代・役職差

< 仮説・検討事項(29) >

教員の年代・役職によって、児童の教科の得意・不得意について、「性別による違いがあると思う」ことに違いはあるか

(15) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	216	683
		100.0	24.0	76.0
性別・年代	男性 20代・30代	217	67	150
		100.0	30.9	69.1
	男性 40代以上	161	39	122
		100.0	24.2	75.8
	女性 20代・30代	219	47	172
		100.0	21.5	78.5
	女性 40代以上	283	60	223
		100.0	21.2	78.8



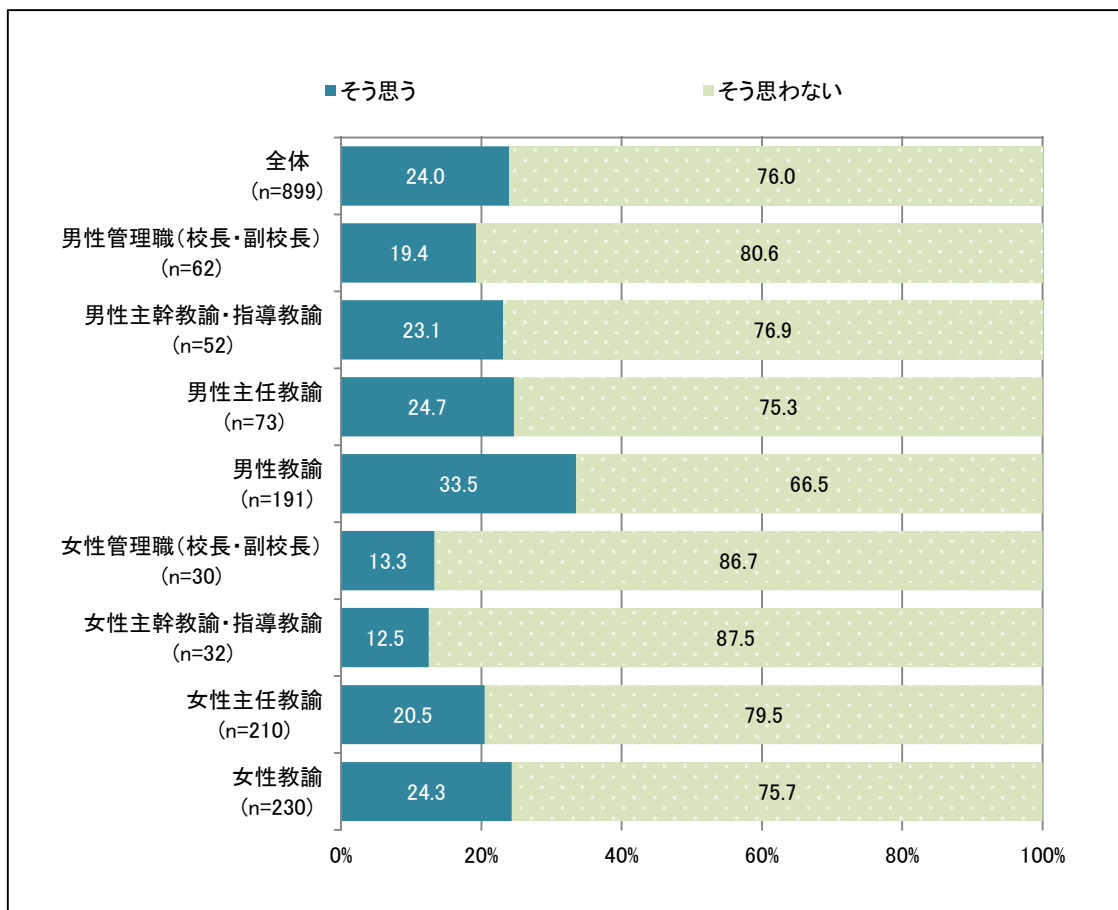
(図表IV-5-26)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(24.0%)で2割台半ばとなっている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(30.9%)がほぼ3割、「40代以上」(24.2%)が2割台半ばとなっており、女性では「20代・30代」(21.5%)と「40代以上」(21.2%)がともに2割を超えている。

(15) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	216	683
		100.0	24.0	76.0
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	12	50
		100.0	19.4	80.6
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	12	40
		100.0	23.1	76.9
	男性 主任教諭	73	18	55
		100.0	24.7	75.3
	男性 教諭	191	64	127
		100.0	33.5	66.5
女性 管理職(校長・副校長)	30	4	26	
	100.0	13.3	86.7	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	4	28	
	100.0	12.5	87.5	
女性 主任教諭	210	43	167	
	100.0	20.5	79.5	
女性 教諭	230	56	174	
	100.0	24.3	75.7	



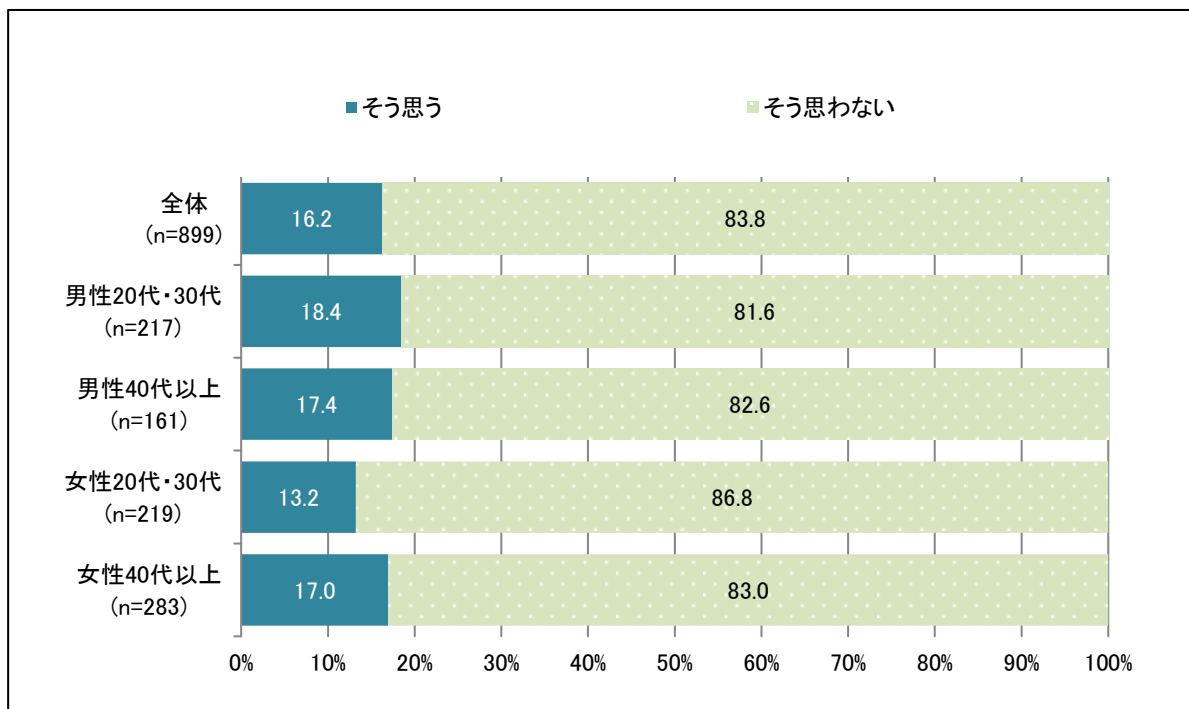
(図表IV-5-27)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(24.0%)で2割台半ばとなっている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(19.4%)がほぼ2割、「主幹教諭・指導教諭」(23.1%)が2割超え、「主任教諭」(24.7%)が2割台半ば、「教諭」(33.5%)が3割超えとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(13.3%)と「主幹教諭・指導教諭」(12.5%)がともに1割超え、「主任教諭」(20.5%)がほぼ2割、「教諭」(24.3%)が2割台半ばとなっている。男女ともに、役職があがるにつれ、《そう思う》の回答割合が低くなる傾向が見られた。

(16) 理系科目は男の子の方が得意だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	146	753
		100.0	16.2	83.8
性別・年代	男性 20代・30代	217	40	177
		100.0	18.4	81.6
	男性 40代以上	161	28	133
		100.0	17.4	82.6
	女性 20代・30代	219	29	190
		100.0	13.2	86.8
	女性 40代以上	283	48	235
		100.0	17.0	83.0



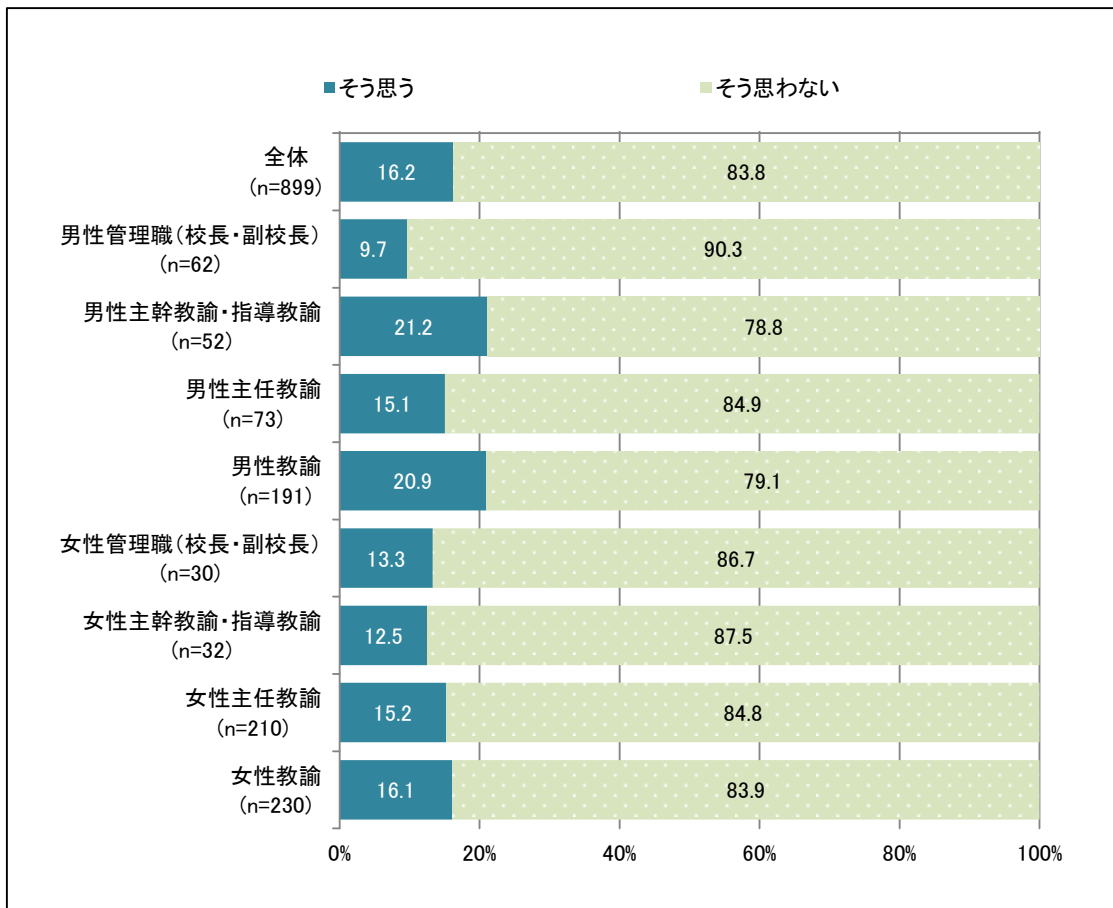
(図表IV-5-28)

○「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(16.2%)で1割台半ばとなっている。

性別・年代別で見ると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(18.4%)と「40代以上」(17.4%)がともに2割近くとなっており、女性では「20代・30代」(13.2%)が1割超え、「40代以上」(17.0%)が2割近くとなっている。

(16) 理系科目は男の子の方が得意だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	146	753
		100.0	16.2	83.8
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	6	56
		100.0	9.7	90.3
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	11	41
		100.0	21.2	78.8
	男性 主任教諭	73	11	62
		100.0	15.1	84.9
	男性 教諭	191	40	151
		100.0	20.9	79.1
女性	女性 管理職(校長・副校長)	30	4	26
		100.0	13.3	86.7
	女性 主幹教諭・指導教諭	32	4	28
		100.0	12.5	87.5
女性 主任教諭	210	32	178	
	100.0	15.2	84.8	
女性 教諭	230	37	193	
	100.0	16.1	83.9	



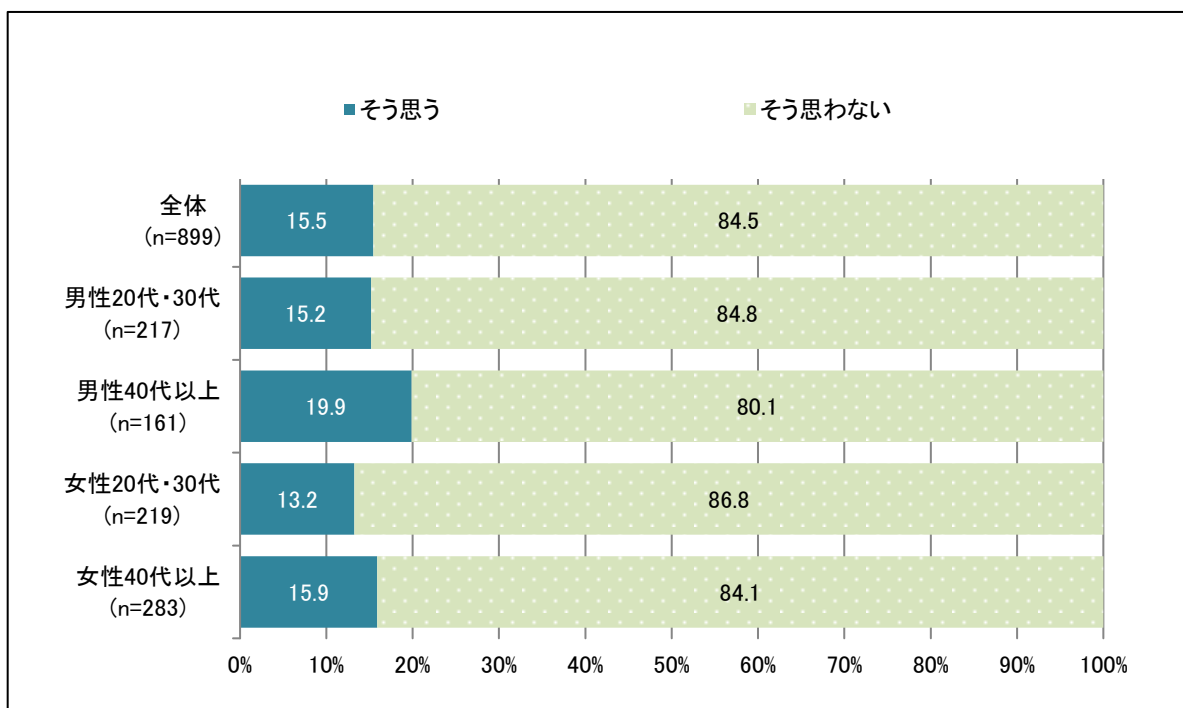
(図表IV-5-29)

○「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(16.2%)で1割台半ばとなっている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(9.7%)が1割未満、「主幹教諭・指導教諭」(21.2%)が2割超え、「主任教諭」(15.1%)が1割台半ば、「教諭」(20.9%)がほぼ2割となっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(13.3%)と「主幹教諭・指導教諭」(12.5%)がともに1割超え、「主任教諭」(15.2%)と「教諭」(16.1%)がともに1割台半ばとなっている。

(17) 文系科目は女の子の方が得意だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	139	760
		100.0	15.5	84.5
性別・年代	男性 20代・30代	217	33	184
		100.0	15.2	84.8
	男性 40代以上	161	32	129
		100.0	19.9	80.1
	女性 20代・30代	219	29	190
		100.0	13.2	86.8
	女性 40代以上	283	45	238
		100.0	15.9	84.1



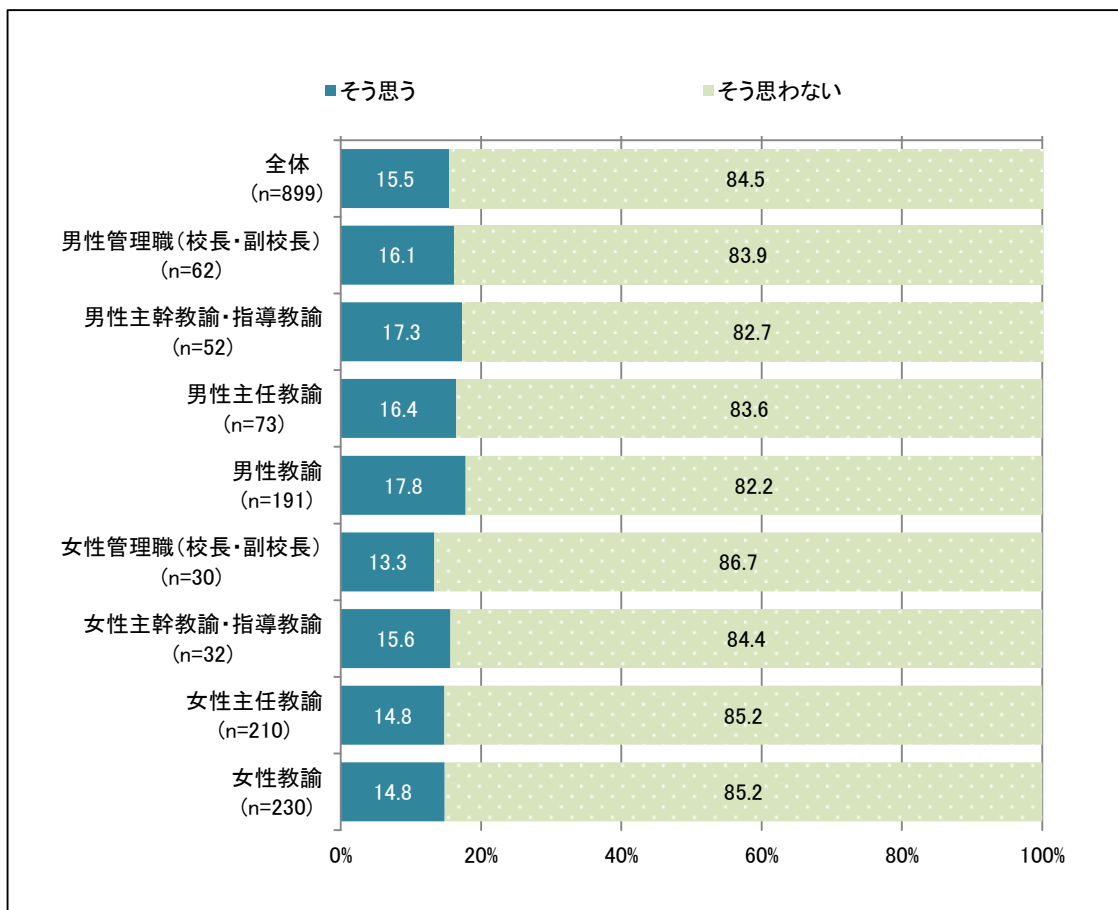
(図表IV-5-30)

○「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(15.5%)で1割台半ばとなっている。

性別・年代別で見ると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(15.2%)が1割台半ば、「40代以上」(19.9%)が2割となっており、女性では「20代・30代」(13.2%)が1割超え、「40代以上」(15.9%)が1割台半ばとなっている。

(17) 文系科目は女の子の方が得意だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	139	760
		100.0	15.5	84.5
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	10	52
		100.0	16.1	83.9
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	9	43
		100.0	17.3	82.7
	男性 主任教諭	73	12	61
		100.0	16.4	83.6
	男性 教諭	191	34	157
		100.0	17.8	82.2
女性 管理職(校長・副校長)	30	4	26	
	100.0	13.3	86.7	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	5	27	
	100.0	15.6	84.4	
女性 主任教諭	210	31	179	
	100.0	14.8	85.2	
女性 教諭	230	34	196	
	100.0	14.8	85.2	



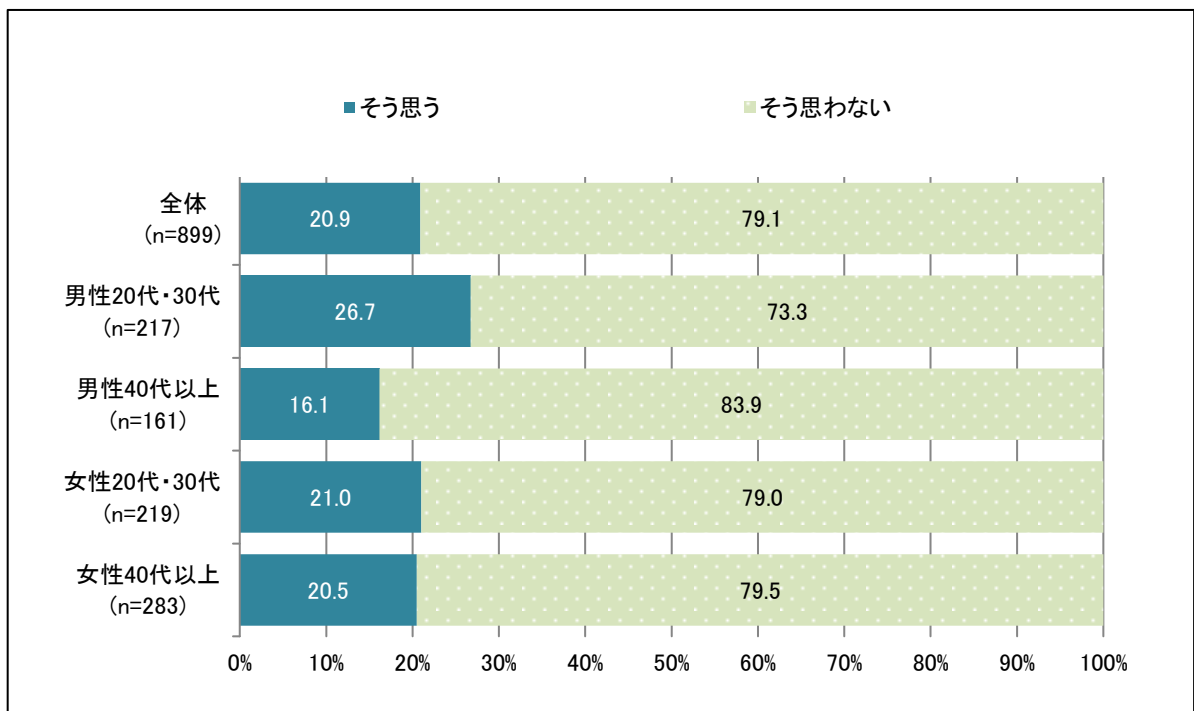
(図表IV-5-31)

○「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(15.5%)で1割台半ばとなっている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(16.1%)が1割台半ば、「主幹教諭・指導教諭」(17.3%)が2割近く、「主任教諭」(16.4%)が1割台半ば、「教諭」(17.8%)が2割近くとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(13.3%)が1割超え、「主幹教諭・指導教諭」(15.6%)と「主任教諭」(14.8%)と「教諭」(14.8%)がともに1割台半ばとなっている。

(18) 家庭科は女の子の方が向いていると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	188	711
		100.0	20.9	79.1
性別・年代	男性 20代・30代	217	58	159
		100.0	26.7	73.3
	男性 40代以上	161	26	135
		100.0	16.1	83.9
	女性 20代・30代	219	46	173
		100.0	21.0	79.0
	女性 40代以上	283	58	225
		100.0	20.5	79.5



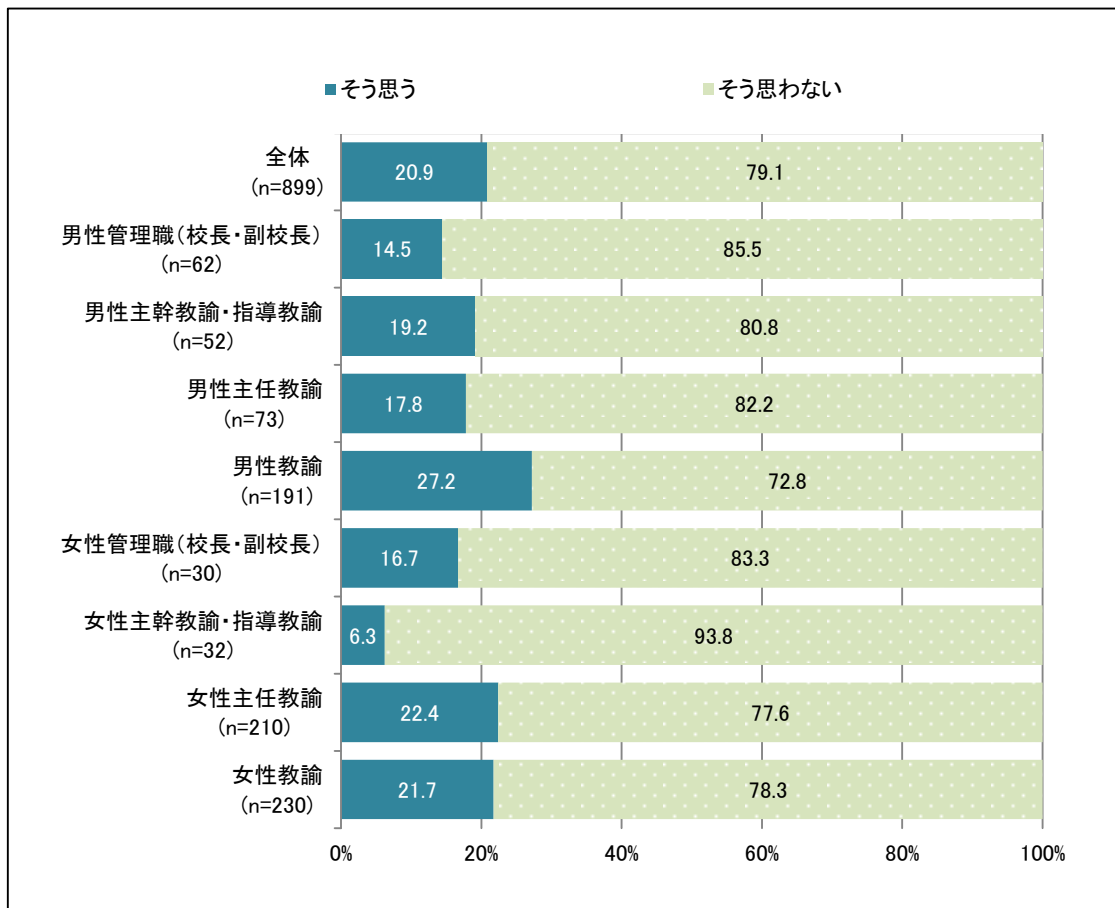
(図表IV-5-32)

○「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(20.9%)でほぼ2割となっている。

性別・年代別で見ると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(26.7%)が3割近く、「40代以上」(16.1%)が1割台半ばとなっており、女性では「20代・30代」(21.0%)が2割超え、「40代以上」(20.5%)がほぼ2割となっている。男性では、年代があがるにつれ、《そう思う》の回答割合が低くなる傾向が見られた。

(18) 家庭科は女の子の方が向いていると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	188	711
		100.0	20.9	79.1
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	9	53
		100.0	14.5	85.5
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	10	42
		100.0	19.2	80.8
	男性 主任教諭	73	13	60
		100.0	17.8	82.2
	男性 教諭	191	52	139
		100.0	27.2	72.8
女性 管理職(校長・副校長)	30	5	25	
	100.0	16.7	83.3	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	2	30	
	100.0	6.3	93.8	
女性 主任教諭	210	47	163	
	100.0	22.4	77.6	
女性 教諭	230	50	180	
	100.0	21.7	78.3	



(図表IV-5-33)

○「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(20.9%)でほぼ2割となっている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(14.5%)が1割台半ば、「主幹教諭・指導教諭」(19.2%)がほぼ2割、「主任教諭」(17.8%)が2割近く、「教諭」(27.2%)が3割近くとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(16.7%)が2割近く、「主幹教諭・指導教諭」(6.3%)が1割未満、「主任教諭」(22.4%)と「教諭」(21.7%)がともに2割を超えている。

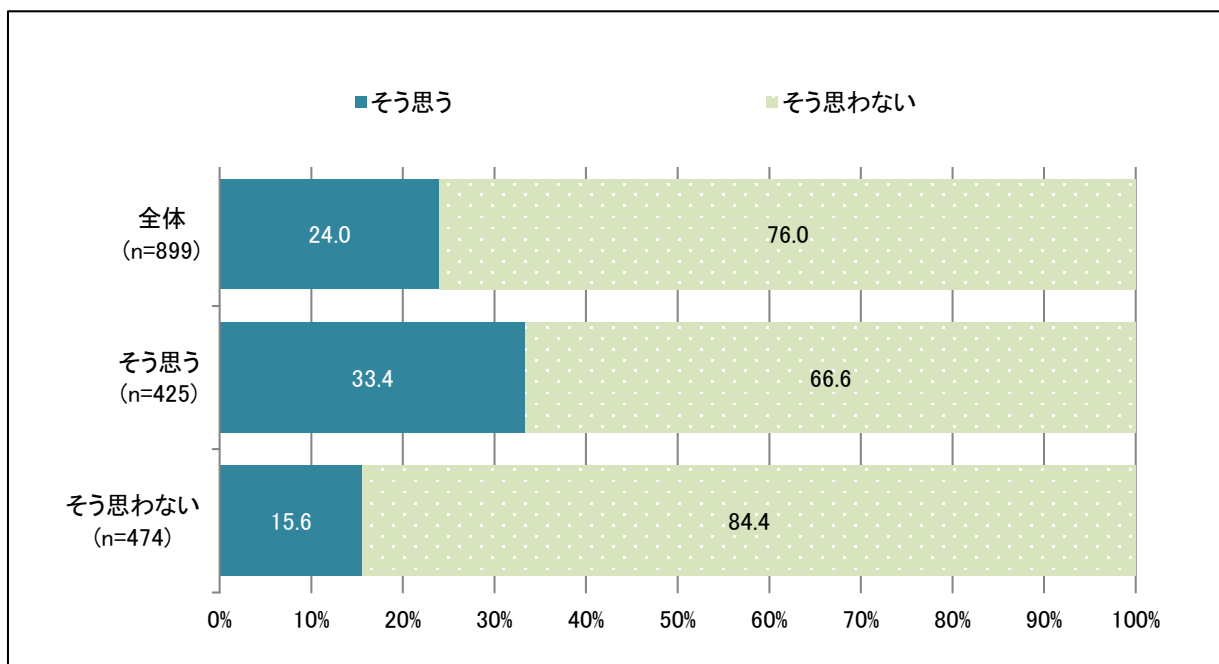
④ 性別に関する意識等と児童に関する言動等への影響

< 仮説・検討事項(30) >

教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、児童の教科への得意・不得意に対する意識に影響しているか

(15) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	216 24.0	683 76.0
(4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある	そう思う	425 100.0	142 33.4	283 66.6
	そう思わない	474 100.0	74 15.6	400 84.4



(図表IV-5-34)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(24.0%)で2割台半ばとなっている。

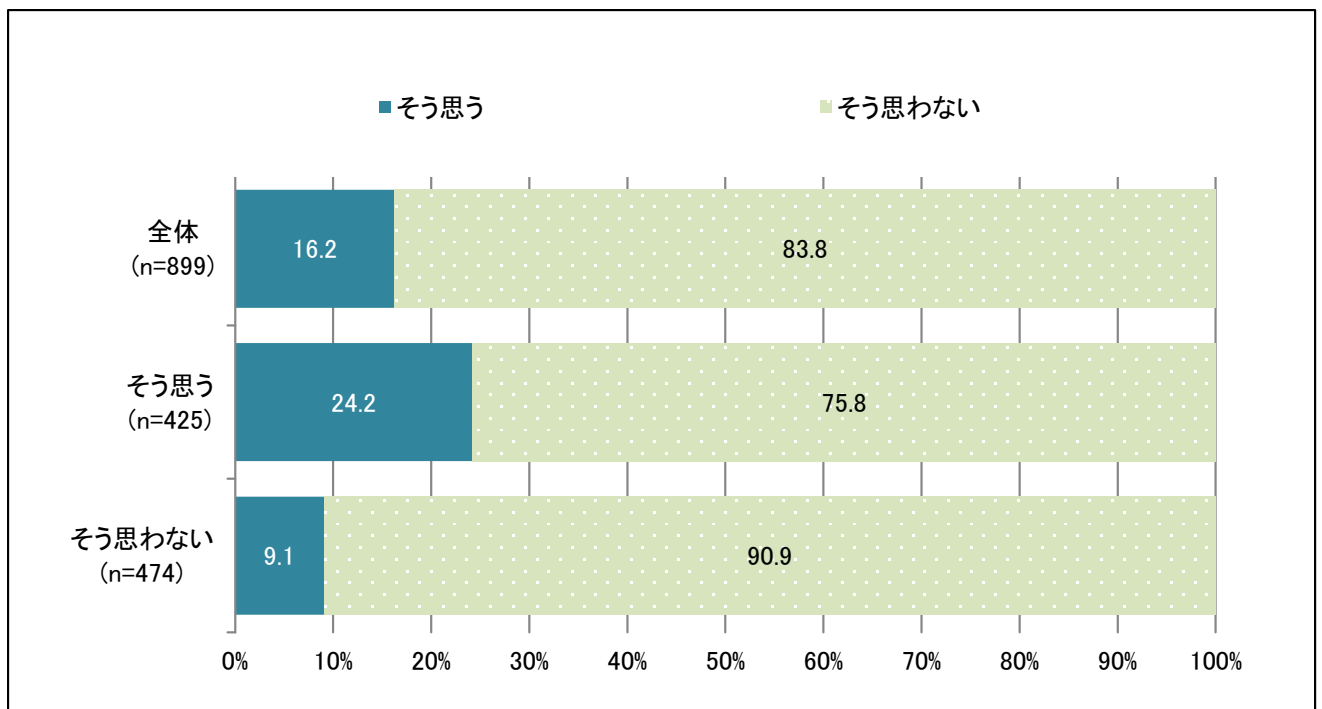
『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別で見ると、《そう思う》では《そう思う》(33.4%)が3割超え、《そう思わない》(15.6%)が1割台半ばとなっている。

「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.001)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.36であり、やや相関が見られた。

(16) 理系科目は男の子の方が得意だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	146 16.2	753 83.8
(4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある	そう思う	425 100.0	103 24.2	322 75.8
	そう思わない	474 100.0	43 9.1	431 90.9



(図表IV-5-35)

○「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(16.2%)で1割台半ばとなっている。

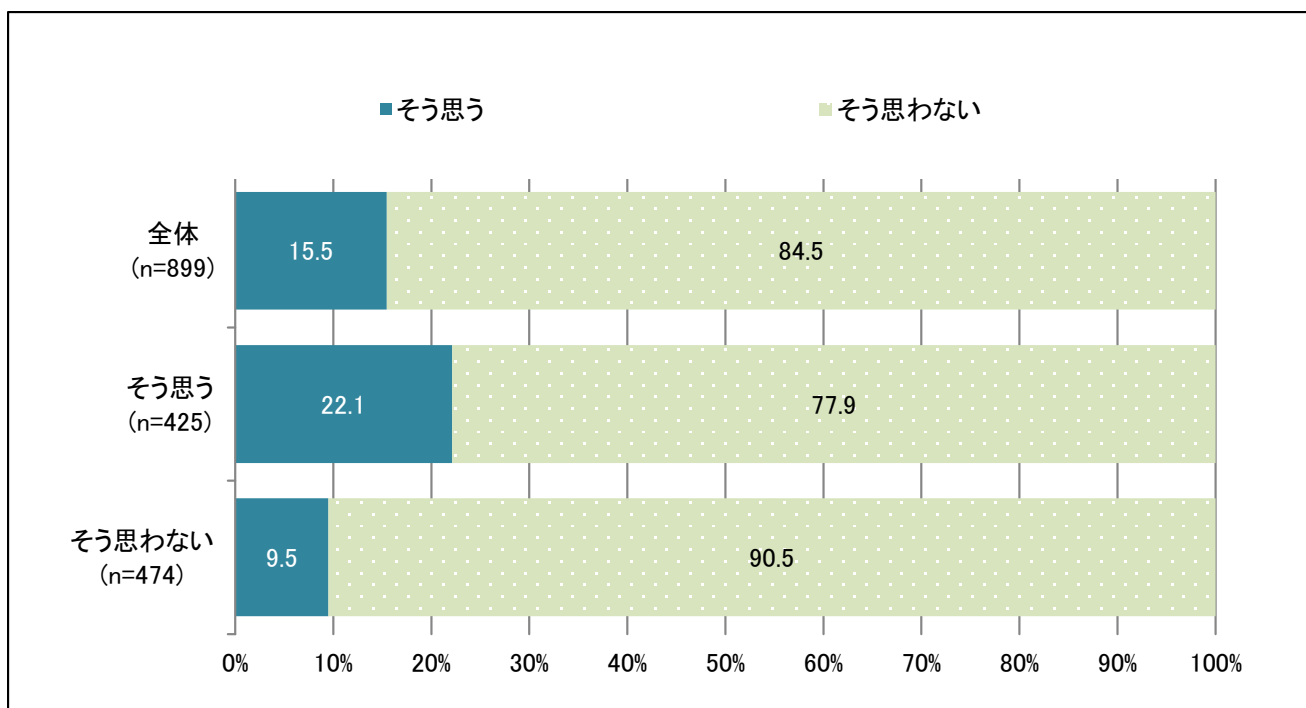
『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(24.2%)が2割台半ば、《そう思わない》(9.1%)が1割未満となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.35であり、やや相関が見られた。

(17) 文系科目は女の子の方が得意だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	139 15.5	760 84.5
(4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある	そう思う	425 100.0	94 22.1	331 77.9
	そう思わない	474 100.0	45 9.5	429 90.5



(図表IV-5-36)

○「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(15.5%)で1割台半ばとなっている。

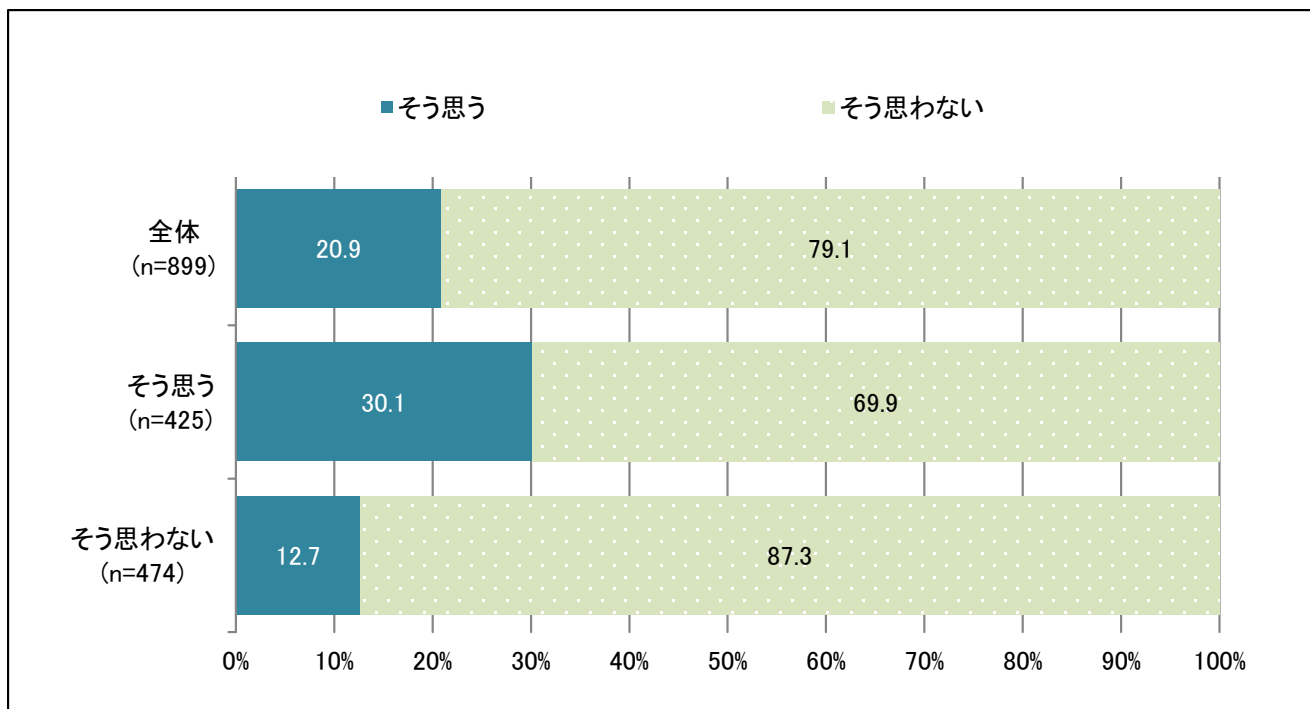
『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(22.1%)が2割超え、《そう思わない》(9.5%)が1割未満となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.001)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.34であり、やや相関が見られた。

(18) 家庭科は女の子の方が向いていると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	188 20.9	711 79.1
(4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある	そう思う	425 100.0	128 30.1	297 69.9
	そう思わない	474 100.0	60 12.7	414 87.3



(図表IV-5-37)

○「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(20.9%)でほぼ2割となっている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別で見ると、《そう思う》では《そう思う》(30.1%)が3割、《そう思わない》(12.7%)が1割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$) が見られた。

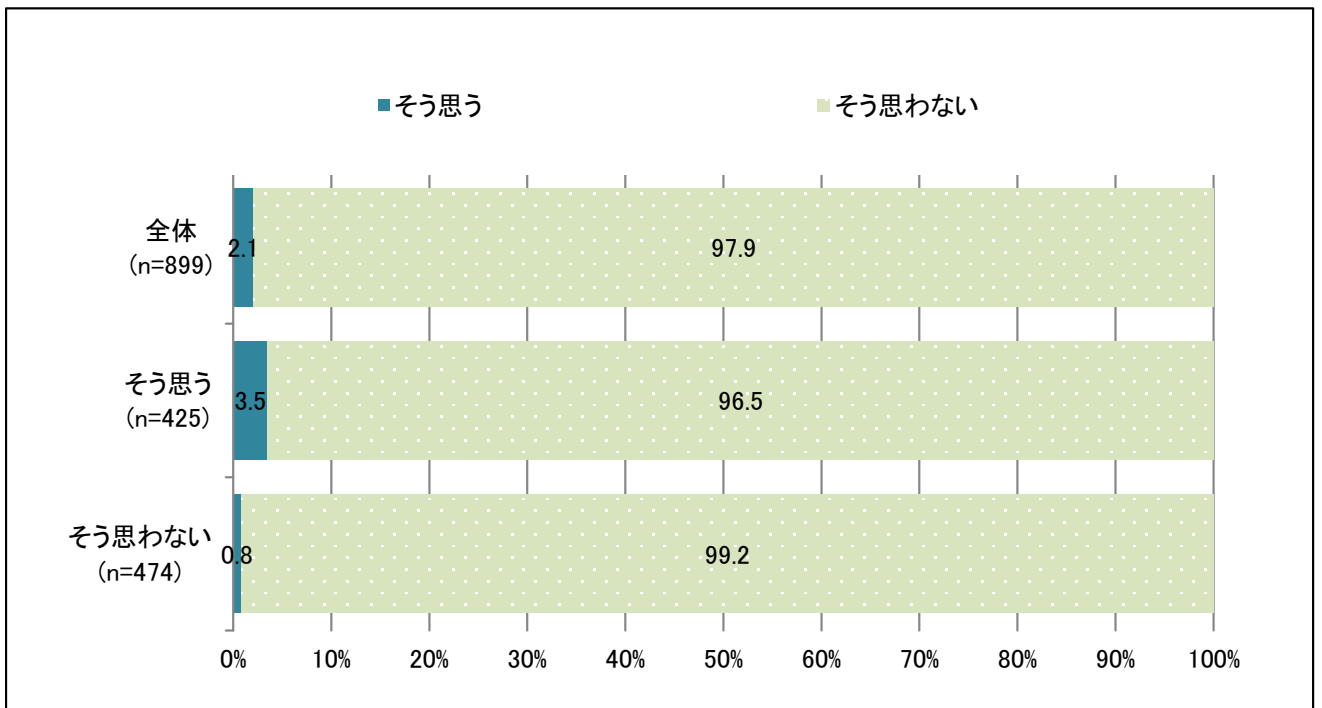
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.35であり、やや相関が見られた。

< 仮説・検討事項(31)>

教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、学校での児童の役割に関する意識に影響しているか

(19) 学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	19 2.1	880 97.9
(4) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある	そう思う	425 100.0	15 3.5	410 96.5
	そう思わない	474 100.0	4 0.8	470 99.2



(図表IV-5-38)

○「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(2.1%)でわずかとなっている。

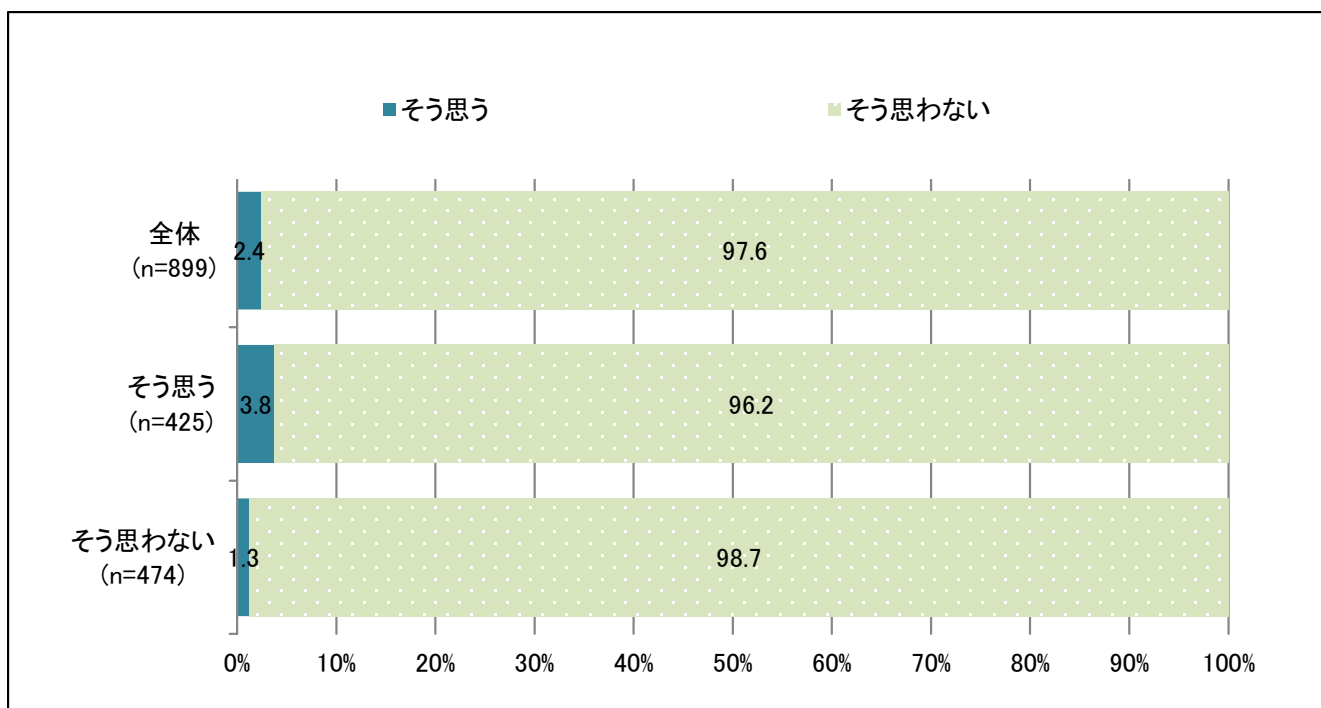
『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(3.5%)がわずか、《そう思わない》(0.8%)がわずかとなっている。

「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.01$) が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.40であり、かなり相関が見られた。

(20) 授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	22 2.4	877 97.6
(4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある	そう思う	425 100.0	16 3.8	409 96.2
	そう思わない	474 100.0	6 1.3	468 98.7



(図表IV-5-39)

○「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」について、全体では「そう思う」(2.4%)でわずかとなっている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、「そう思う」では「そう思う」(3.8%)がわずか、「そう思わない」(1.3%)がわずかとなっている。

「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.05$) が見られた。

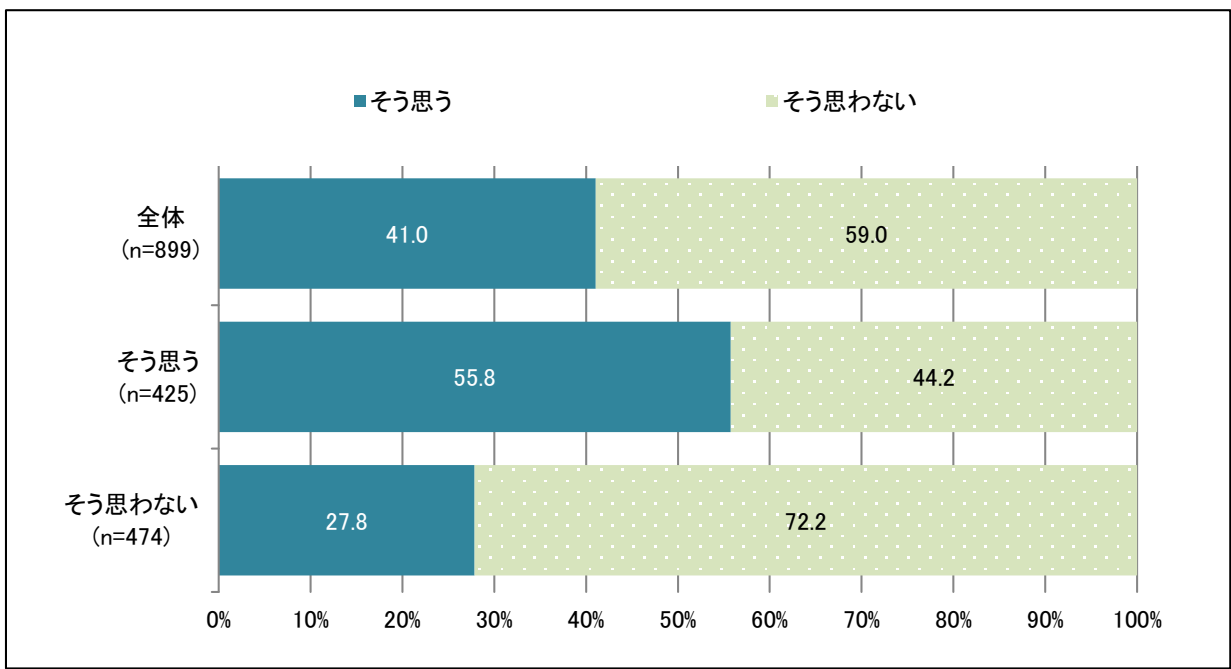
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.43であり、かなり相関が見られた。

< 仮説・検討事項(32)>

教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、仕事への向き・不向きに関する意識に影響しているか

(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	369 41.0	530 59.0
(4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある	そう思う	425 100.0	237 55.8	188 44.2
	そう思わない	474 100.0	132 27.8	342 72.2



(図表IV-5-40)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(41.0%)で4割を超えている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別で見ると、《そう思う》では《そう思う》(55.8%)が5割台半ば、《そう思わない》(27.8%)が3割近くとなっており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.001)が見られた。

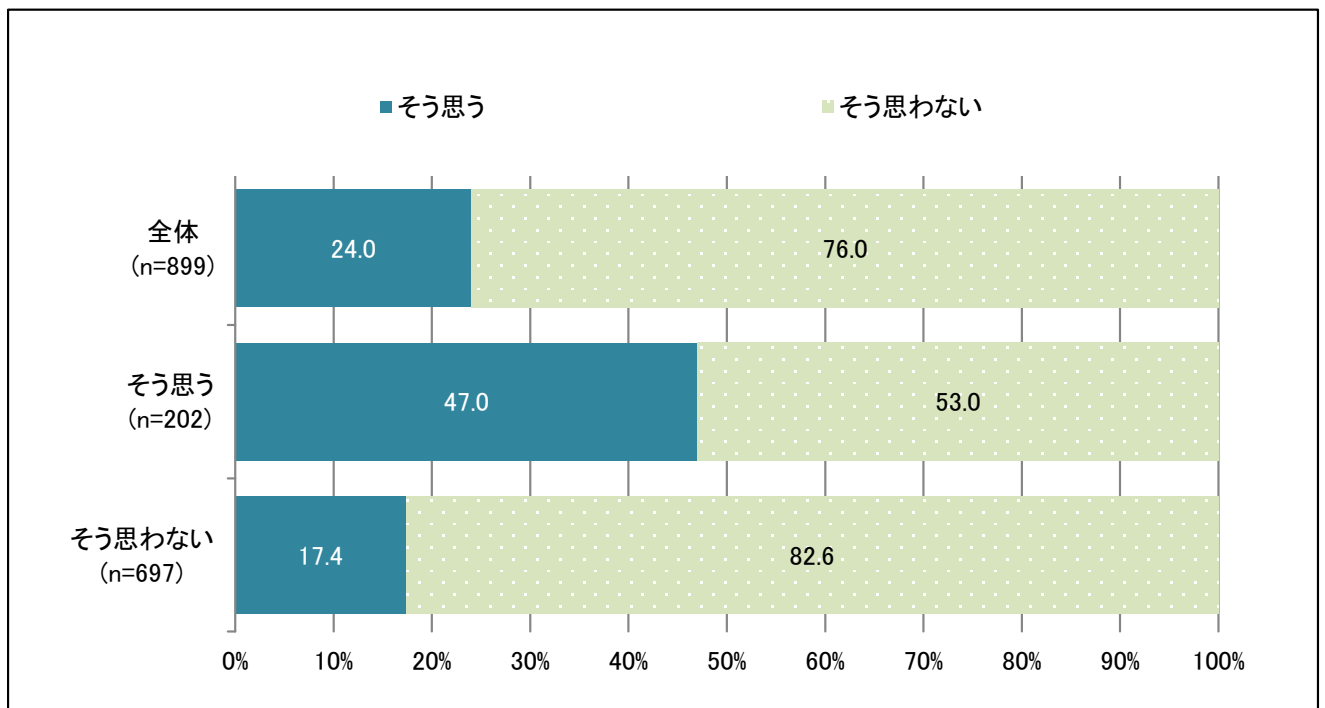
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.36であり、やや相関が見られた。

< 仮説・検討事項(33)>

教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことが、児童の教科の得意・不得意に関する意識に影響しているか

(15) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	216 24.0	683 76.0
(11) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う	そう思う	202 100.0	95 47.0	107 53.0
	そう思わない	697 100.0	121 17.4	576 82.6



(図表IV-5-41)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(24.0%)で2割台半ばとなっている。

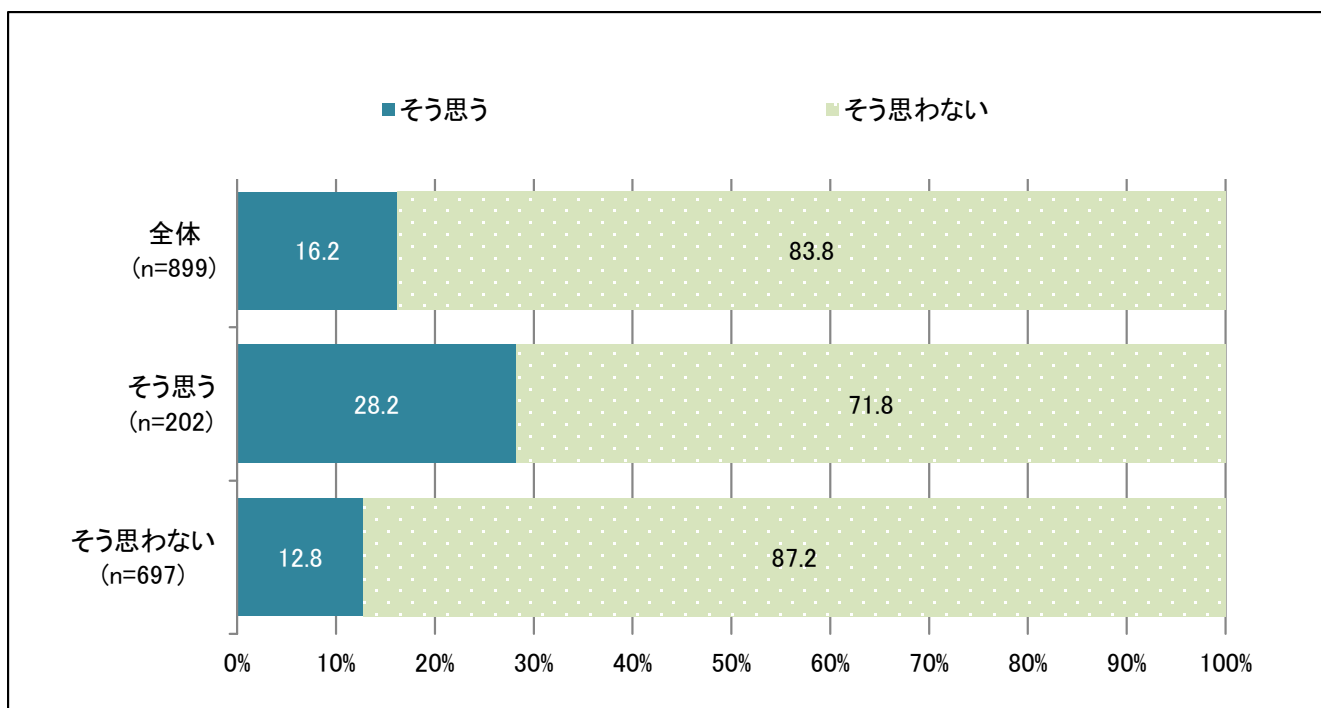
「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(47.0%)が5割近く、《そう思わない》(17.4%)が2割近くとなっており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.45であり、かなり相関が見られた。

(16) 理系科目は男の子の方が得意だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	146 16.2	753 83.8
(11) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う	そう思う	202 100.0	57 28.2	145 71.8
	そう思わない	697 100.0	89 12.8	608 87.2



(図表IV-5-42)

○「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》（16.2%）で1割台半ばとなっている。

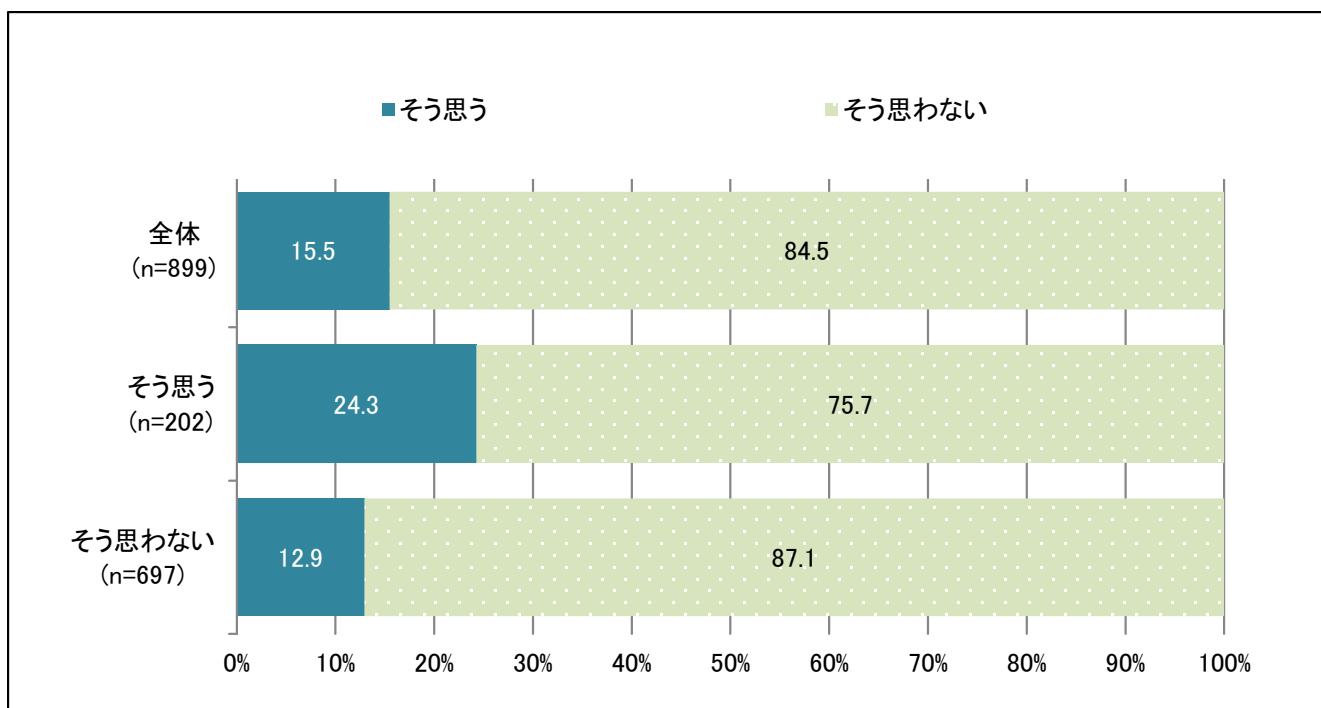
「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》（28.2%）が3割近く、《そう思わない》（12.8%）が1割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差（ $p < 0.001$ ）が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.40であり、かなり相関が見られた。

(17) 文系科目は女の子の方が得意だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	139 15.5	760 84.5
(11) 性別により仕事の役割を分けたほうが いいと思う	そう思う	202 100.0	49 24.3	153 75.7
	そう思わない	697 100.0	90 12.9	607 87.1



(図表IV-5-43)

○「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(15.5%)で1割台半ばとなっている。

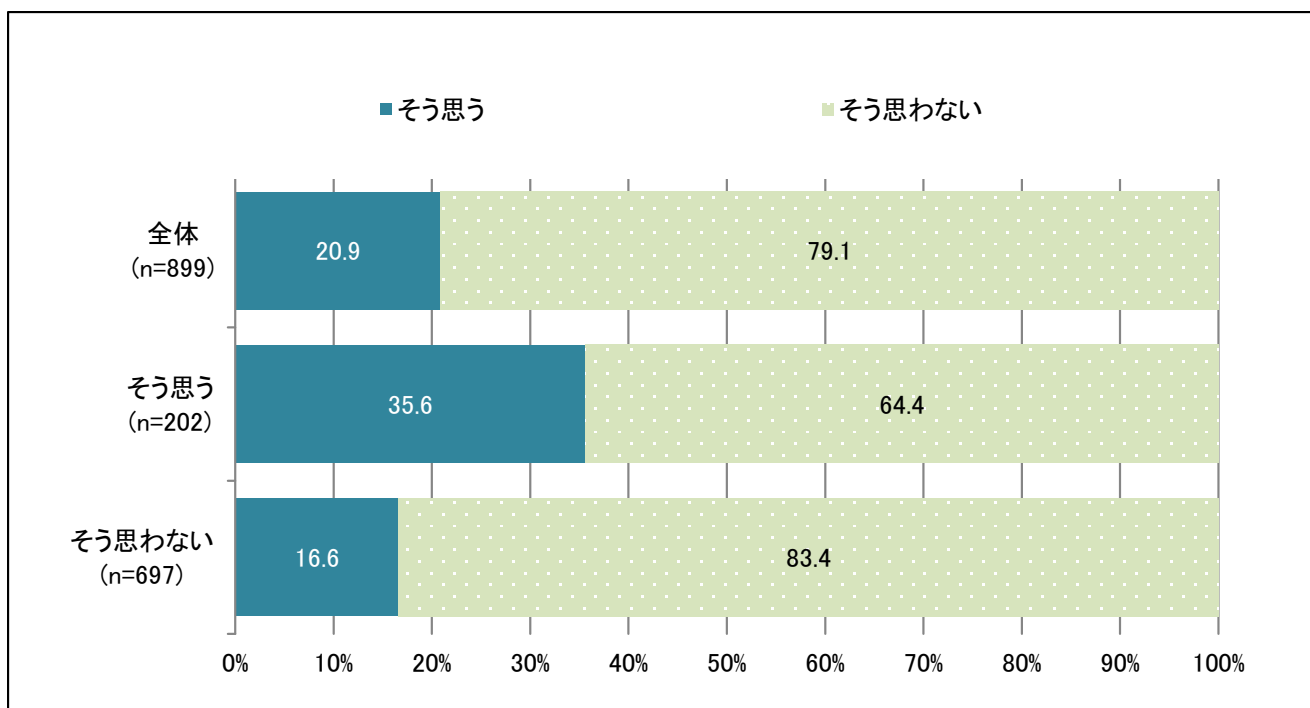
「性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(24.3%)が2割台半ば、《そう思わない》(12.9%)が1割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、「性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.39であり、やや相関が見られた。

(18) 家庭科は女の子の方が向いていると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	188 20.9	711 79.1
(11) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う	そう思う	202 100.0	72 35.6	130 64.4
	そう思わない	697 100.0	116 16.6	581 83.4



(図表IV-5-44)

○「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(20.9%)でほぼ2割となっている。

「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(35.6%)が3割台半ば、《そう思わない》(16.6%)が2割近くとなっており、回答割合に大きな差が見られた。

「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

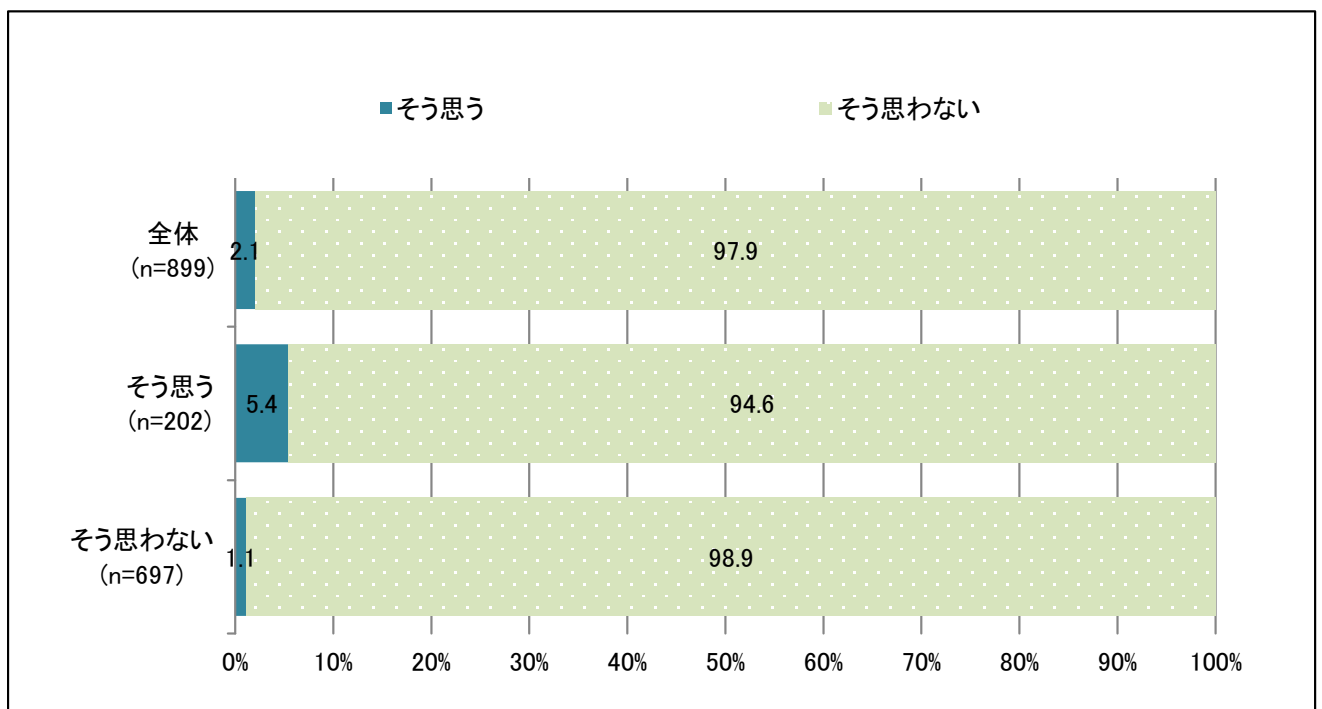
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.40であり、かなり相関が見られた。

< 仮説・検討事項(34)>

教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことが、学校での児童の役割に関することで意識に影響しているか

(19) 学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	19 2.1	880 97.9
(11) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う	そう思う	202 100.0	11 5.4	191 94.6
	そう思わない	697 100.0	8 1.1	689 98.9



(図表IV-5-45)

○「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(2.1%)でわずかとなっている。

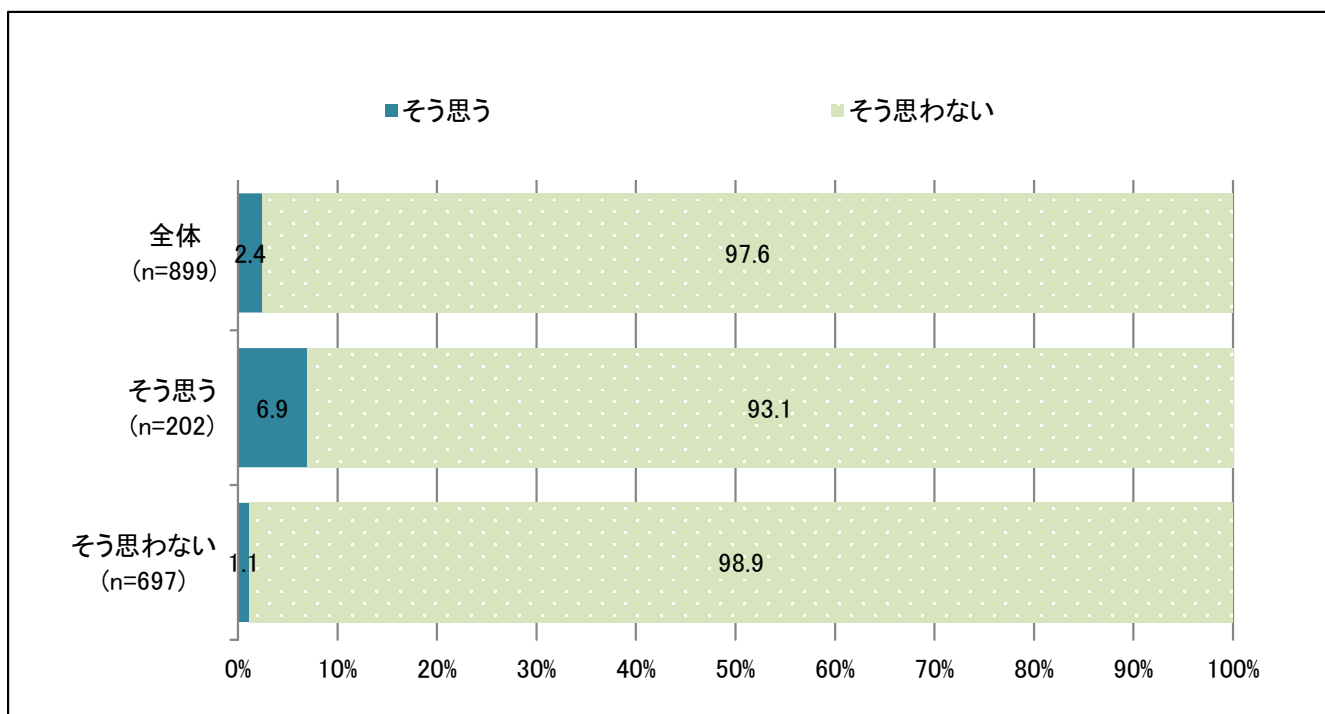
「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(5.4%)が1割未満、《そう思わない》(1.1%)がわずかとなっている。

「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」について、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.52であり、かなり相関が見られた。

(20) 授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	22 2.4	877 97.6
(11) 性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う	そう思う	202 100.0	14 6.9	188 93.1
	そう思わない	697 100.0	8 1.1	689 98.9



(図表IV-5-46)

○「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」について、全体では「そう思う」(2.4%)でわずかとなっている。

「性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う」の回答別でみると、「そう思う」では「そう思う」(6.9%)が1割未満、「そう思わない」(1.1%)がわずかとなっている。

「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」について、「性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$) が見られた。

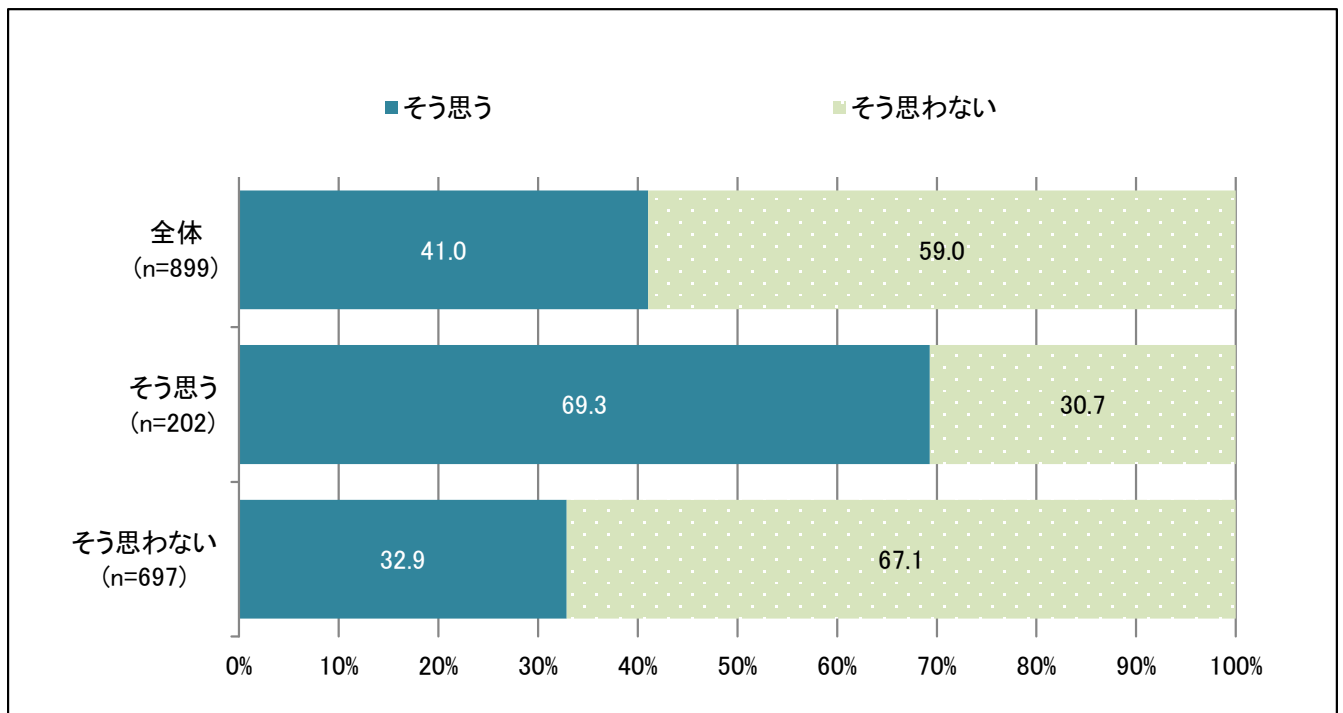
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.52であり、かなり相関が見られた。

< 仮説・検討事項(35)>

教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことが、児童の仕事への向き・不向きに関する意識に影響しているか

(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	369 41.0	530 59.0
(11) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う	そう思う	202 100.0	140 69.3	62 30.7
	そう思わない	697 100.0	229 32.9	468 67.1



(図表IV-5-47)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(41.0%)で4割を超えている。

「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(69.3%)がほぼ7割、《そう思わない》(32.9%)が3割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$)が見られた。

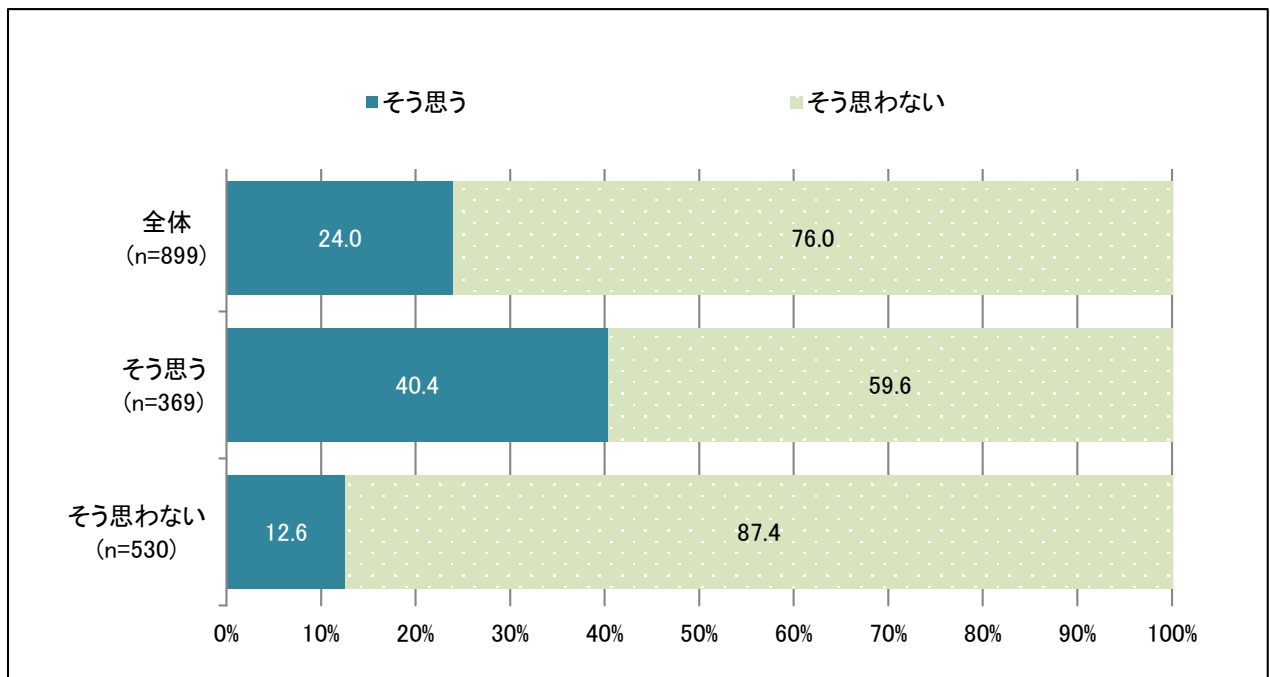
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.44であり、かなり相関が見られた。

< 仮説・検討事項(36)>

教員が「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことが、児童の教科への得意・不得意に関する意識に影響しているか

(15) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	216 24.0	683 76.0
(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う	そう思う	369 100.0	149 40.4	220 59.6
	そう思わない	530 100.0	67 12.6	463 87.4



(図表IV-5-48)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(24.0%)で2割台半ばとなっている。

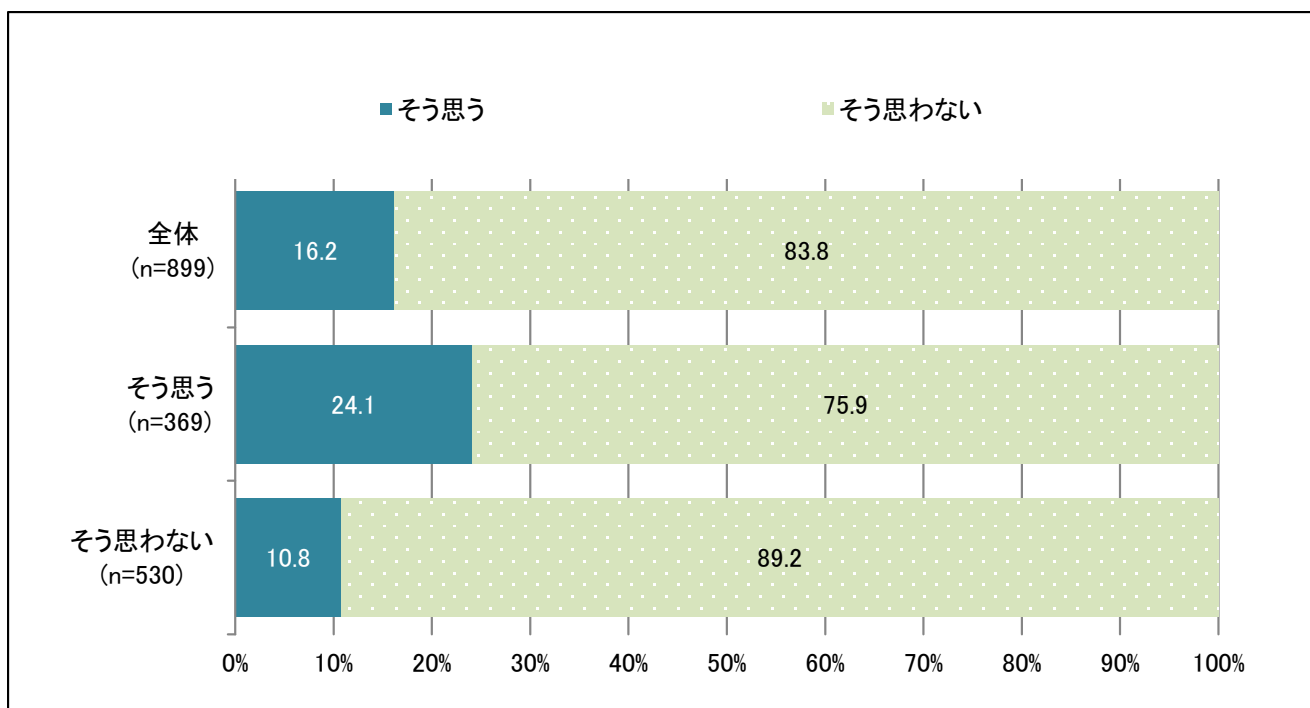
「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(40.4%)が4割、《そう思わない》(12.6%)が1割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.46であり、かなり相関が見られた。

(16) 理系科目は男の子の方が得意だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	146 16.2	753 83.8
(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う	そう思う	369 100.0	89 24.1	280 75.9
	そう思わない	530 100.0	57 10.8	473 89.2



(図表IV-5-49)

○「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(16.2%)で1割台半ばとなっている。

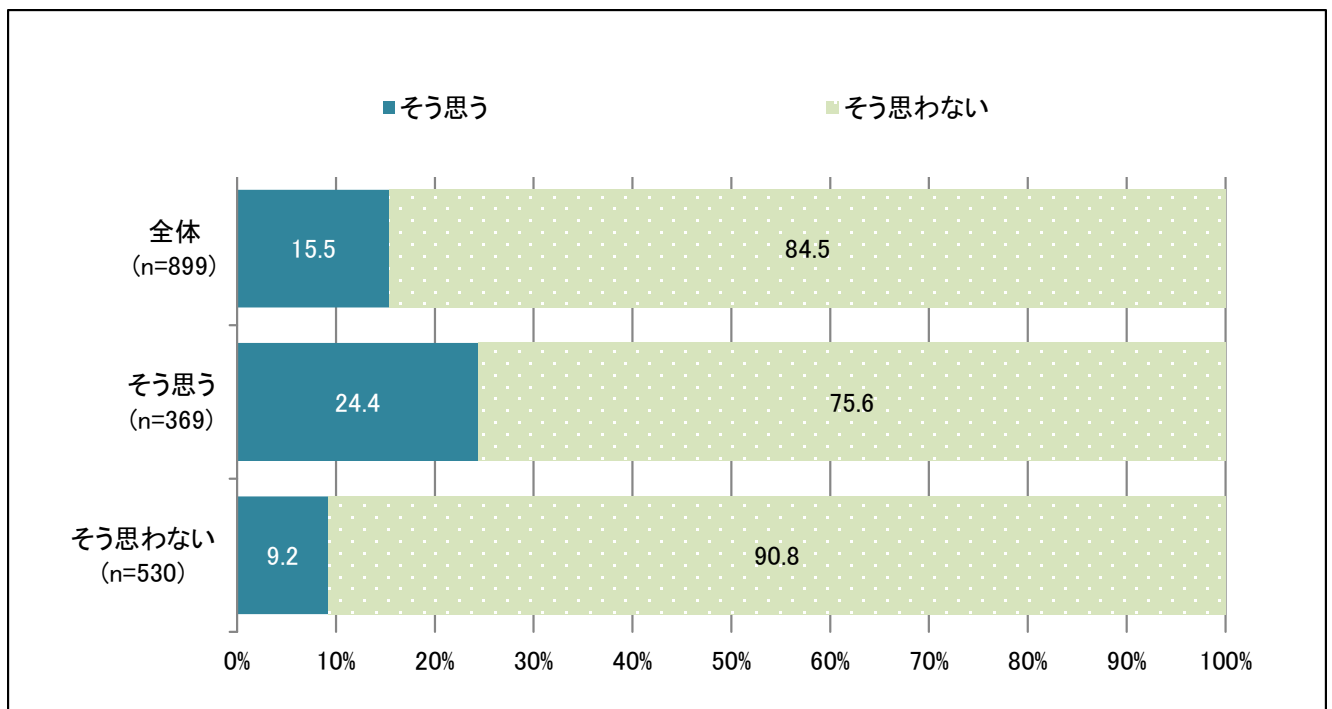
「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(24.1%)が2割台半ば、《そう思わない》(10.8%)がほぼ1割となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.38であり、やや相関が見られた。

(17) 文系科目は女の子の方が得意だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	139 15.5	760 84.5
(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う	そう思う	369 100.0	90 24.4	279 75.6
	そう思わない	530 100.0	49 9.2	481 90.8



(図表IV-5-50)

○「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(15.5%)で1割台半ばとなっている。

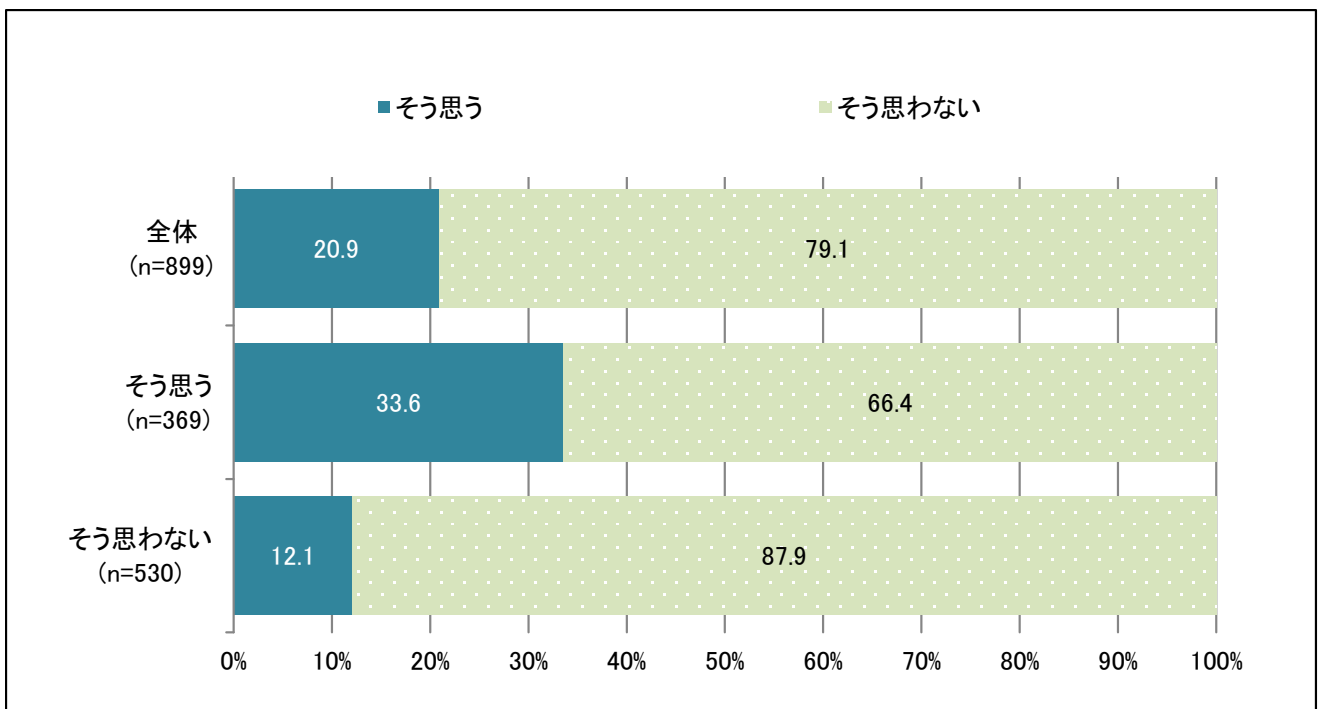
「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(24.4%)が2割台半ば、《そう思わない》(9.2%)が1割未満となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.38であり、やや相関が見られた。

(18) 家庭科は女の子の方が向いていると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	188 20.9	711 79.1
(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う	そう思う	369 100.0	124 33.6	245 66.4
	そう思わない	530 100.0	64 12.1	466 87.9



(図表IV-5-51)

○「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(20.9%)でほぼ2割となっている。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(33.6%)が3割超え、《そう思わない》(12.1%)が1割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

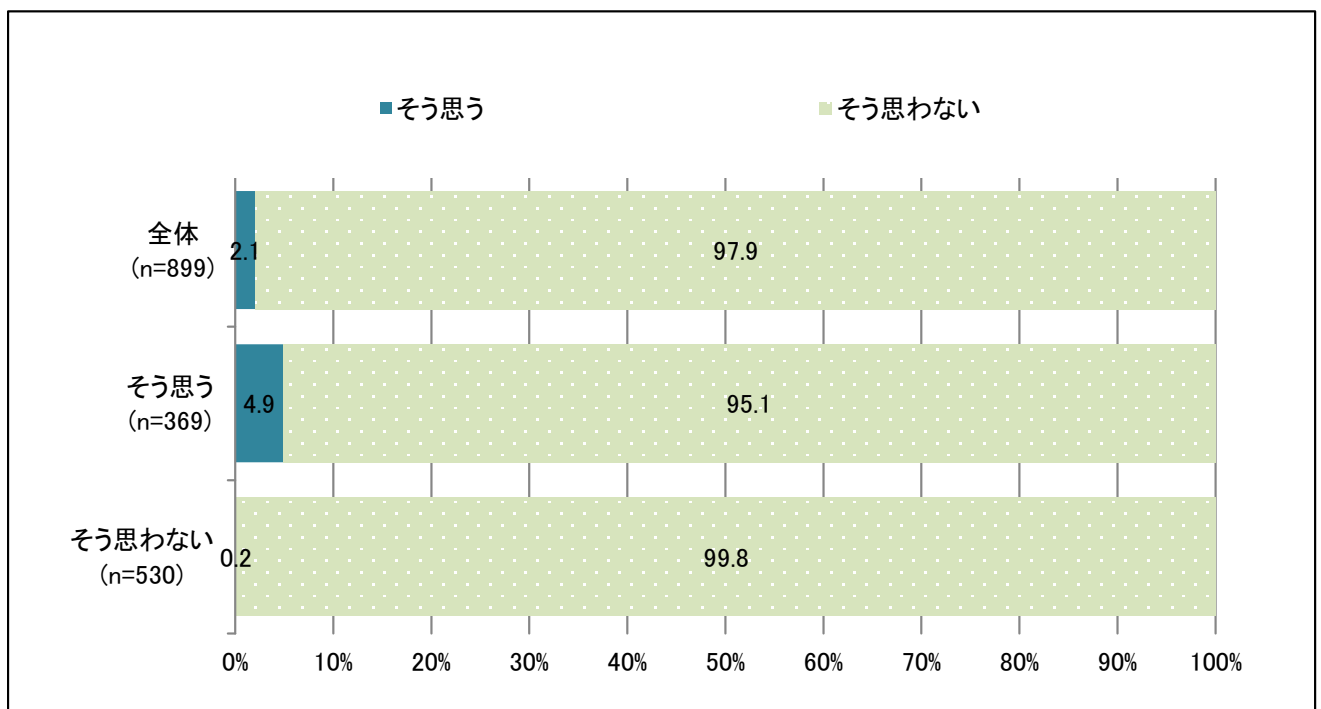
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.41であり、かなり相関が見られた。

< 仮説・検討事項(37)>

教員が「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことが、学校での児童の役割に関する意識に影響しているか

(19) 学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	19 2.1	880 97.9
(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う	そう思う	369 100.0	18 4.9	351 95.1
	そう思わない	530 100.0	1 0.2	529 99.8



(図表IV-5-52)

○「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(2.1%)でわずかとなっている。

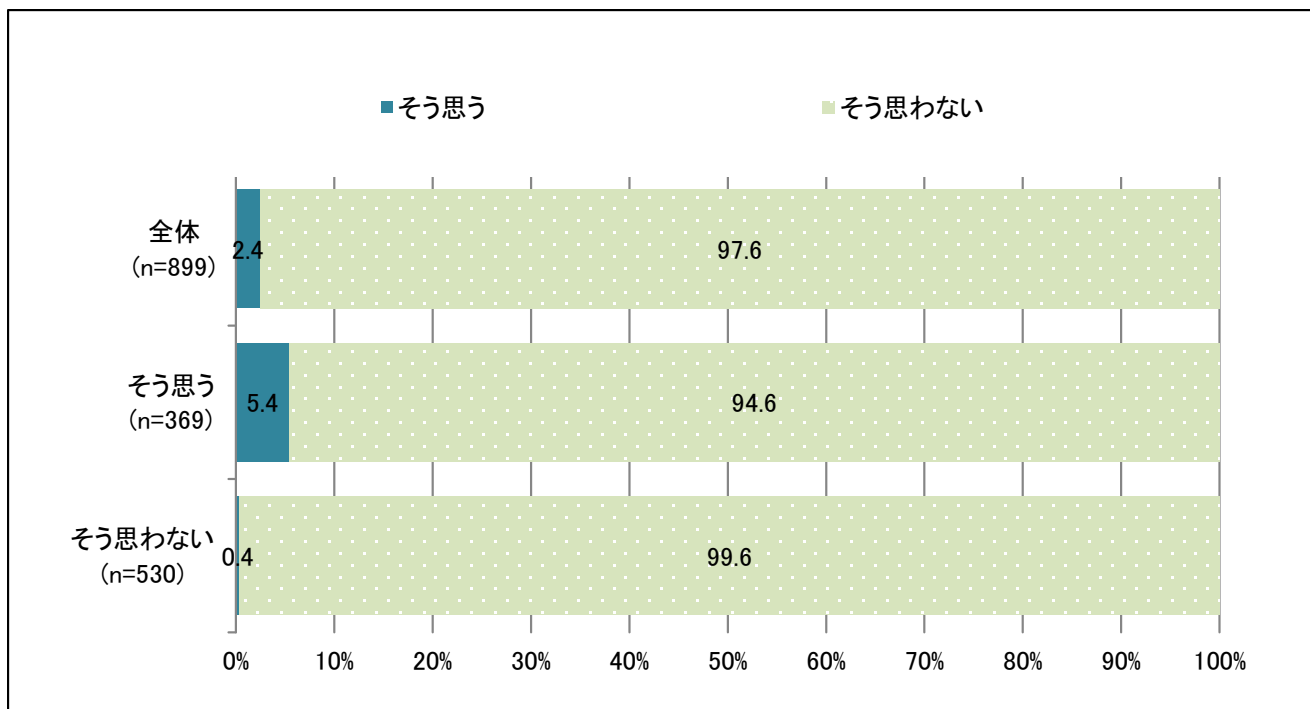
「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(4.9%)がわずか、《そう思わない》(0.2%)がわずかとなっている。

「家学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$) が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.45であり、かなり相関が見られた。

(20) 授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうが良いと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	22	877
		100.0	2.4	97.6
(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う	そう思う	369	20	349
	そう思わない	530	2	528
		100.0	0.4	99.6



(図表IV-5-53)

○「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうが良いと思う」について、全体では「そう思う」(2.4%)でわずかとなっている。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別でみると、「そう思う」では「そう思う」(5.4%)が1割未満、「そう思わない」(0.4%)がわずかとなっている。

「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうが良いと思う」について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$) が見られた。

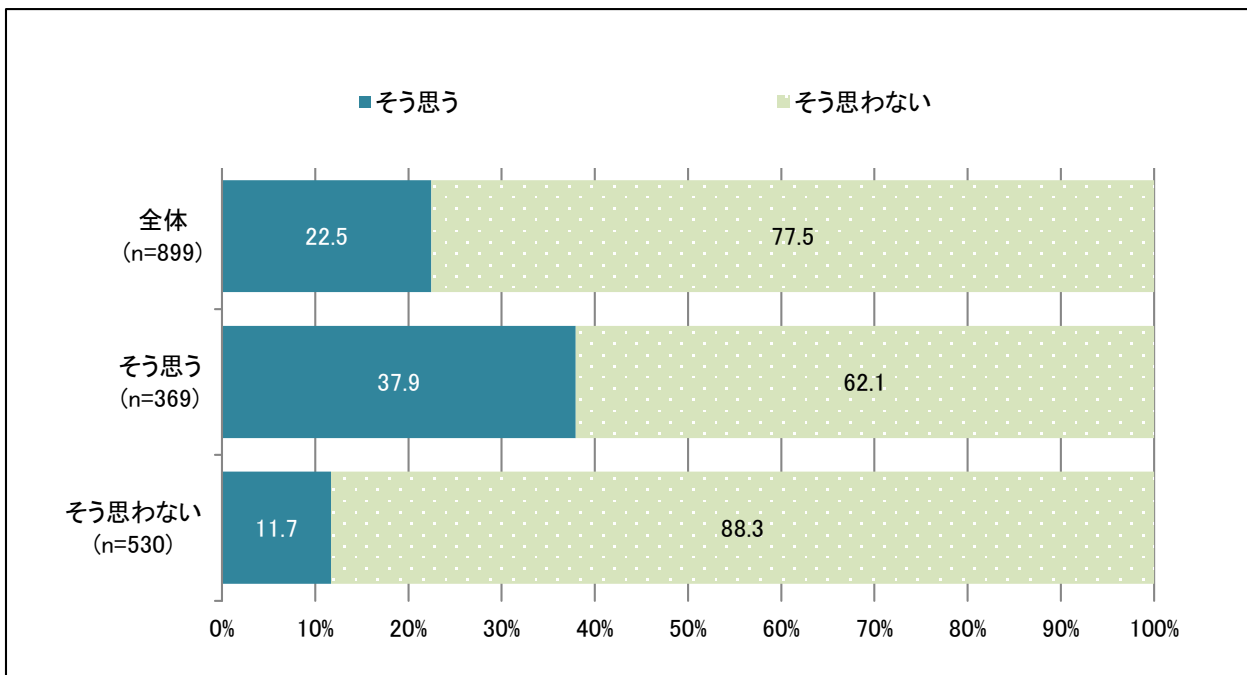
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.52であり、かなり相関が見られた。

< 仮説・検討事項(38)>

教員が「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことが、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことに影響を与えているか

(11) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	202 22.5	697 77.5
(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う	そう思う	369 100.0	140 37.9	229 62.1
	そう思わない	530 100.0	62 11.7	468 88.3



(図表IV-5-54)

○「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(22.5%)で2割を超えている。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(37.9%)が4割近く、《そう思わない》(11.7%)が1割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.001)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.44であり、かなり相関が見られた。

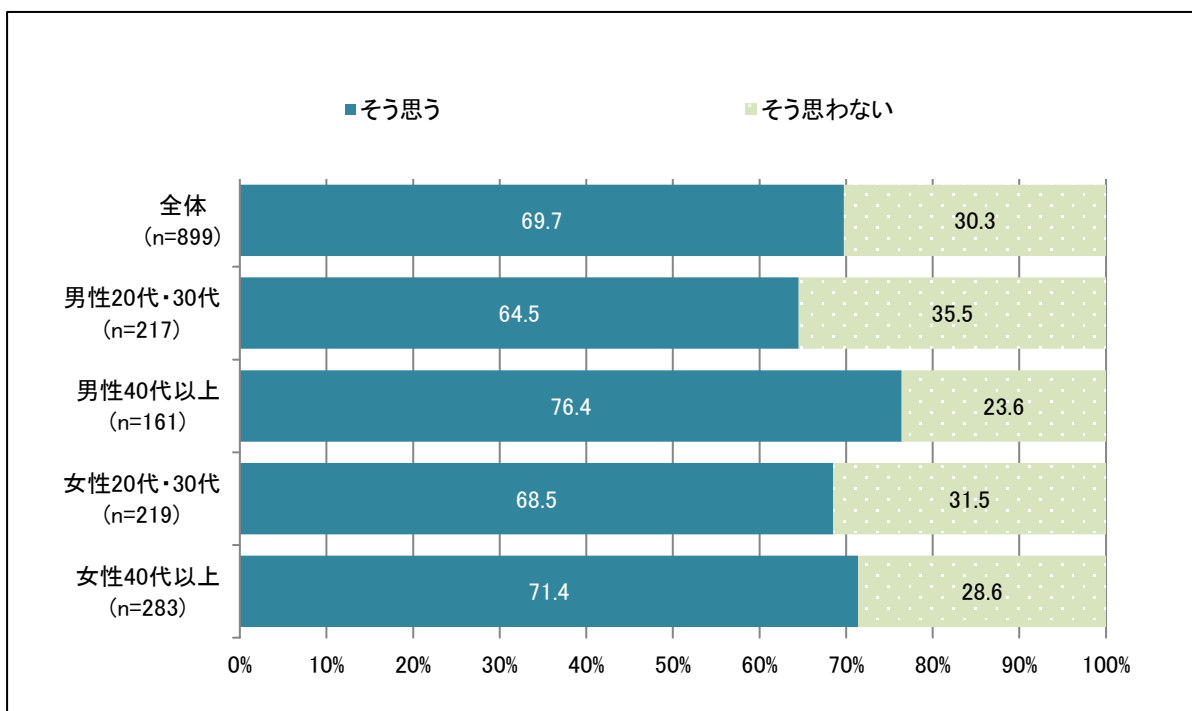
⑤ 無意識の思い込みの認知等と性別に関する意識の関係

< 仮説・検討事項(39) >

教員の年代・役職によって、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の意識・行動・認知度等に関する違いがあるか

(33) 学校での指導等において無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を意識している（SA）

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	627	272
		100.0	69.7	30.3
性別・年代	男性 20代・30代	217	140	77
		100.0	64.5	35.5
	男性 40代以上	161	123	38
		100.0	76.4	23.6
女性 20代・30代		219	150	69
		100.0	68.5	31.5
女性 40代以上		283	202	81
		100.0	71.4	28.6



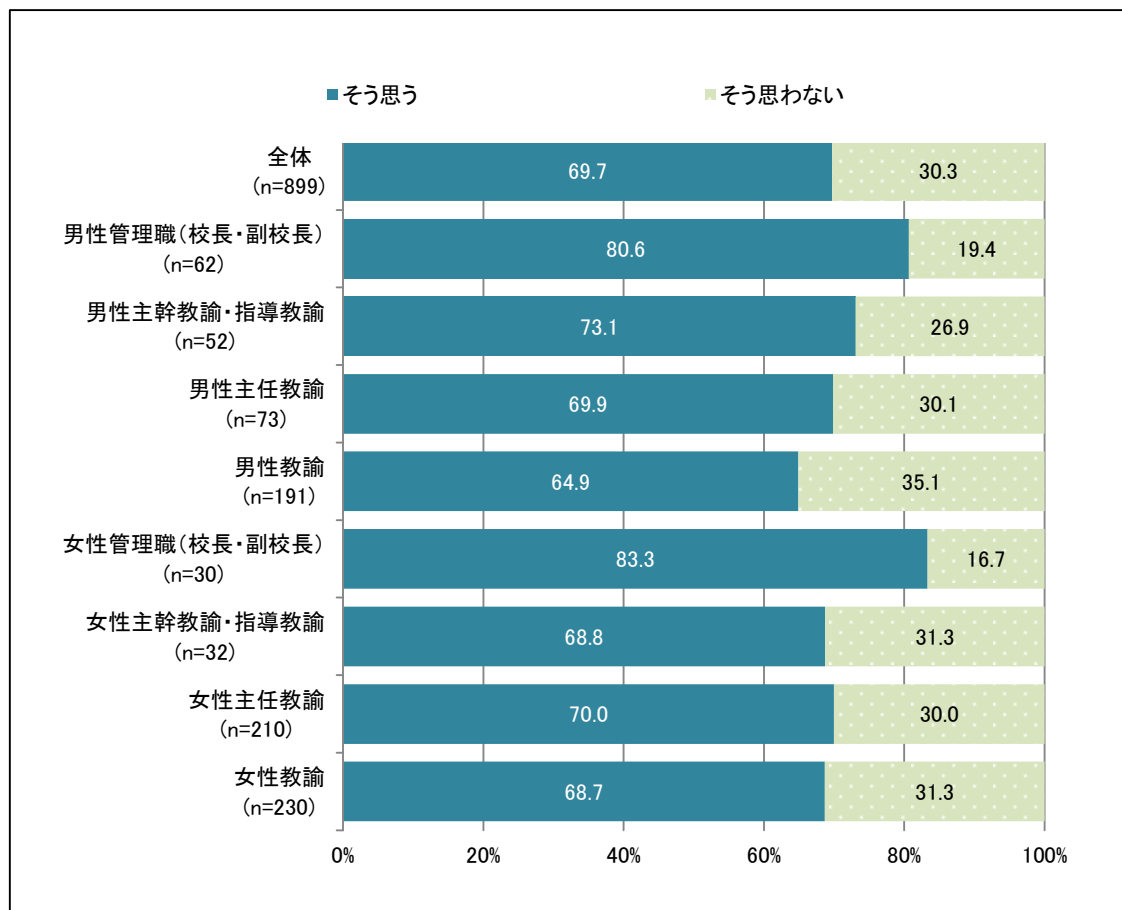
(図表IV-5-55)

○「学校での指導等において無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を意識している」について、全体では《そう思う》（69.7%）で7割となっている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」（64.5%）が6割台半ば、「40代以上」（76.4%）が7割台半ばとなっており、女性では「20代・30代」（68.5%）が7割近く、「40代以上」（71.4%）が7割を超えている。

(33) 学校での指導等において無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を意識している(SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	627	272
		100.0	69.7	30.3
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	50	12
		100.0	80.6	19.4
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	38	14
		100.0	73.1	26.9
	男性 主任教諭	73	51	22
		100.0	69.9	30.1
	男性 教諭	191	124	67
		100.0	64.9	35.1
女性 管理職(校長・副校長)	30	25	5	
	100.0	83.3	16.7	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	22	10	
	100.0	68.8	31.3	
女性 主任教諭	210	147	63	
	100.0	70.0	30.0	
女性 教諭	230	158	72	
	100.0	68.7	31.3	



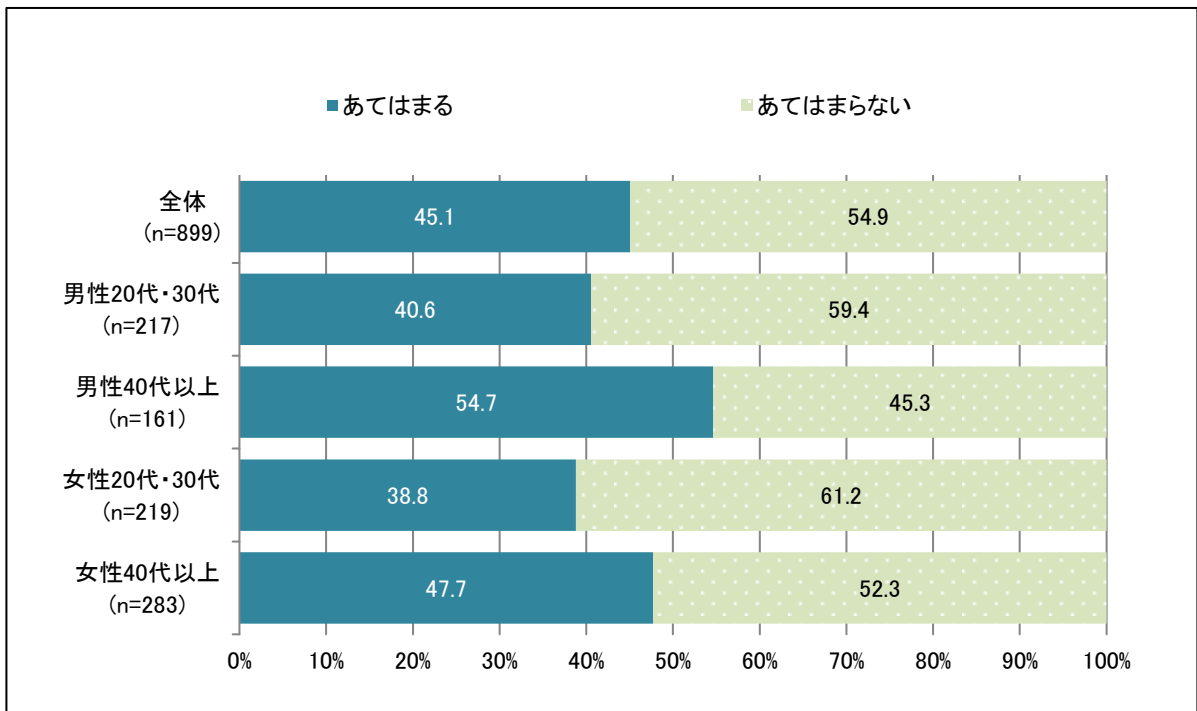
(図表IV-5-56)

○「学校での指導等において無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を意識している」について、全体では《そう思う》(69.7%)で7割となっている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(80.6%)がほぼ8割、「主幹教諭・指導教諭」(73.1%)が7割超え、「主任教諭」(69.9%)が7割、「教諭」(64.9%)が6割台半ばとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(83.3%)が8割超え、「主幹教諭・指導教諭」(68.8%)が7割近く、「主任教諭」(70.0%)が7割、「教諭」(68.7%)が7割近くとなっている。男女ともに、管理職では、《そう思う》の回答割合が高くなる傾向が見られた。

(34) 教員間で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について話をしたことがある(SA)

		計	あてはまる	あてはまらない
全体		899	405	494
		100.0	45.1	54.9
性別・年代	男性 20代・30代	217	88	129
		100.0	40.6	59.4
	男性 40代以上	161	88	73
		100.0	54.7	45.3
女性 20代・30代		219	85	134
		100.0	38.8	61.2
女性 40代以上		283	135	148
		100.0	47.7	52.3



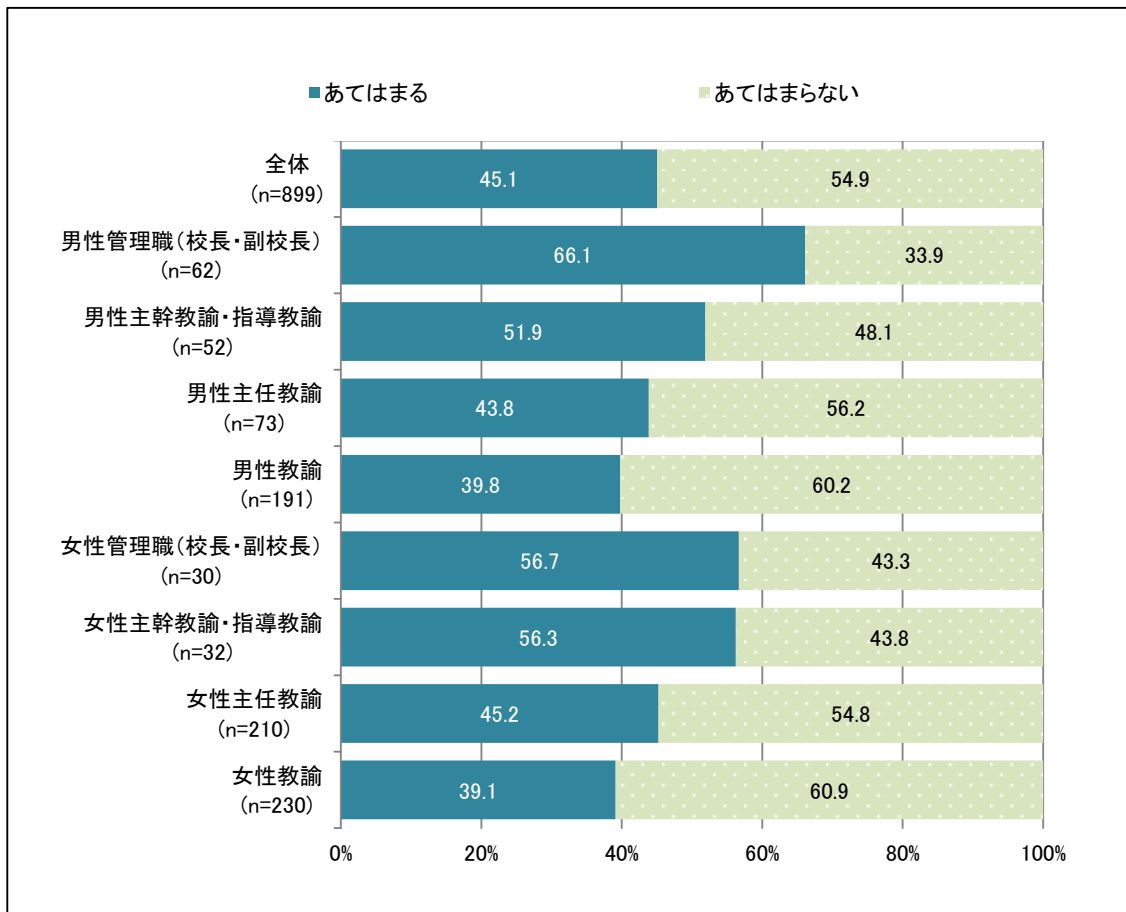
(図表IV-5-57)

○「教員間で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について話をしたことがある」について、全体では《あてはまる》(45.1%)で4割台半ばとなっている。

性別・年代別で見ると、《あてはまる》について、男性では「20代・30代」(40.6%)がほぼ4割、「40代以上」(54.7%)が5割台半ばとなっており、女性では「20代・30代」(38.8%)が4割近く、「40代以上」(47.7%)が5割近くとなっている。男女ともに、年代があがるにつれ、《あてはまる》の回答割合が高くなる傾向が見られた。

(34) 教員間で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について話をしたことがある(SA)

		計	あてはまる	あてはまらない
全体		899	405	494
		100.0	45.1	54.9
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	41	21
		100.0	66.1	33.9
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	27	25
		100.0	51.9	48.1
	男性 主任教諭	73	32	41
		100.0	43.8	56.2
	男性 教諭	191	76	115
		100.0	39.8	60.2
女性 管理職(校長・副校長)	30	17	13	
	100.0	56.7	43.3	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	18	14	
	100.0	56.3	43.8	
女性 主任教諭	210	95	115	
	100.0	45.2	54.8	
女性 教諭	230	90	140	
	100.0	39.1	60.9	



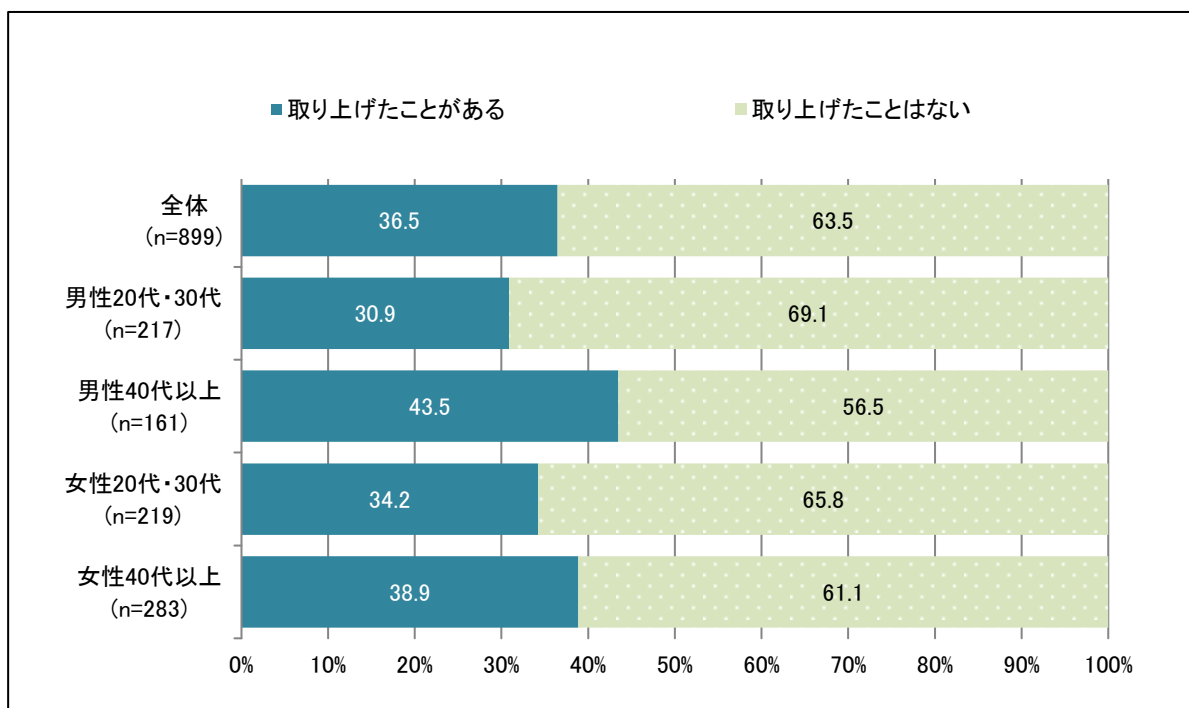
(図表IV-5-58)

○「教員間で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について話をしたことがある」について、全体では「あてはまる」(45.1%)で4割台半ばとなっている。

性別・役職別でみると、「あてはまる」について、男性では「管理職(校長・副校長)」(66.1%)が6割台半ば、「主幹教諭・指導教諭」(51.9%)が5割超え、「主任教諭」(43.8%)が4割超え、「教諭」(39.8%)が4割となっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(56.7%)が6割近く、「主幹教諭・指導教諭」(56.3%)が5割台半ば、「主任教諭」(45.2%)が4割台半ば、「教諭」(39.1%)がほぼ4割となっている。男女ともに、役職があがるにつれ、「あてはまる」の回答割合が高くなる傾向が見られた。

(35) 子供への指導で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を取り上げたことがある(SA)

		計	取り上げたことがある	取り上げたことはない
全体		899 100.0	328 36.5	571 63.5
性別・年代	男性 20代・30代	217 100.0	67 30.9	150 69.1
	男性 40代以上	161 100.0	70 43.5	91 56.5
	女性 20代・30代	219 100.0	75 34.2	144 65.8
	女性 40代以上	283 100.0	110 38.9	173 61.1



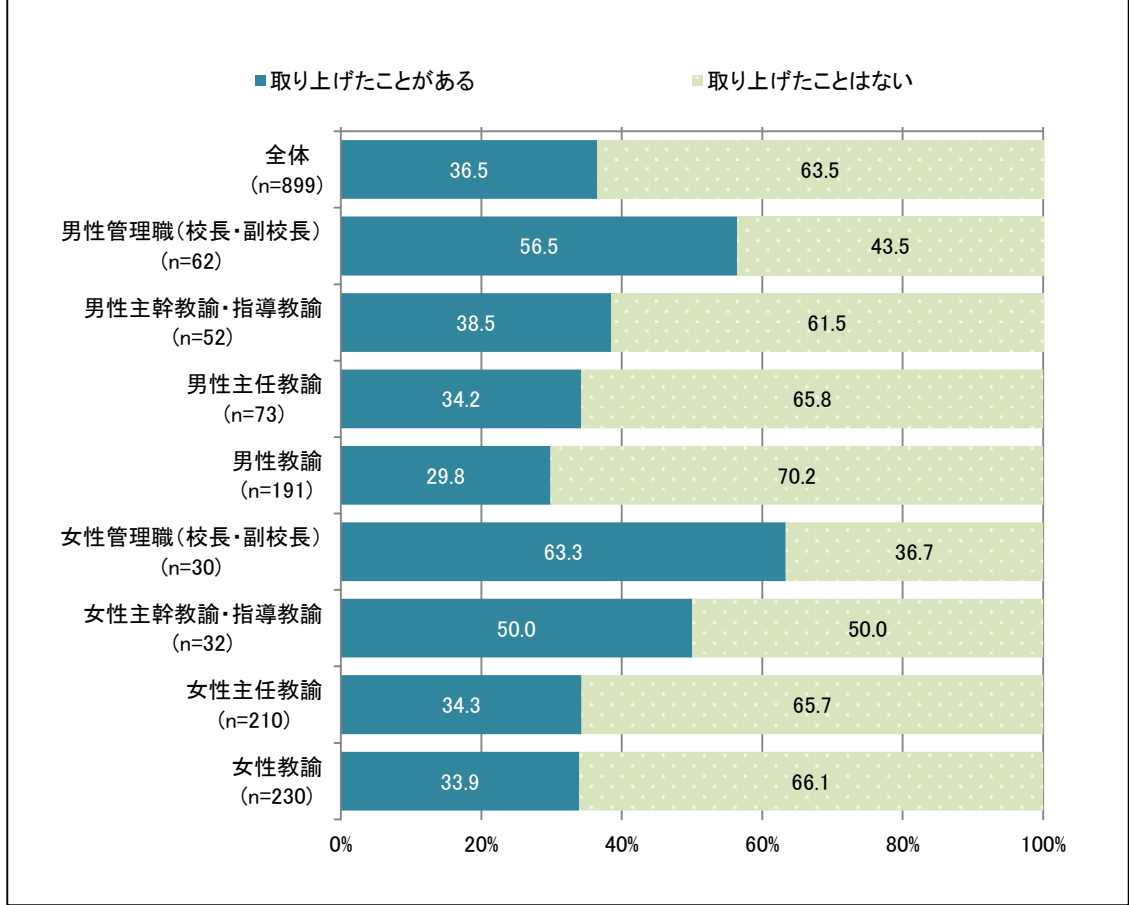
(図表IV-5-59)

○「子供への指導で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を取り上げたことがある」について、全体では「取り上げたことがある」(36.5%)で4割近くとなっている。

性別・年代別でみると、「取り上げたことがある」について、男性では「20代・30代」(30.9%)がほぼ3割、「40代以上」(43.5%)が4割超えとなっており、女性では「20代・30代」(34.2%)が3割台半ば、「40代以上」(38.9%)が4割近くとなっている。男性では年代により、「取り上げたことがある」の回答割合に大きな差が見られた。

(35) 子供への指導で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を取り上げたことがある(SA)

		計	取り上げたことがある	取り上げたことはない
全体		899	328	571
		100.0	36.5	63.5
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	35	27
		100.0	56.5	43.5
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	20	32
		100.0	38.5	61.5
	男性 主任教諭	73	25	48
		100.0	34.2	65.8
	男性 教諭	191	57	134
		100.0	29.8	70.2
女性 管理職(校長・副校長)	30	19	11	
	100.0	63.3	36.7	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	16	16	
	100.0	50.0	50.0	
女性 主任教諭	210	72	138	
	100.0	34.3	65.7	
女性 教諭	230	78	152	
	100.0	33.9	66.1	



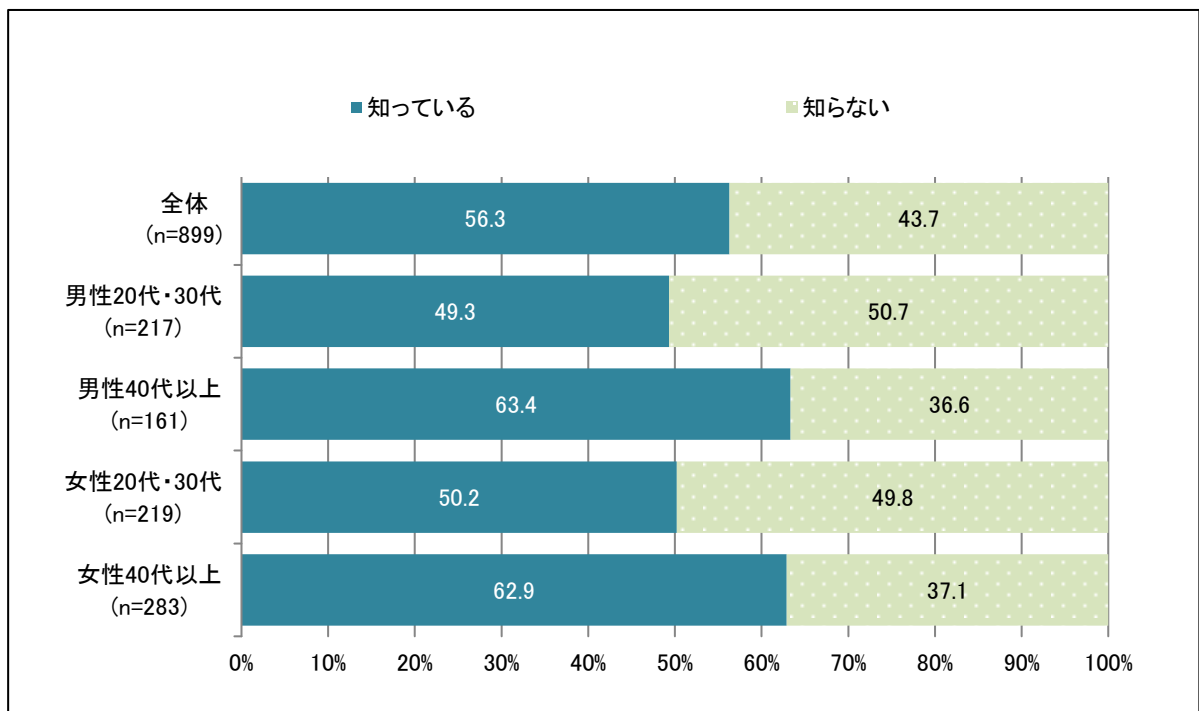
(図表IV-5-60)

○「子供への指導で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を取り上げたことがある」について、全体では「取り上げたことがある」(36.5%)で4割近くとなっている。

性別・役職別でみると、「取り上げたことがある」について、男性では「管理職(校長・副校長)」(56.5%)が6割近く、「主幹教諭・指導教諭」(38.5%)が4割近く、「主任教諭」(34.2%)が3割台半ば、「教諭」(29.8%)が3割となっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(63.3%)が6割超え、「主幹教諭・指導教諭」(50.0%)が5割、「主任教諭」(34.3%)が3割台半ば、「教諭」(33.9%)が3割を超えている。男女ともに、役職があがるにつれ、「取り上げたことがある」の回答割合が高くなる傾向が見られた。

(36) 無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について知っていますか (SA)

		計	知っている	知らない
全体		899	506	393
		100.0	56.3	43.7
性別・年代	男性 20代・30代	217	107	110
		100.0	49.3	50.7
	男性 40代以上	161	102	59
		100.0	63.4	36.6
女性 20代・30代		219	110	109
		100.0	50.2	49.8
女性 40代以上		283	178	105
		100.0	62.9	37.1



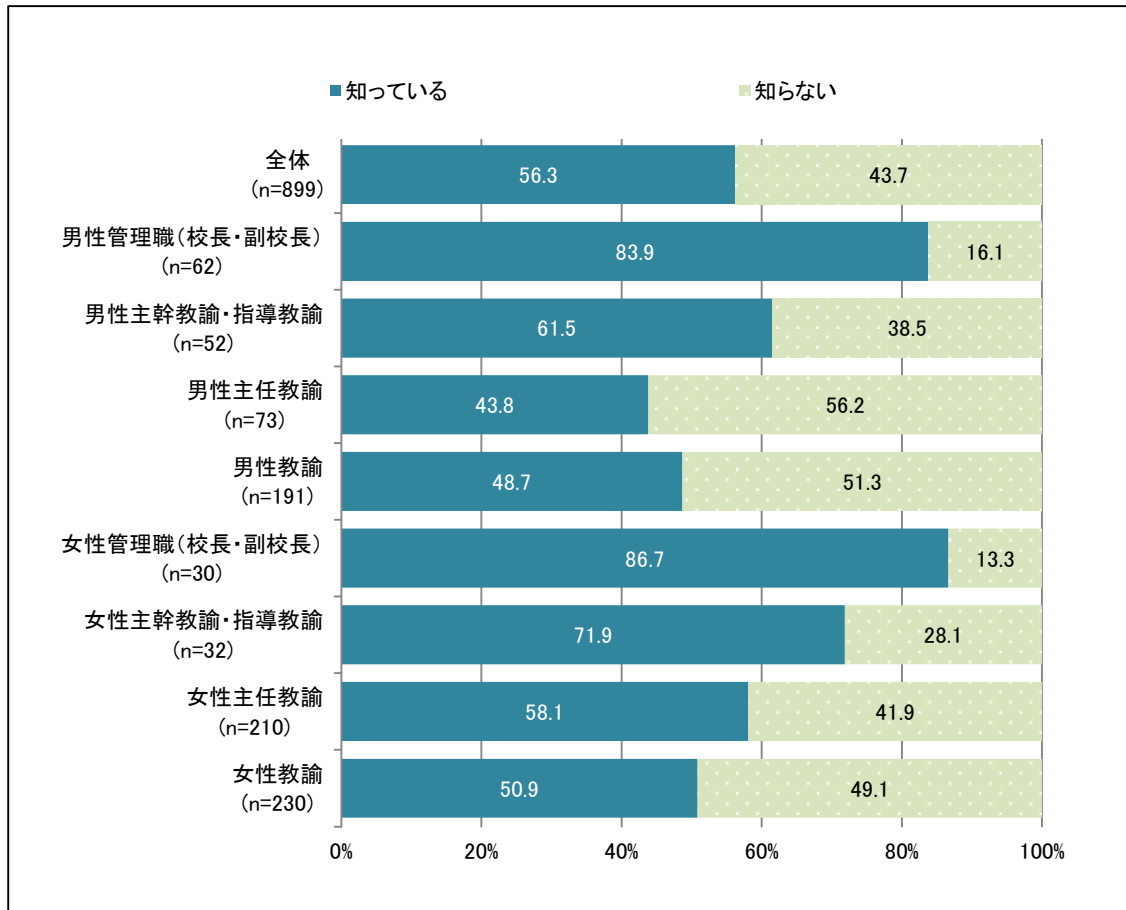
(図表IV-5-61)

○「無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について知っていますか」について、全体では《知っている》(56.3%)で5割台半ばとなっている。

性別・年代別で見ると、《知っている》について、男性では「20代・30代」(49.3%)がほぼ5割、「40代以上」(63.4%)が6割を超えており、女性では「20代・30代」(50.2%)が5割、「40代以上」(62.9%)が6割を超えている。男女ともに、年代があがるにつれ、《知っている》の回答割合が高くなる傾向が見られた。

(36) 無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について知っていますか (SA)

		計	知っている	知らない
全体		899	506	393
		100.0	56.3	43.7
性別・役職	男性 管理職(校長・副校長)	62	52	10
		100.0	83.9	16.1
	男性 主幹教諭・指導教諭	52	32	20
		100.0	61.5	38.5
	男性 主任教諭	73	32	41
		100.0	43.8	56.2
	男性 教諭	191	93	98
		100.0	48.7	51.3
女性 管理職(校長・副校長)	30	26	4	
	100.0	86.7	13.3	
女性 主幹教諭・指導教諭	32	23	9	
	100.0	71.9	28.1	
女性 主任教諭	210	122	88	
	100.0	58.1	41.9	
女性 教諭	230	117	113	
	100.0	50.9	49.1	



(図表IV-5-62)

○「無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について知っていますか」について、全体では「知っている」(56.3%)で5割台半ばとなっている。

性別・役職別でみると、「知っている」について、男性では「管理職(校長・副校長)」(83.9%)が8割超え、「主幹教諭・指導教諭」(61.5%)が6割超え、「主任教諭」(43.8%)が4割超え、「教諭」(48.7%)が5割近くとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(86.7%)が9割近く、「主幹教諭・指導教諭」(71.9%)が7割超え、「主任教諭」(58.1%)が6割近く、「教諭」(50.9%)がほぼ5割となっている。男女ともに、役職があがるにつれ、「知っている」の回答割合が高くなる傾向が見られた。

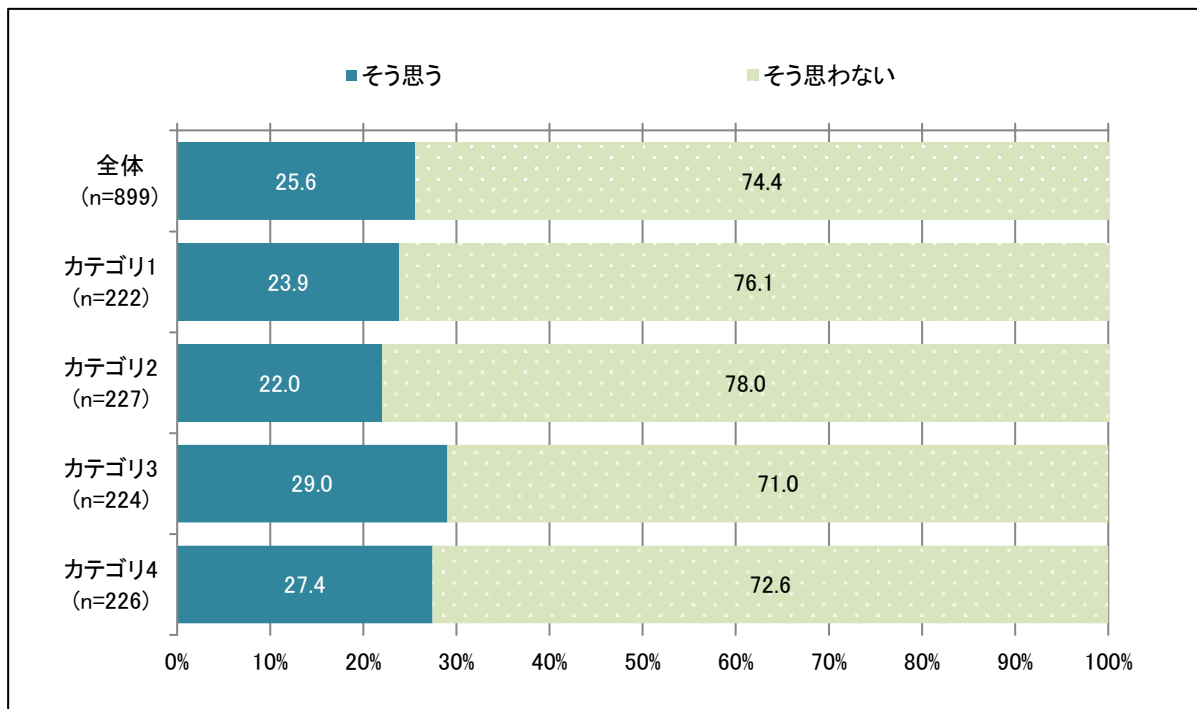
< 仮説・検討事項(40)>

得点化したカテゴリと他の設問との間に関係性はあるか

(1) 男性の方が管理職に向いていると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	230	669
		100.0	25.6	74.4
(33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化)	カテゴリ1	222	53	169
	カテゴリ2	227	50	177
	カテゴリ3	224	65	159
	カテゴリ4	226	62	164
		100.0	23.9	76.1
		100.0	22.0	78.0
		100.0	29.0	71.0
		100.0	27.4	72.6

カテゴリについては、「第I章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-5-63)

○「男性の方が管理職に向いていると思う」について、全体では《そう思う》(25.6%)で2割台半ばとなっている。

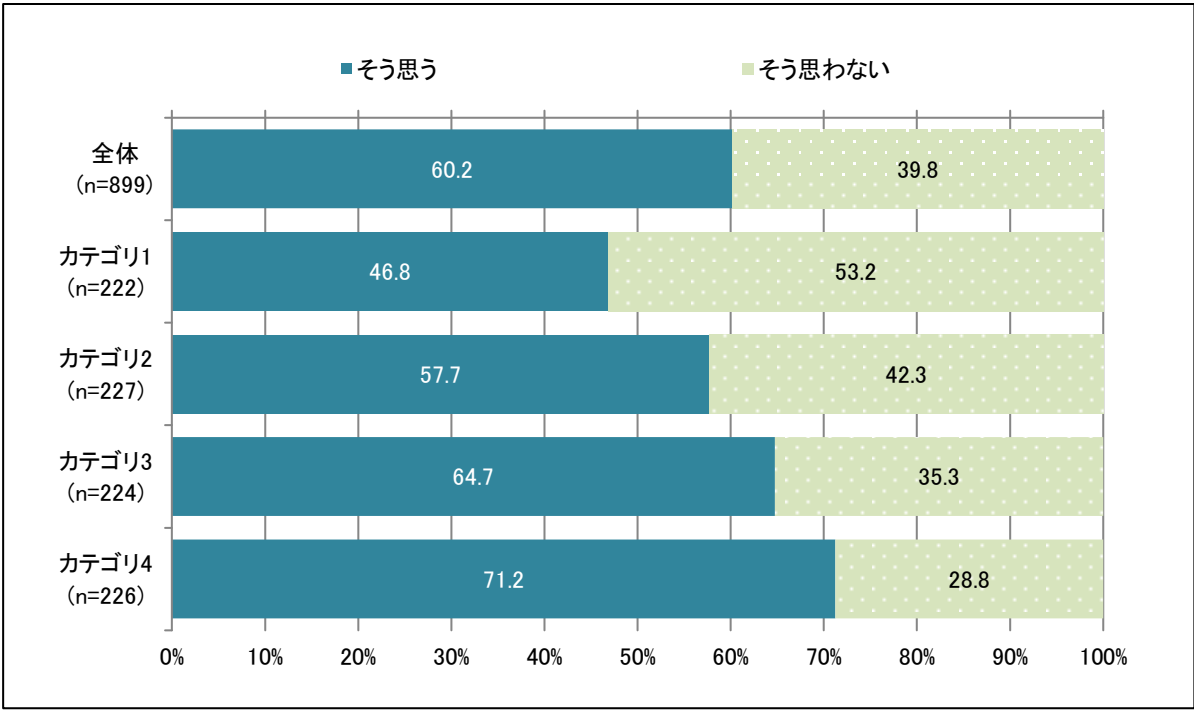
得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(23.9%)とカテゴリ2(22.0%)がともに2割超え、カテゴリ3(29.0%)がほぼ3割、カテゴリ4(27.4%)が3割近くとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.02であり、ほとんど相関が見られなかった。

(2) 将来管理職になるのは無理だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	541 60.2	358 39.8
(33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化)	カテゴリ1	222 100.0	104 46.8	118 53.2
	カテゴリ2	227 100.0	131 57.7	96 42.3
	カテゴリ3	224 100.0	145 64.7	79 35.3
	カテゴリ4	226 100.0	161 71.2	65 28.8

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-5-64)

○「将来管理職になるのは無理だと思う」について、全体では《そう思う》(60.2%)で6割となっている。

得点化のカテゴリ別で見ると、《そう思う》について、カテゴリ1(46.8%)が5割近く、カテゴリ2(57.7%)が6割近く、カテゴリ3(64.7%)が6割台半ば、カテゴリ4(71.2%)が7割を超えている。

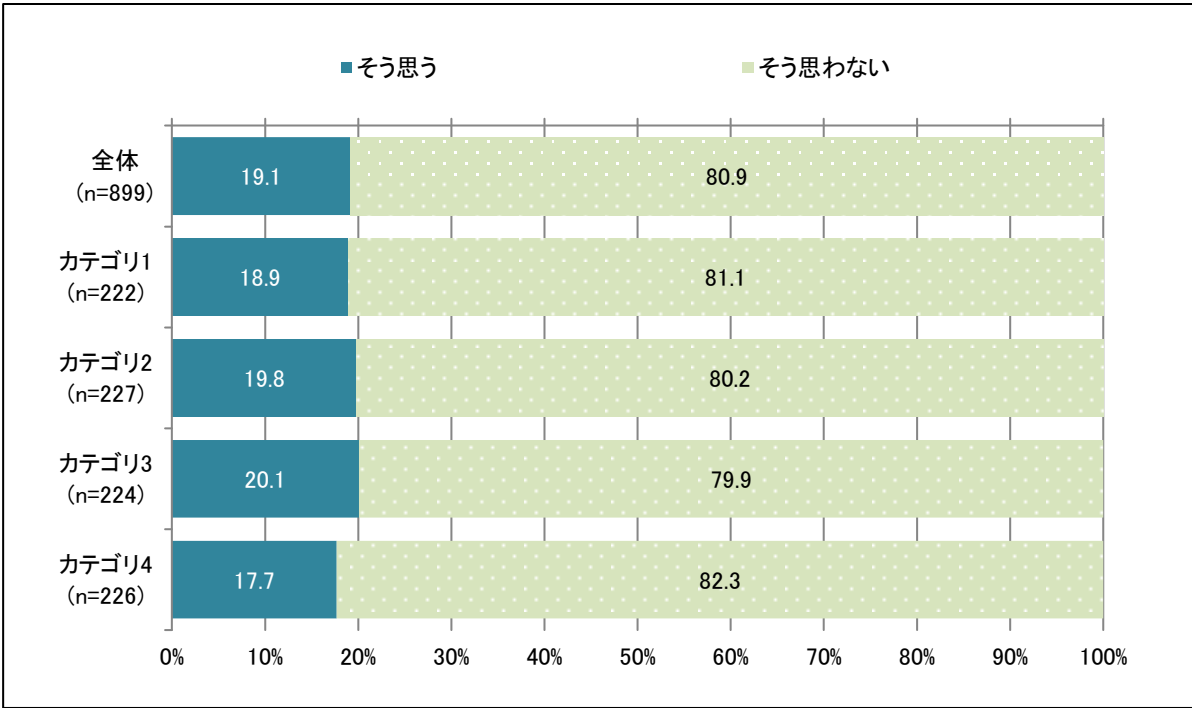
「将来管理職になるのは無理だと思う」について、得点化カテゴリ別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.001)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、-0.14であり、ほとんど相関が見られなかった。

(3) プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	172 19.1	727 80.9
(33) ~ (36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化)	カテゴリ1	222 100.0	42 18.9	180 81.1
	カテゴリ2	227 100.0	45 19.8	182 80.2
	カテゴリ3	224 100.0	45 20.1	179 79.9
	カテゴリ4	226 100.0	40 17.7	186 82.3

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



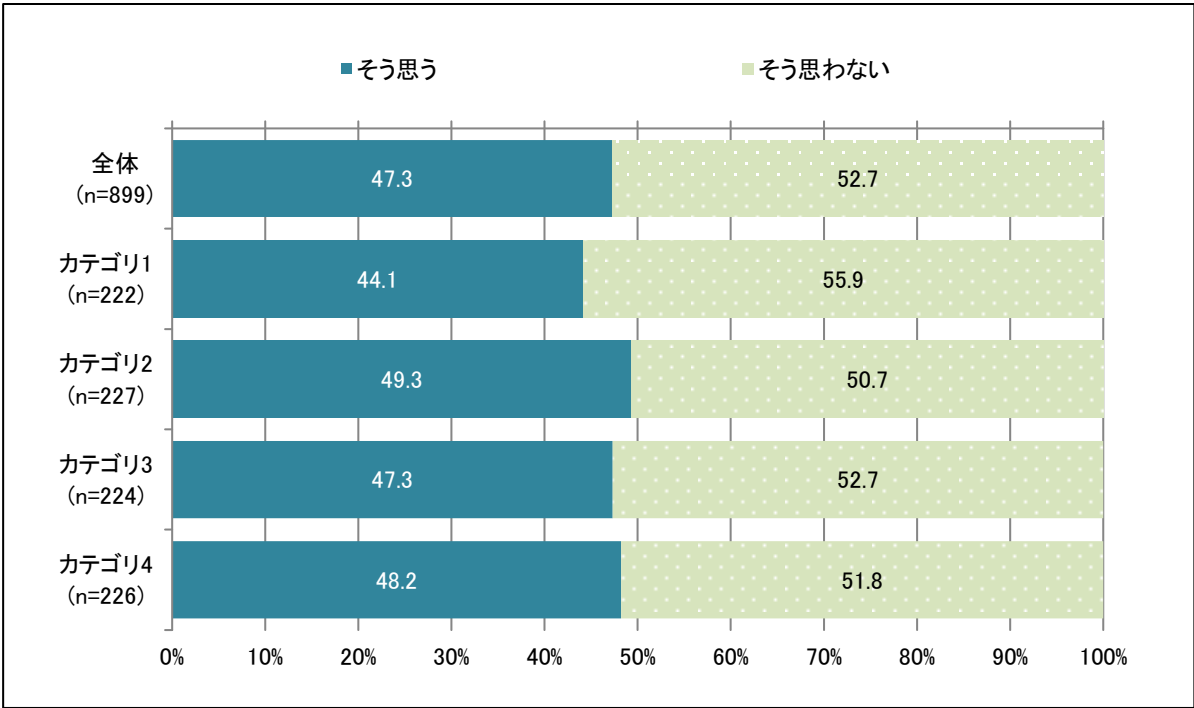
(図表IV-5-65)

○「プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(19.1%)でほぼ2割となっている。
 得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(18.9%)が2割近く、カテゴリ2(19.8%)とカテゴリ3(20.1%)がともに2割、カテゴリ4(17.7%)が2割近くとなっている。
 設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.13であり、ほとんど相関が見られなかった。

(4) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	425 47.3	474 52.7
(33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化)	カテゴリ1	222 100.0	98 44.1	124 55.9
	カテゴリ2	227 100.0	112 49.3	115 50.7
	カテゴリ3	224 100.0	106 47.3	118 52.7
	カテゴリ4	226 100.0	109 48.2	117 51.8

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



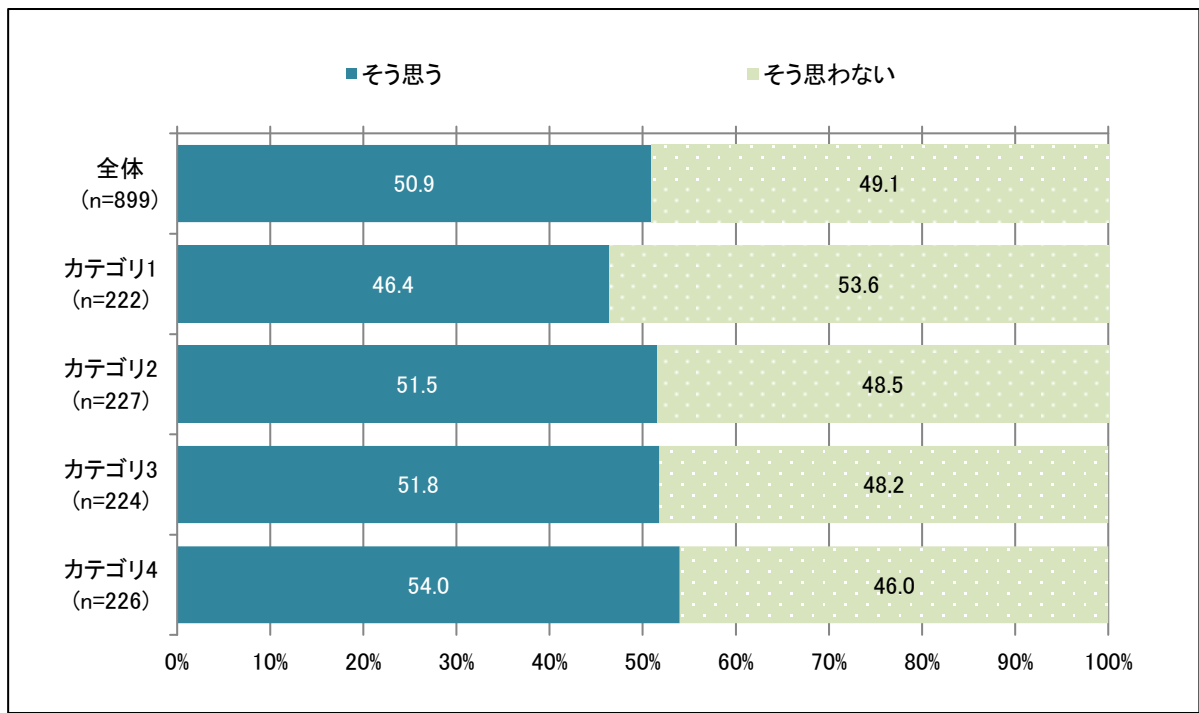
(図表IV-5-66)

○『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』について、全体では《そう思う》(47.3%)で5割近くとなっている。
 得点化のカテゴリ別で見ると、《そう思う》について、カテゴリ1(44.1%)が4割台半ば、カテゴリ2(49.3%)がほぼ5割、カテゴリ3(47.3%)とカテゴリ4(48.2%)がともに5割近くとなっている。
 設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.02であり、ほとんど相関が見られなかった。

(5) 育児休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	458 50.9	441 49.1
(33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化)	カテゴリ1	222 100.0	103 46.4	119 53.6
	カテゴリ2	227 100.0	117 51.5	110 48.5
	カテゴリ3	224 100.0	116 51.8	108 48.2
	カテゴリ4	226 100.0	122 54.0	104 46.0

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-5-67)

○「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(50.9%)でほぼ5割となっている。

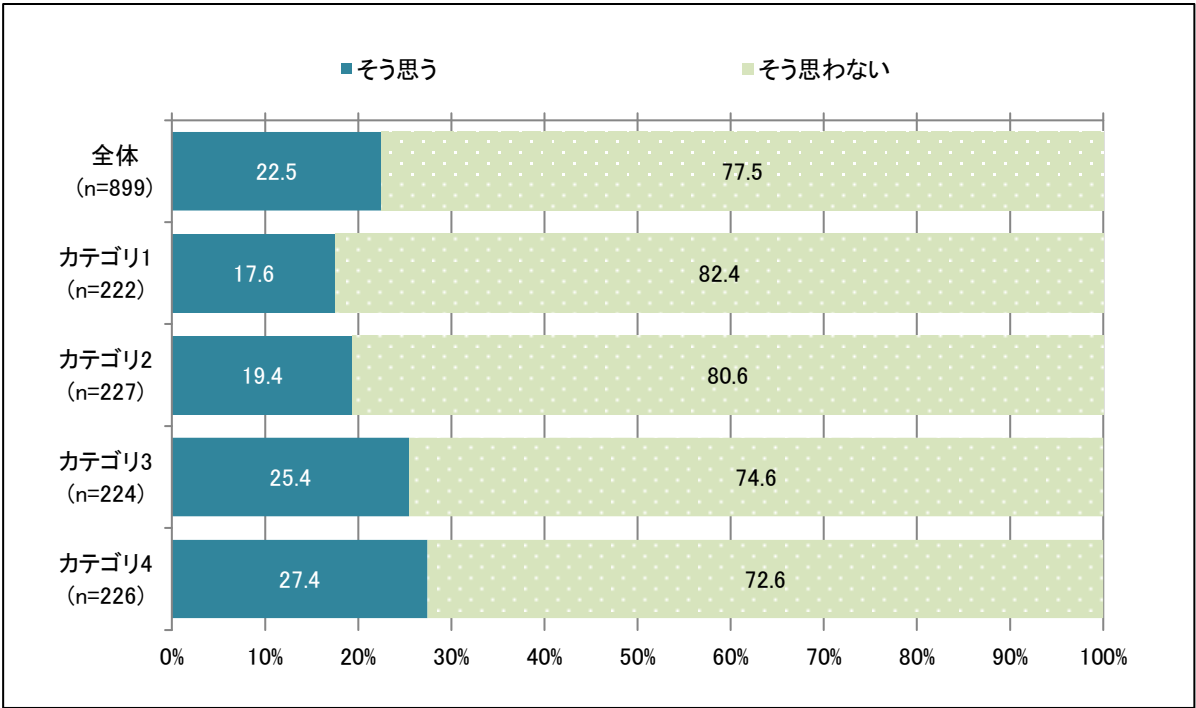
得点化のカテゴリ別で見ると、《そう思う》について、カテゴリ1(46.4%)が4割台半ば、カテゴリ2(51.5%)とカテゴリ3(51.8%)がともに5割超え、カテゴリ4(54.0%)が5割台半ばとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.00であり、ほとんど相関が見られなかった。

(1 1) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う (S A)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	202 22.5	697 77.5
(3 3) ~ (3 6) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化)	カテゴリ1	222 100.0	39 17.6	183 82.4
	カテゴリ2	227 100.0	44 19.4	183 80.6
	カテゴリ3	224 100.0	57 25.4	167 74.6
	カテゴリ4	226 100.0	62 27.4	164 72.6

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-5-68)

○「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(22.5%)で2割を超えている。

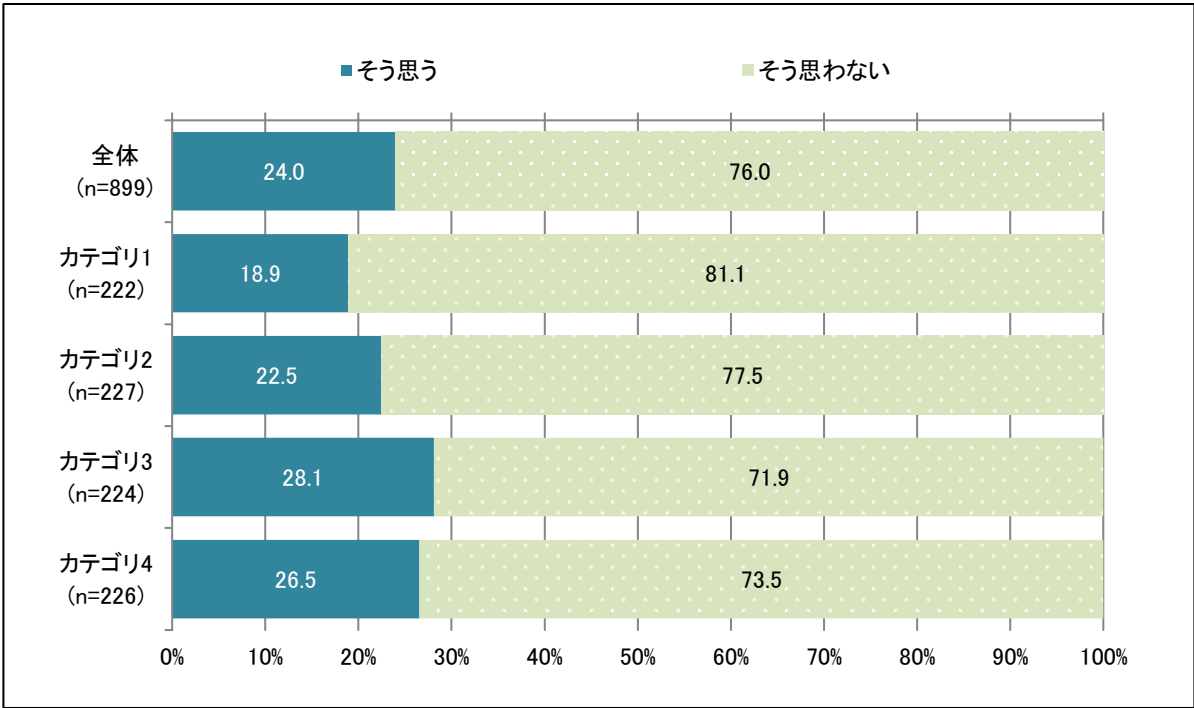
得点化のカテゴリ別で見ると、《そう思う》について、カテゴリ1(17.6%)が2割近く、カテゴリ2(19.4%)がほぼ2割、カテゴリ3(25.4%)が2割台半ば、カテゴリ4(27.4%)が3割近くとなっている。

「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、得点化カテゴリ別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.05)が見られた。設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、-0.03であり、ほとんど相関が見られなかった。

(15) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	216 24.0	683 76.0
(33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化)	カテゴリ1	222 100.0	42 18.9	180 81.1
	カテゴリ2	227 100.0	51 22.5	176 77.5
	カテゴリ3	224 100.0	63 28.1	161 71.9
	カテゴリ4	226 100.0	60 26.5	166 73.5

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



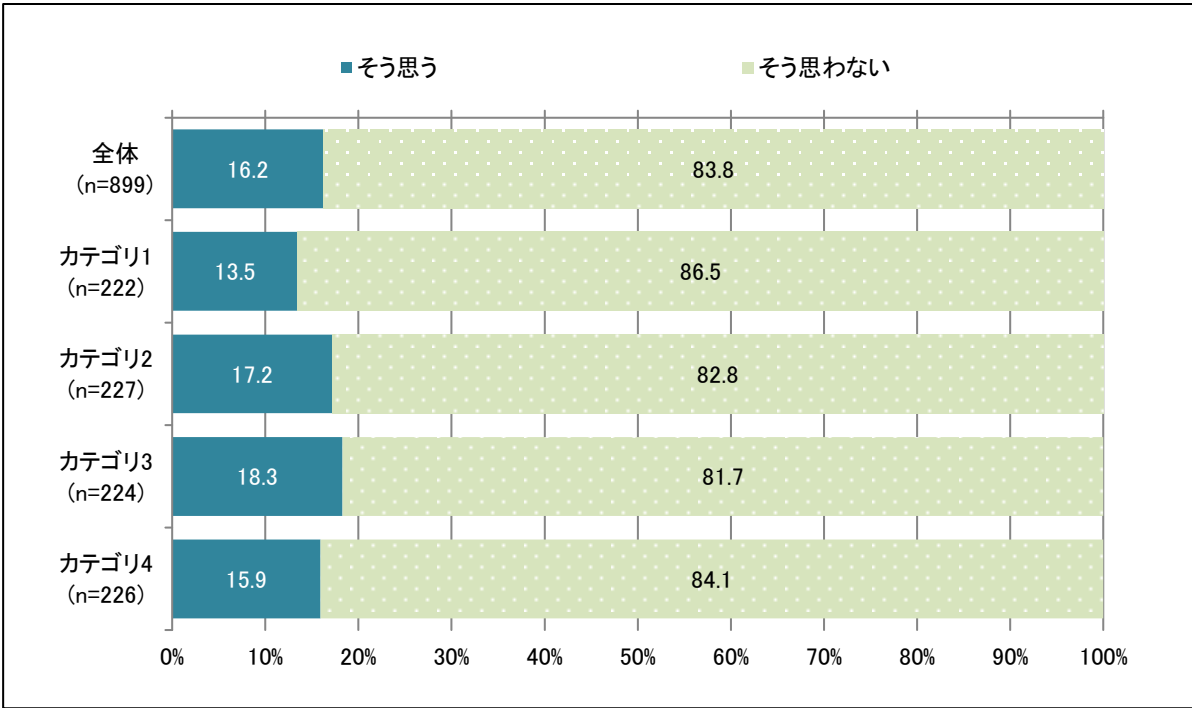
(図表IV-5-69)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(24.0%)で2割台半ばとなっている。
 得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(18.9%)が2割近く、カテゴリ2(22.5%)が2割超え、カテゴリ3(28.1%)とカテゴリ4(26.5%)がともに3割近くとなっている。
 設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.02であり、ほとんど相関が見られなかった。

(16) 理系科目は男の子の方が得意だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	146 16.2	753 83.8
(33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化)	カテゴリ1	222 100.0	30 13.5	192 86.5
	カテゴリ2	227 100.0	39 17.2	188 82.8
	カテゴリ3	224 100.0	41 18.3	183 81.7
	カテゴリ4	226 100.0	36 15.9	190 84.1

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



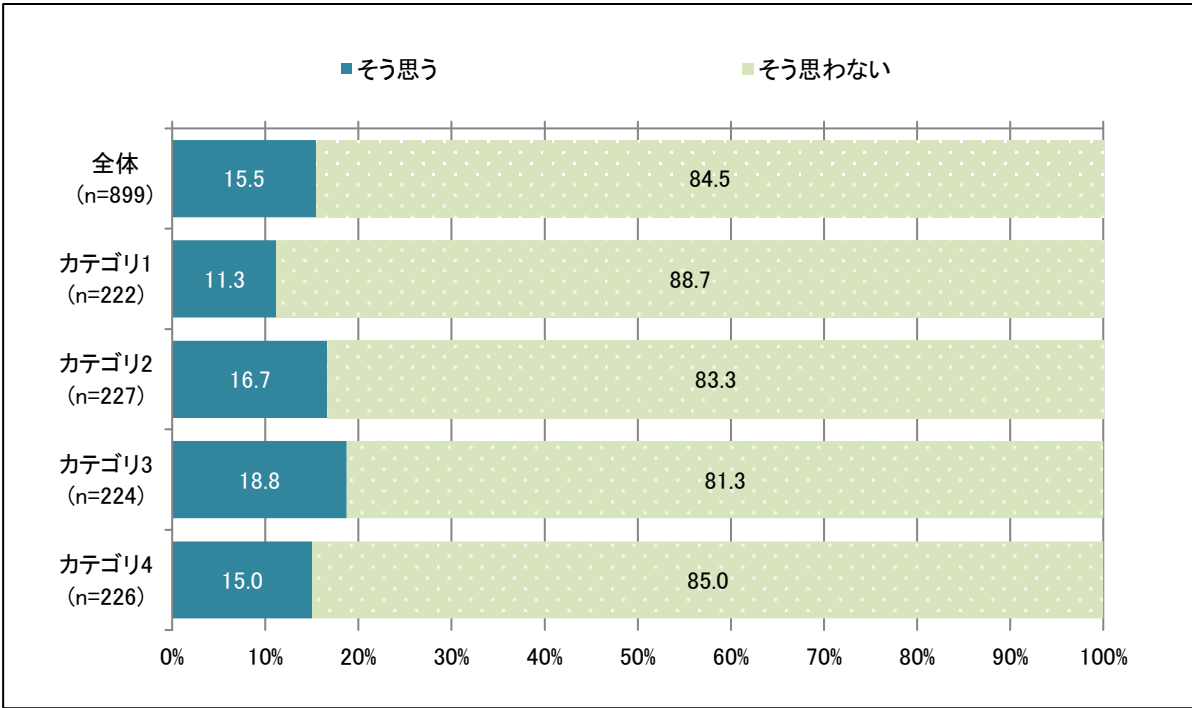
(図表IV-5-70)

○「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(16.2%)で1割台半ばとなっている。
 得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(13.5%)が1割超え、カテゴリ2(17.2%)とカテゴリ3(18.3%)がともに2割近く、カテゴリ4(15.9%)が1割台半ばとなっている。
 設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.05であり、ほとんど相関が見られなかった。

(17) 文系科目は女の子の方が得意だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	139 15.5	760 84.5
(33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化)	カテゴリ1	222 100.0	25 11.3	197 88.7
	カテゴリ2	227 100.0	38 16.7	189 83.3
	カテゴリ3	224 100.0	42 18.8	182 81.3
	カテゴリ4	226 100.0	34 15.0	192 85.0

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



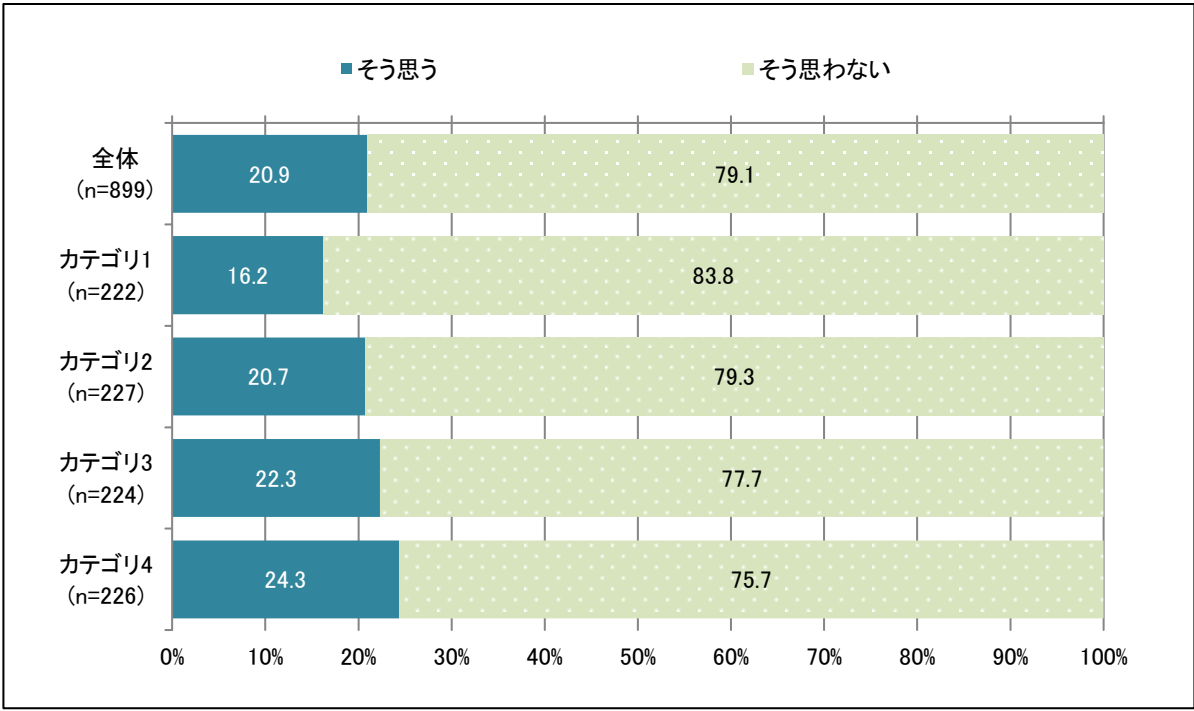
(図表IV-5-71)

○「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(15.5%)で1割台半ばとなっている。
 得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(11.3%)が1割超え、カテゴリ2(16.7%)とカテゴリ3(18.8%)がともに2割近く、カテゴリ4(15.0%)が1割台半ばとなっている。
 設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.05であり、ほとんど相関が見られなかった。

(18) 家庭科は女の子の方が向いていると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	188 20.9	711 79.1
(33) ~ (36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化)	カテゴリ1	222 100.0	36 16.2	186 83.8
	カテゴリ2	227 100.0	47 20.7	180 79.3
	カテゴリ3	224 100.0	50 22.3	174 77.7
	カテゴリ4	226 100.0	55 24.3	171 75.7

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-5-72)

○「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(20.9%)でほぼ2割となっている。

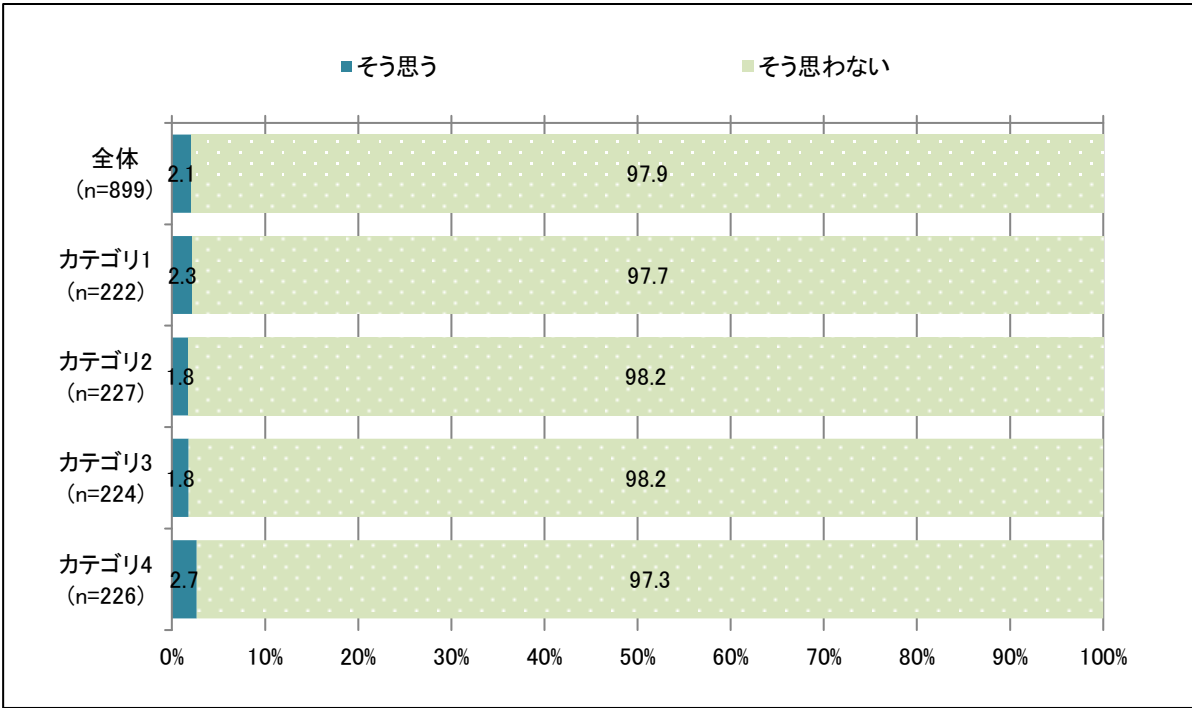
得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(16.2%)が1割台半ば、カテゴリ2(20.7%)がほぼ2割、カテゴリ3(22.3%)が2割超え、カテゴリ4(24.3%)が2割台半ばとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.02であり、ほとんど相関が見られなかった。

(19) 学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	19 2.1	880 97.9
(33) ~ (36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化)	カテゴリ1	222 100.0	5 2.3	217 97.7
	カテゴリ2	227 100.0	4 1.8	223 98.2
	カテゴリ3	224 100.0	4 1.8	220 98.2
	カテゴリ4	226 100.0	6 2.7	220 97.3

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



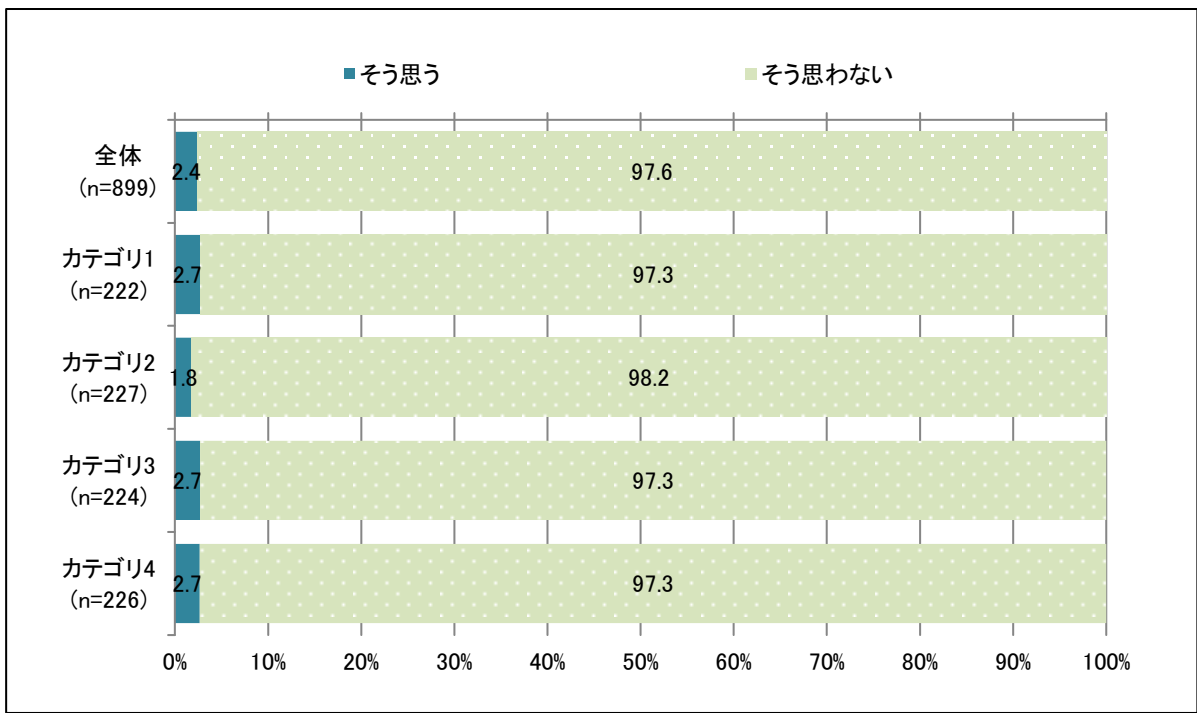
(図表IV-5-73)

○「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(2.1%)でわずかとなっている。
 得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(2.3%)とカテゴリ2(1.8%)とカテゴリ3(1.8%)とカテゴリ4(2.7%)がともにわずかとなっている。
 設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.23であり、やや相関が見られた。

(20) 授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	22 2.4	877 97.6
(33) ~ (36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化)	カテゴリ1	222 100.0	6 2.7	216 97.3
	カテゴリ2	227 100.0	4 1.8	223 98.2
	カテゴリ3	224 100.0	6 2.7	218 97.3
	カテゴリ4	226 100.0	6 2.7	220 97.3

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



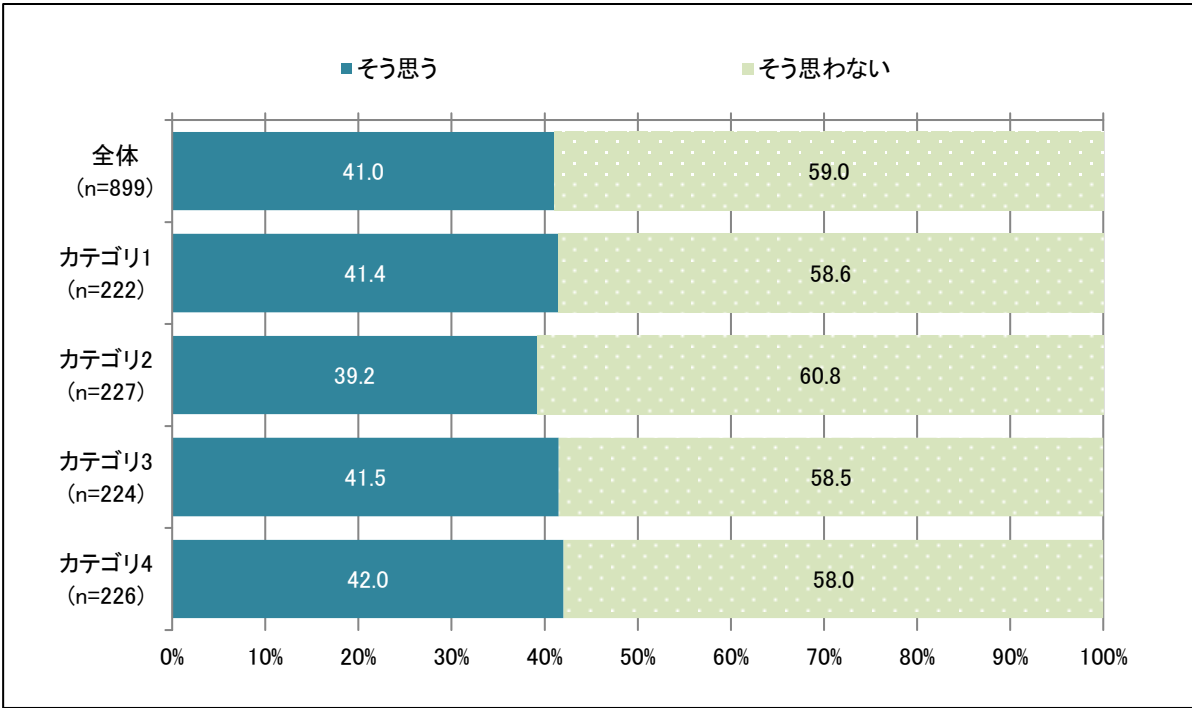
(図表IV-5-74)

- 「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」について、全体では「そう思う」(2.4%)でわずかとなっている。
- 得点化のカテゴリ別でみると、「そう思う」について、カテゴリ1(2.7%)とカテゴリ2(1.8%)とカテゴリ3(2.7%)とカテゴリ4(2.7%)がともにわずかとなっている。
- 設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.26であり、やや相関が見られた。

(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	369	530
		100.0	41.0	59.0
(33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化)	カテゴリ1	222	92	130
		100.0	41.4	58.6
	カテゴリ2	227	89	138
		100.0	39.2	60.8
カテゴリ3	224	93	131	
	100.0	41.5	58.5	
カテゴリ4	226	95	131	
	100.0	42.0	58.0	

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-5-75)

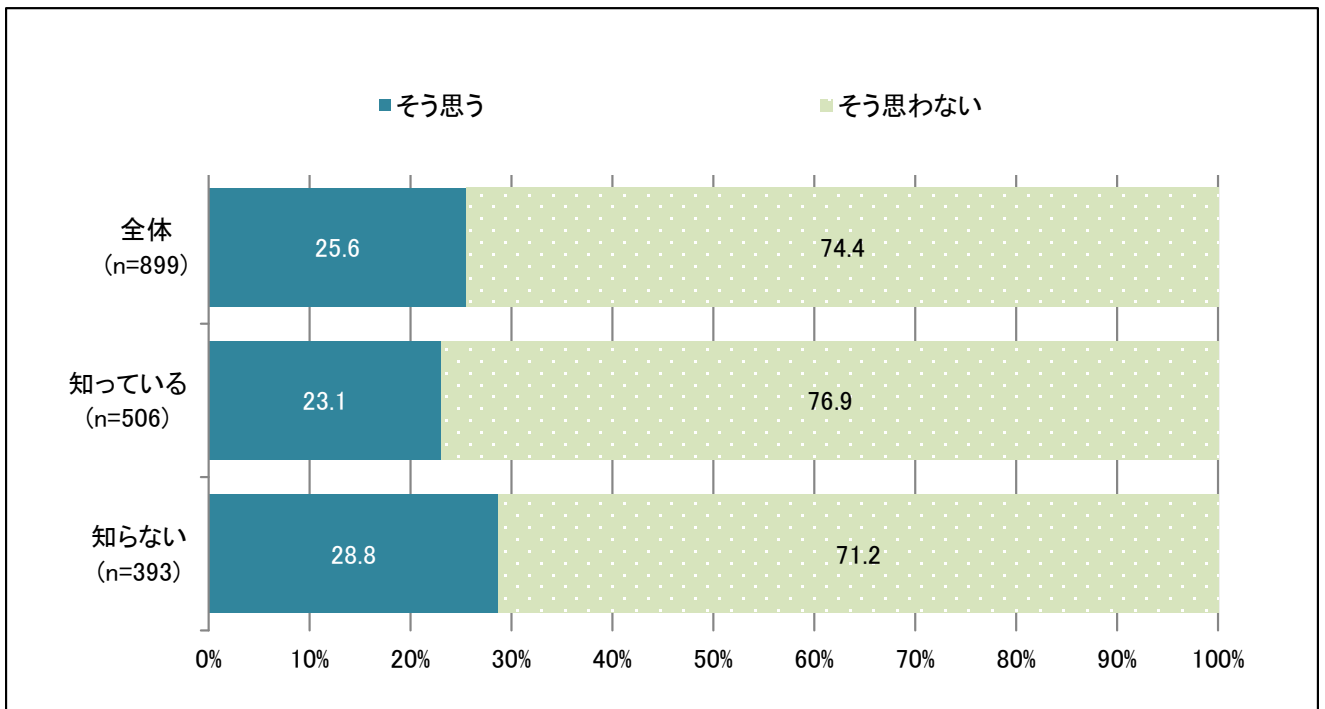
○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(41.0%)で4割を超えている。
 得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(41.4%)が4割超え、カテゴリ2(39.2%)がほぼ4割、カテゴリ3(41.5%)とカテゴリ4(42.0%)がともに4割を超えている。
 設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.04であり、ほとんど相関が見られなかった。

< 仮説・検討事項(41)>

「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」の回答と他の設問の回答に係り性はあるか

(1) 男性の方が管理職に向いていると思う（SA）

		計	そう思う	そう思わない
全体		899	230	669
		100.0	25.6	74.4
(36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか	知っている	506	117	389
	知らない	393	113	280
		100.0	28.8	71.2



(図表IV-5-76)

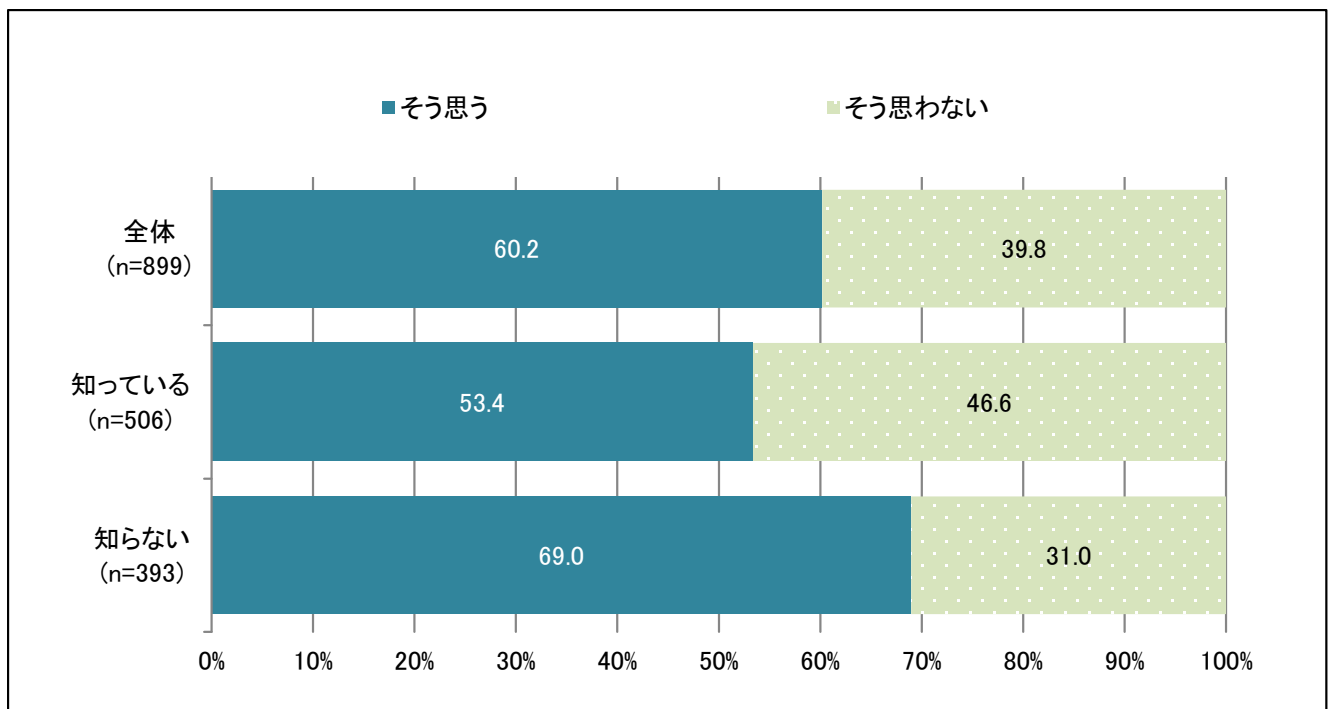
○「男性の方が管理職に向いていると思う」について、全体では《そう思う》（25.6%）で2割台半ばとなっている。

「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》（23.1%）が2割超え、《知らない》（28.8%）が3割近くとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.08であり、ほとんど相関が見られなかった。

(2) 将来管理職になるのは無理だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	541 60.2	358 39.8
(36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか	知っている	506 100.0	270 53.4	236 46.6
	知らない	393 100.0	271 69.0	122 31.0



(図表IV-5-77)

○「将来管理職になるのは無理だと思う」について、全体では《そう思う》(60.2%)で6割となっている。

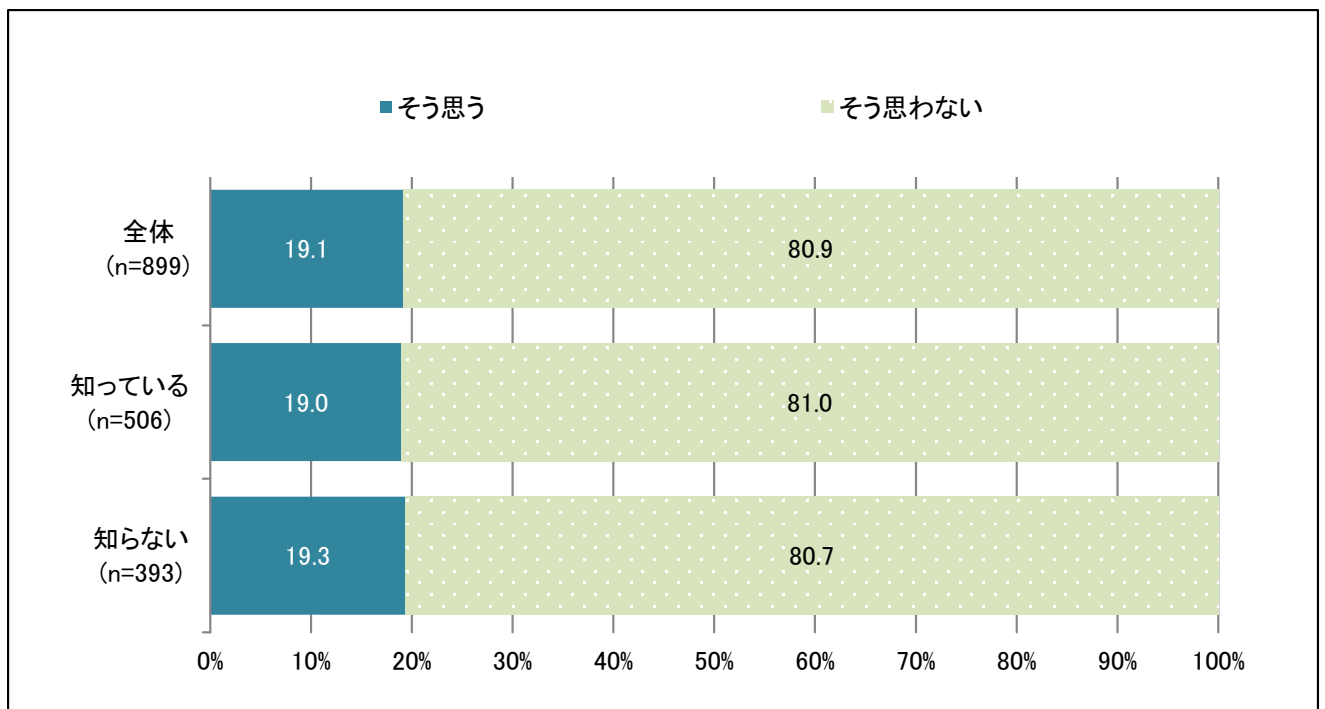
「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(53.4%)が5割超え、《知らない》(69.0%)がほぼ7割となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「将来管理職になるのは無理だと思う」について、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、-0.04であり、ほとんど相関が見られなかった。

(3) プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	172 19.1	727 80.9
(36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか	知っている	506 100.0	96 19.0	410 81.0
	知らない	393 100.0	76 19.3	317 80.7



(図表IV-5-78)

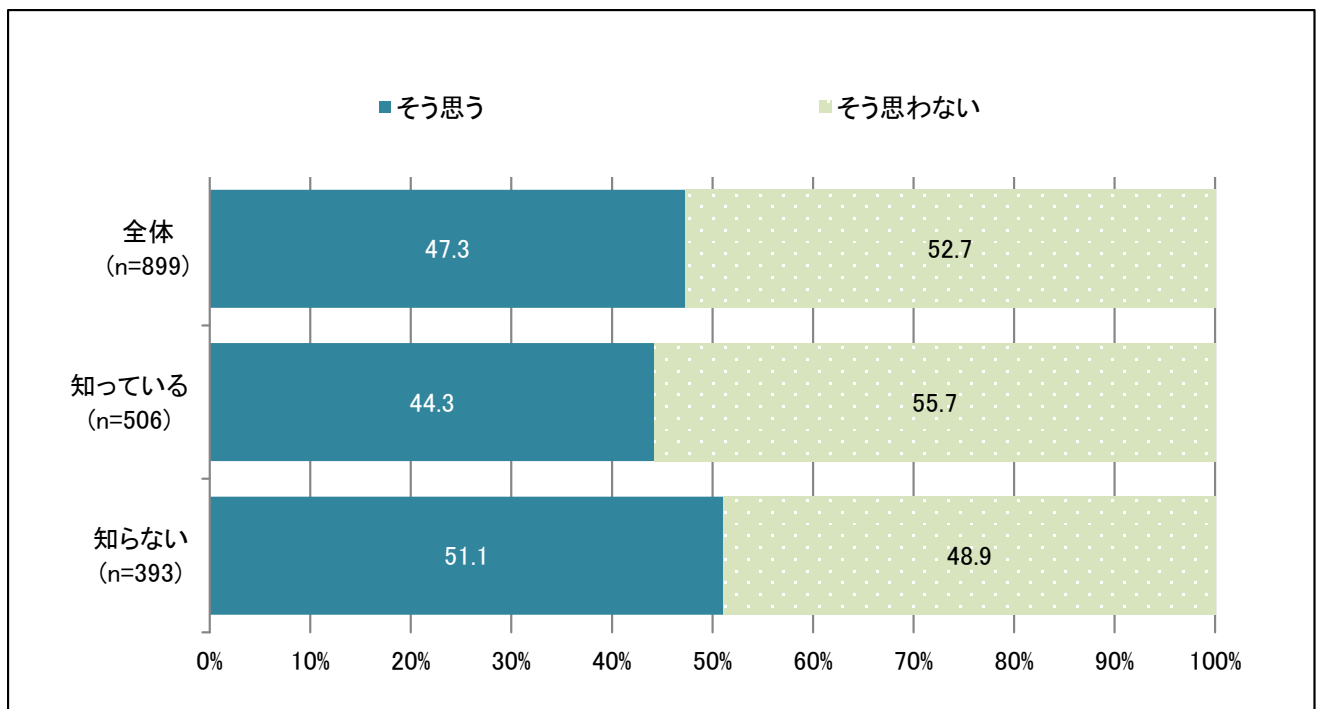
○「プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(19.1%)でほぼ2割となっている。

「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(19.0%)がほぼ2割、《知らない》(19.3%)がほぼ2割となっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.18であり、ほとんど相関が見られなかった。

(4) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	425 47.3	474 52.7
(36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか	知っている	506 100.0	224 44.3	282 55.7
	知らない	393 100.0	201 51.1	192 48.9



(図表IV-5-79)

○『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』について、全体では《そう思う》(47.3%)で5割近くとなっている。

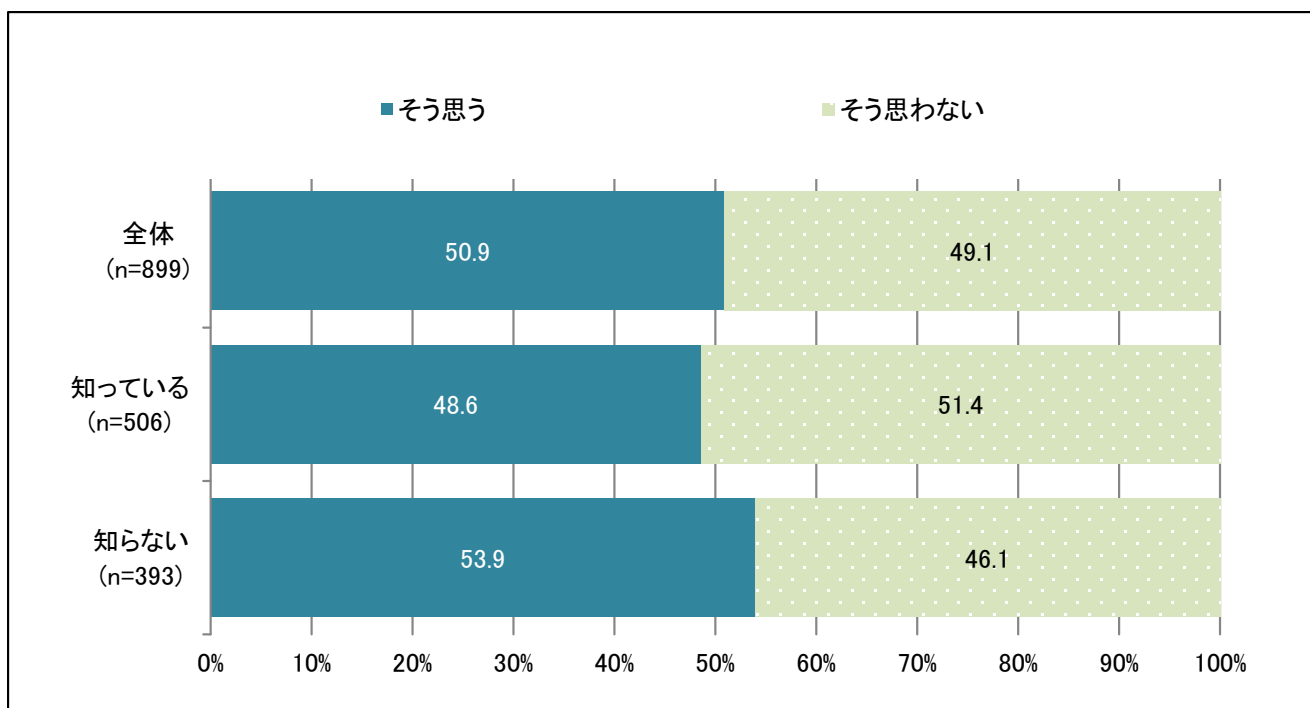
「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(44.3%)が4割台半ば、《知らない》(51.1%)が5割を超えている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』について、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.05$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.05であり、ほとんど相関が見られなかった。

(5) 育児休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	458 50.9	441 49.1
(36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか	知っている	506 100.0	246 48.6	260 51.4
	知らない	393 100.0	212 53.9	181 46.1



(図表IV-5-80)

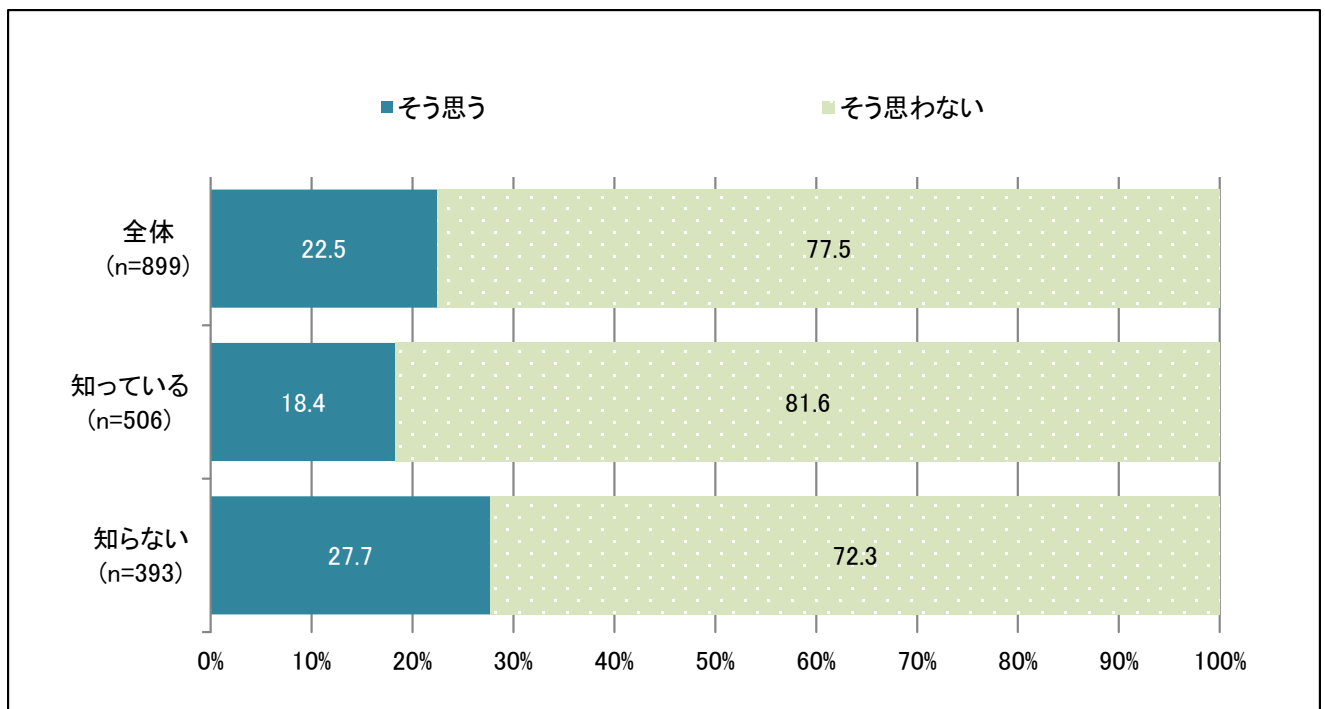
○「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(50.9%)でほぼ5割となっている。

「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(48.6%)が5割近く、《知らない》(53.9%)が5割を超えている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.07であり、ほとんど相関が見られなかった。

(1 1) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う (S A)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	202 22.5	697 77.5
(3 6) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか	知っている	506 100.0	93 18.4	413 81.6
	知らない	393 100.0	109 27.7	284 72.3



(図表IV-5-81)

○「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(22.5%)で2割を超えている。

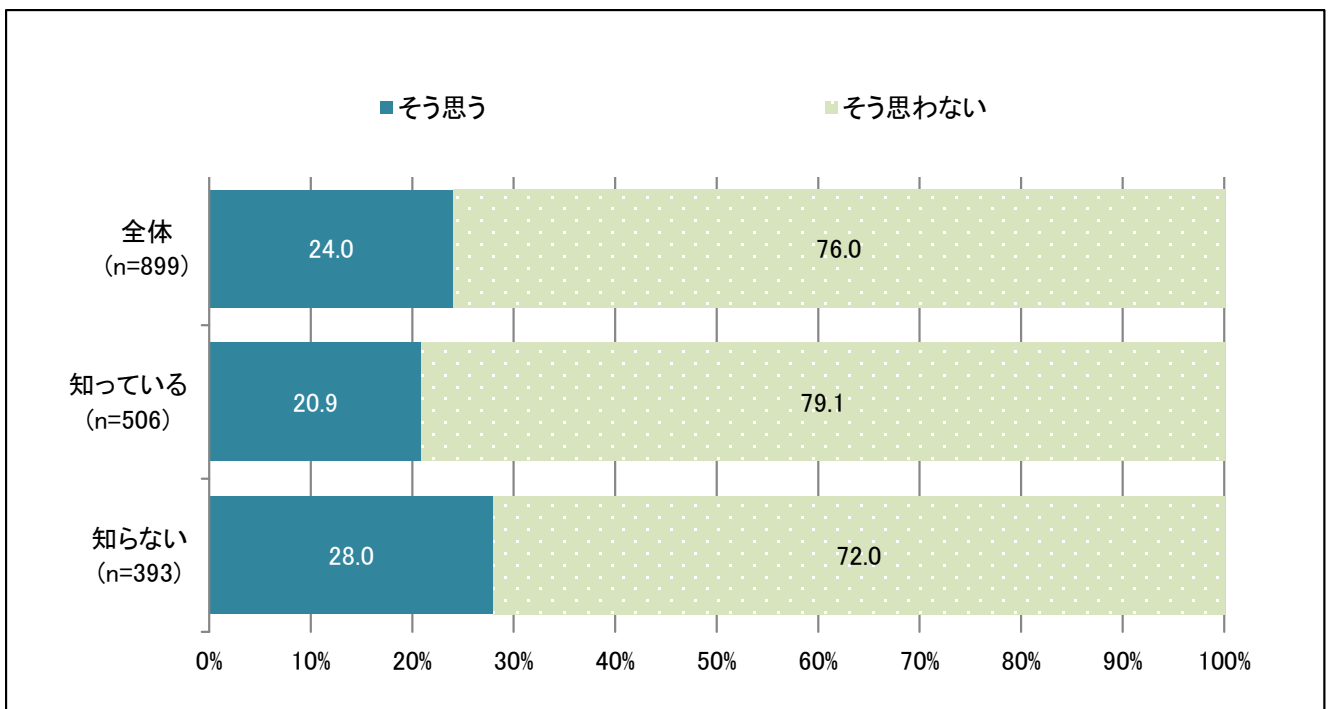
「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(18.4%)が2割近く、《知らない》(27.7%)が3割近くとなっている。

「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.02であり、ほとんど相関が見られなかった。

(15) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	216 24.0	683 76.0
(36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか	知っている	506 100.0	106 20.9	400 79.1
	知らない	393 100.0	110 28.0	283 72.0



(図表IV-5-82)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(24.0%)で2割台半ばとなっている。

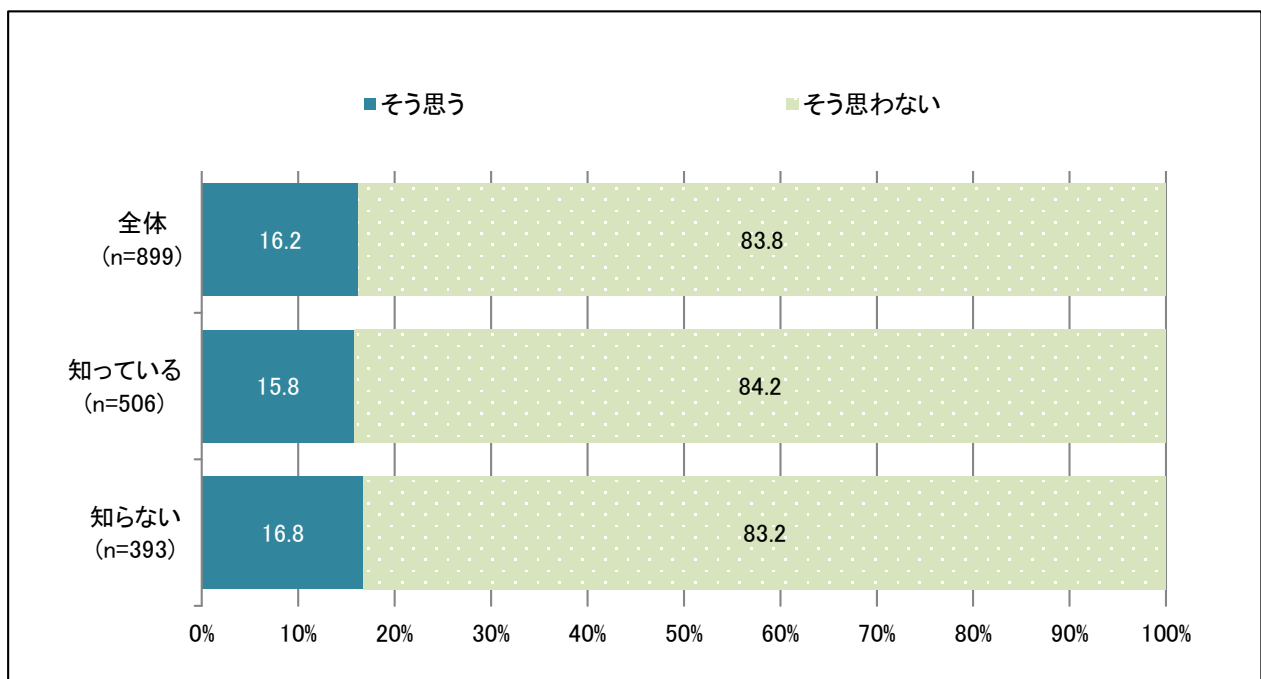
「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(20.9%)がほぼ2割、《知らない》(28.0%)が3割近くとなっている。

「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.05$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.06であり、ほとんど相関が見られなかった。

(16) 理系科目は男の子の方が得意だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	146 16.2	753 83.8
(36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか	知っている	506 100.0	80 15.8	426 84.2
	知らない	393 100.0	66 16.8	327 83.2



(図表IV-5-83)

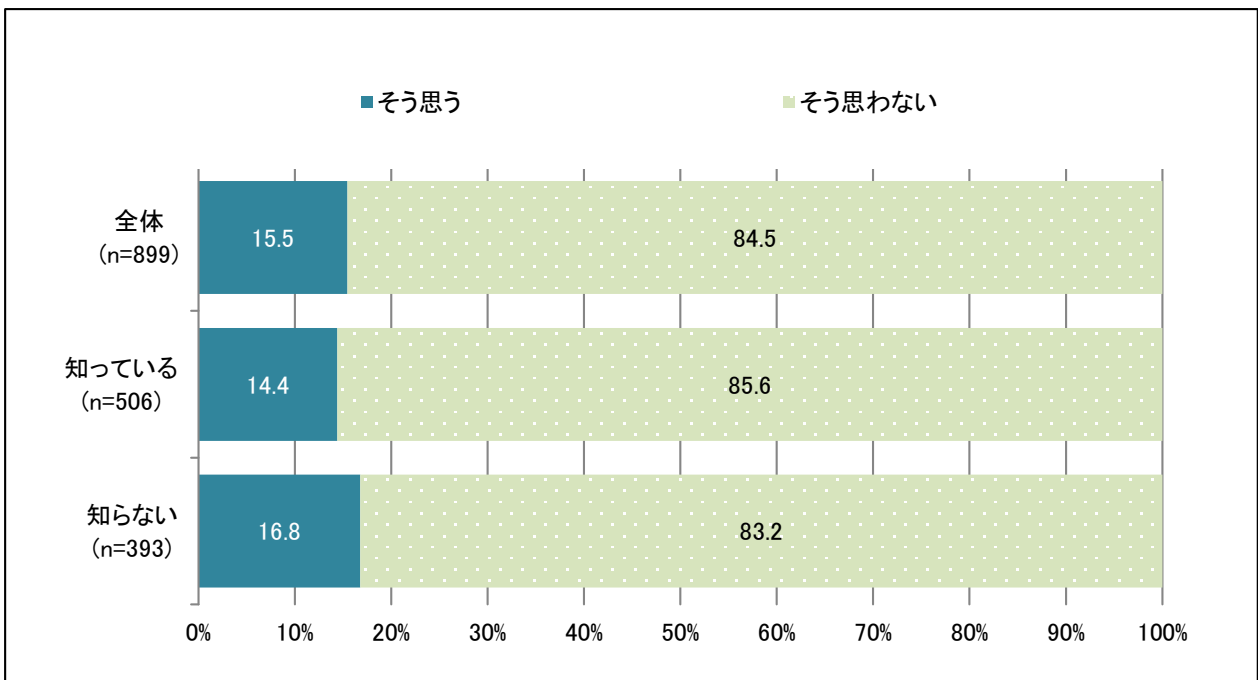
○「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(16.2%)で1割台半ばとなっている。

「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(15.8%)が1割台半ば、《知らない》(16.8%)が2割近くとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.13であり、ほとんど相関が見られなかった。

(17) 文系科目は女の子の方が得意だと思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	139 15.5	760 84.5
(36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか	知っている	506 100.0	73 14.4	433 85.6
	知らない	393 100.0	66 16.8	327 83.2



(図表IV-5-84)

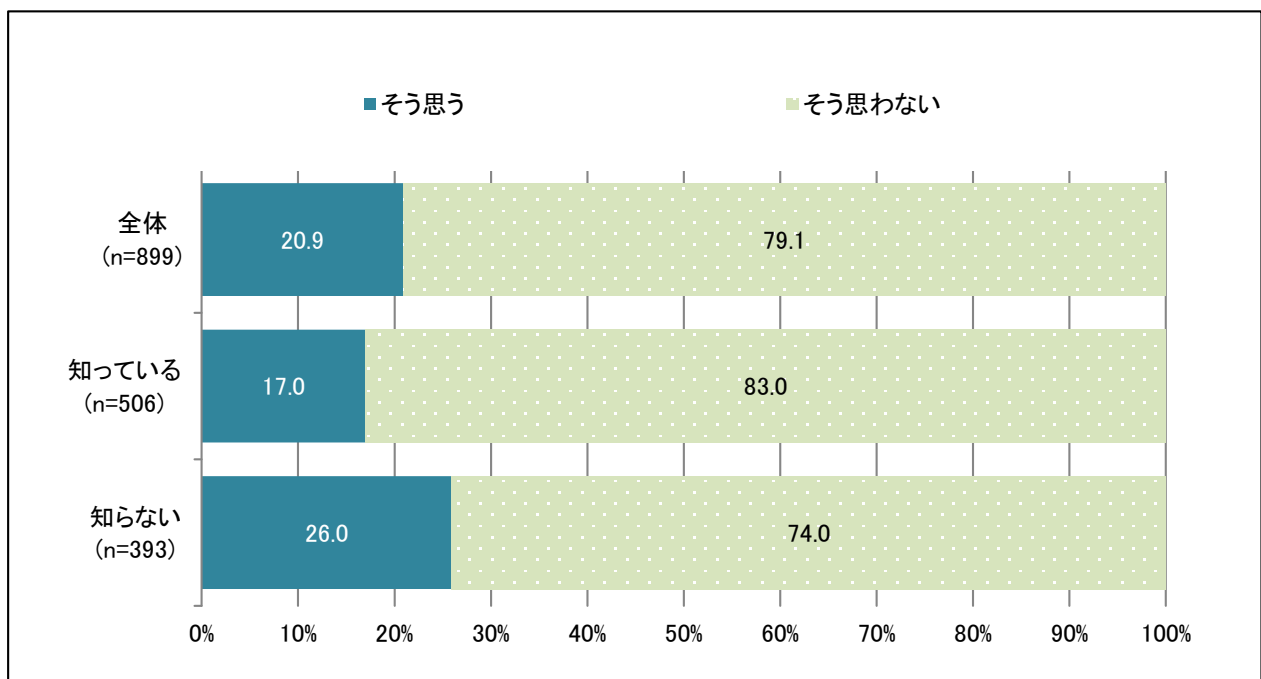
○「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(15.5%)で1割台半ばとなっている。

「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(14.4%)が1割台半ば、《知らない》(16.8%)が2割近くとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.11であり、ほとんど相関が見られなかった。

(18) 家庭科は女の子の方が向いていると思う

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	188 20.9	711 79.1
(36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか	知っている	506 100.0	86 17.0	420 83.0
	知らない	393 100.0	102 26.0	291 74.0



(図表IV-5-85)

○「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(20.9%)でほぼ2割となっている。

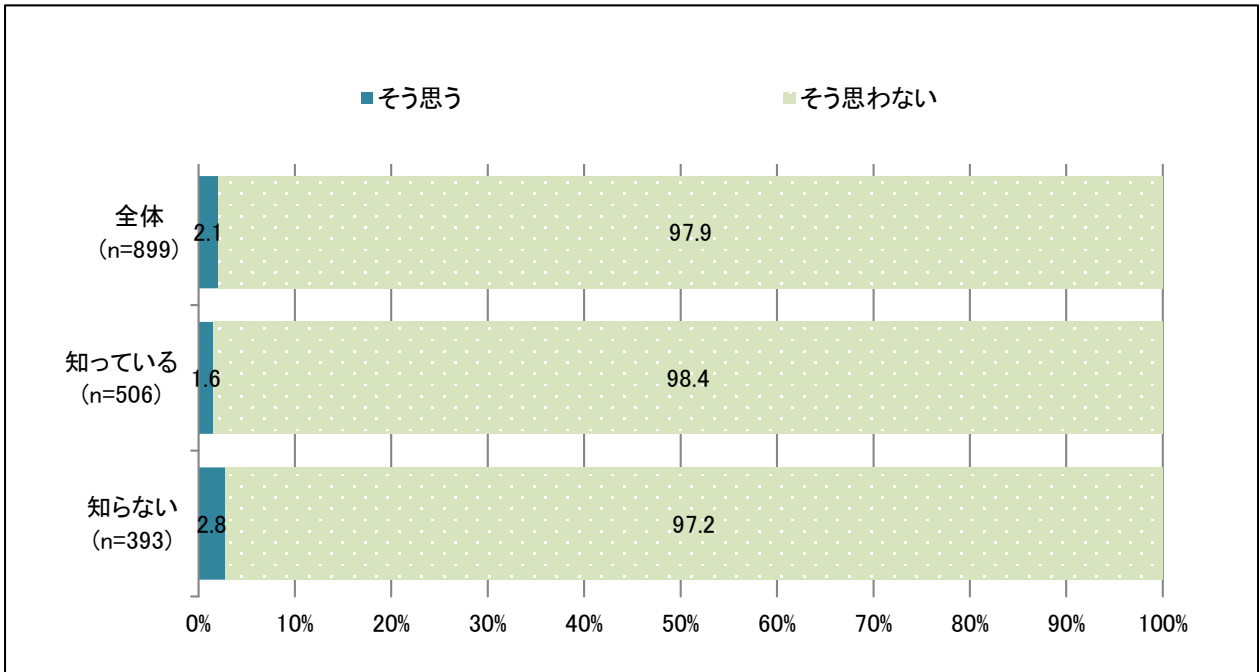
「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(17.0%)が2割近く、《知らない》(26.0%)が2割台半ばとなっている。

「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.01$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.06であり、ほとんど相関が見られなかった。

(19) 学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	19 2.1	880 97.9
(36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか	知っている	506 100.0	8 1.6	498 98.4
	知らない	393 100.0	11 2.8	382 97.2



(図表IV-5-86)

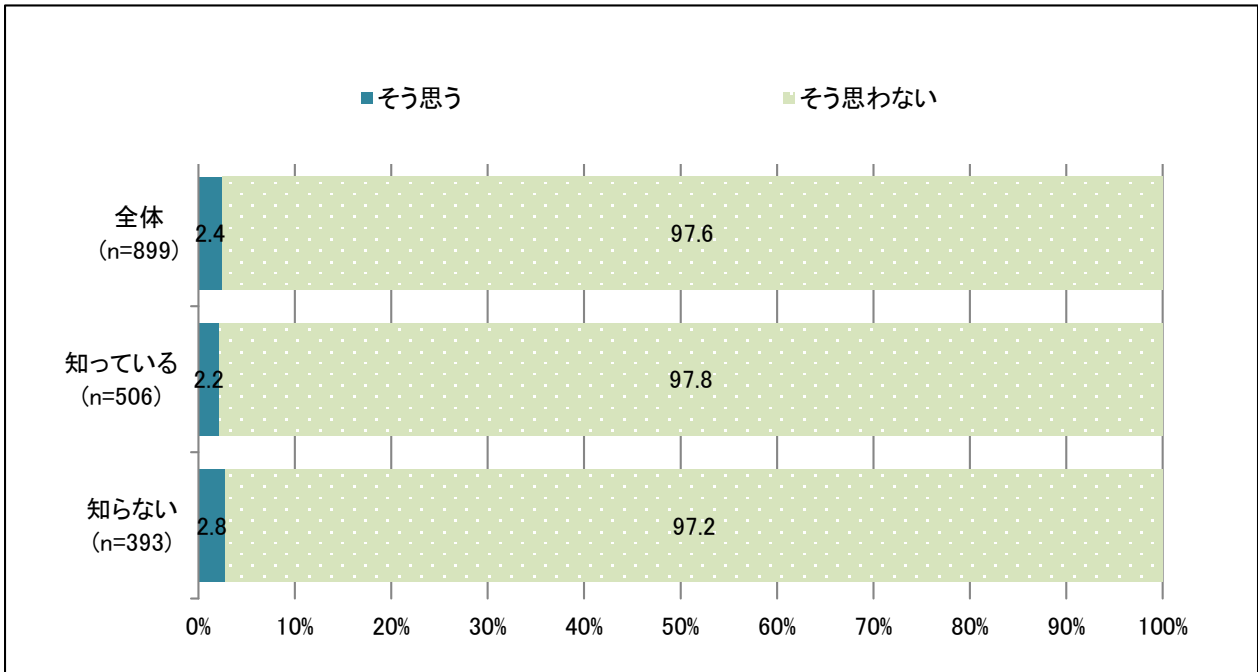
○「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(2.1%)でわずかとなっている。

「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(1.6%)がわずか、《知らない》(2.8%)がわずかとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.30であり、やや相関が見られた。

(20) 授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	22 2.4	877 97.6
(36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか	知っている	506 100.0	11 2.2	495 97.8
	知らない	393 100.0	11 2.8	382 97.2



(図表IV-5-87)

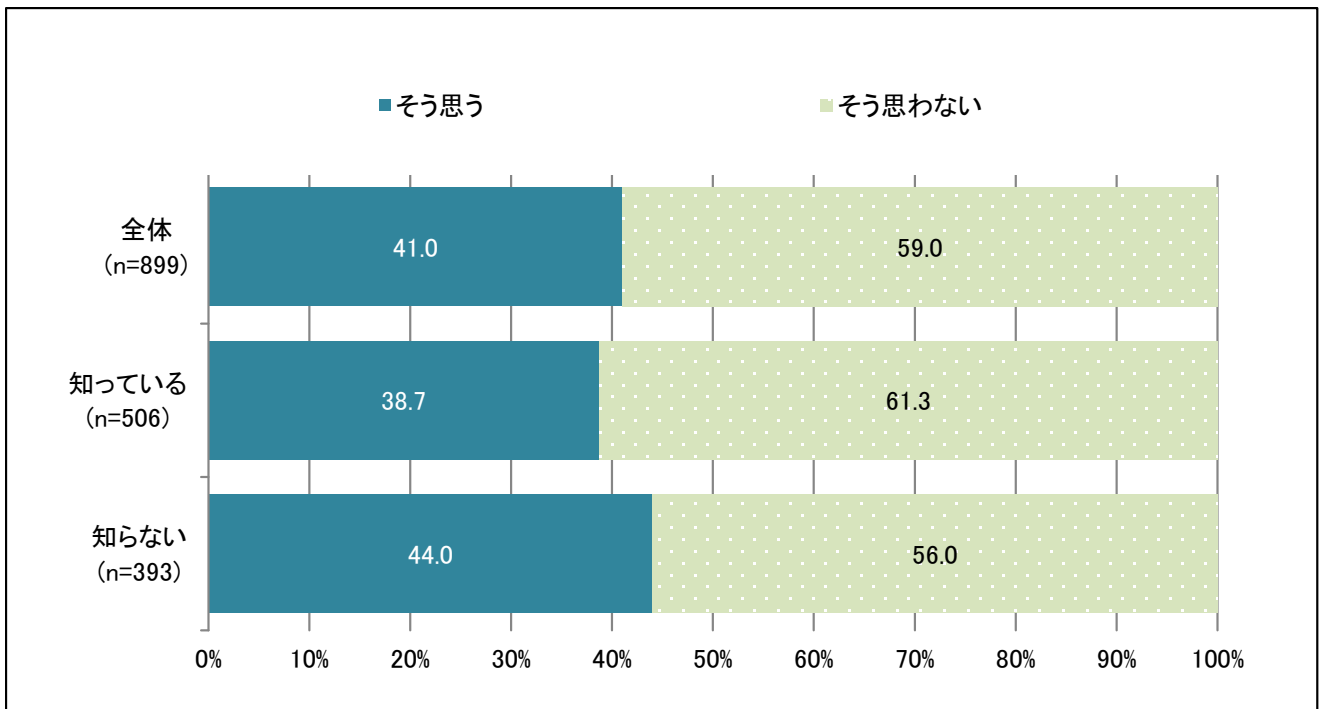
○「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(2.4%)でわずかとなっている。

「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(2.2%)がわずか、《知らない》(2.8%)がわずかとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.30であり、やや相関が見られた。

(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

		計	そう思う	そう思わない
全体		899 100.0	369 41.0	530 59.0
(36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか	知っている	506 100.0	196 38.7	310 61.3
	知らない	393 100.0	173 44.0	220 56.0



(図表IV-5-88)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(41.0%)で4割を超えている。

「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(38.7%)が4割近く、《知らない》(44.0%)が4割台半ばとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.06であり、ほとんど相関が見られなかった。